

第2次せたな町総合計画策定にかかる

# 町民まちづくりアンケート 調査結果報告書

平成29年1月

北海道 せたな町

# も く じ

<b>I 調査の概要</b> .....	1
<b>II 回答者の属性</b> .....	3
(ア) 性別.....	3
(イ) 年齢.....	5
(ウ) 職業.....	7
(エ) 居住歴.....	9
(オ) 居住区.....	11
<b>III 設問別調査結果</b> .....	13
問1 暮らしの満足度・重要度.....	13
問1-1 今後のまちづくりで特に重要だと思うもの.....	20
問2 住みよさ.....	23
[前回との比較] .....	25
[中学生との比較] .....	25
問3 定住意向.....	26
[前回との比較] .....	28
[中学生との比較] .....	28
問3-1 今住んでいる場所に住み続けたい理由.....	29
問3-2 町外に移りたい、あるいは、どちらともいえない理由.....	32
問4 せたな町に望む将来の姿.....	35
[中学生との比較] .....	37
問5 産業振興全般について.....	38
問6 農林業の振興について.....	40
問7 水産業の振興について.....	42
問8 観光・交流の振興について.....	44
問9 少子化対策で力を注ぐべきこと.....	46
問10 老後の暮らしで不安を感じること.....	48
問11 町政（まちづくり）や地域の情報で欲しい内容.....	50
問12 まちづくりへの関心、考え、参加意向.....	52
問13 参加したい（している）活動.....	58
問14 町の創意を發揮し、協働を深めていくために重要なこと.....	60
問15 まちづくりに関する自由記載.....	62
<b>IV 調査票</b> .....	88

# I 調査の概要

このアンケートは、「第2次せたな町総合計画」（平成 30～39 年度）を策定するにあたり、せたな町での暮らしや課題などについて、住民の皆様からご意見や評価をいただくために実施しました。調査の実施概要については、次のとおりです。

対	象：せたな町に住む 18 歳以上の住民 3,000 名（年代のバランスを配慮したうえで無作為に抽出）
配布・回収方法：	郵送にて配布、回収
調査時期：	平成 28 年 10 月
回収数：	988 票（回収率 32.9%）

報告書の集計・表記方法についての留意点は、次のとおりです。

- ・比較や順位付けは、回答数ではなく「回答率」や「加重平均値」で行っています。そのため、「多い・少ない」ではなく、「高い・低い」と表記しています。また、特に差がめだつものについて「高い・低い」と表記しています。
- ・説明は「回答者全体（988 人）」の説明（文頭に○）のほか、性別や年齢別など「属性別」に比較した説明（文頭に●）があります。すべての属性ごとに集計していますが、この報告書には「全体」「性別」「年齢別」を中心に説明しています。
- ・グラフ中にある [ ] の数字は、回答者数です。性別、年齢別ごとの回答者数は、「無回答」を除いて表示しているため、合計が全体数（988 人）にはなりません。
- ・集計結果は、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを百分率(%)で表示しています。そのため、選択肢から 1 つだけ選択する設問では、%を合計しても 100.0%にならないことがあります。
- ・実際に用いた調査票の言葉が長い選択肢については、グラフや文章で示す際、文章を短縮しているものがあります。
- ・その他に記載のあった内容については、同じ内容のものについてはまとめ、回答数を（ ）で示しています。
- ・自由記載の回答については、記述事項を一部整理・要約して掲載しています。
- ・第 1 次せたな町総合計画策定時に実施した町民アンケート（回答者 1,979 人）、およびこのアンケートと同じ時期に実施した中学生アンケート（全学年を対象、回答者 181 人）と比較可能な設問については、比較を行っています。

属性別の回収票内訳

(単位：票)

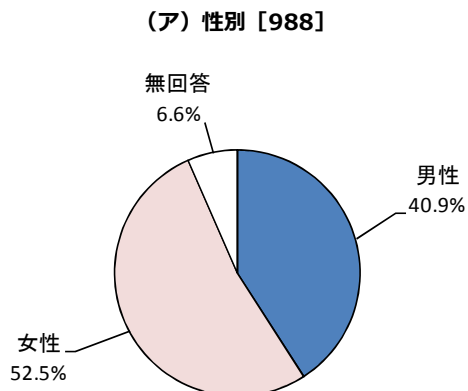
総 数		988
(ア) 性別	男性	404
	女性	519
(イ) 年齢	18～29 歳	95
	30 歳代	163
	40 歳代	151
	50 歳代	177
	60 歳代	198
	70 歳以上	177
	(ウ) 職業	農林漁業（水産業）
製造業、建設業		51
商業、サービス業		123
福祉・医療関係		91
公務員、団体職員など		148
その他の職業		80
家事専業、学生		143
無職、退職された方		189
(エ) 居住暦	せたな町生まれ、ずっとせたな町	307
	せたな町生まれ、一度町外で再びせたな町	313
	町外生まれ、せたな町に引っ越し	335
(オ) 居住地区	北檜山区	603
	大成区	146
	瀬棚区	211

## Ⅱ 回答者の属性

【問1】はじめに、ご回答いただく方についておたずねします。次の各項目についてそれぞれあてはまるものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

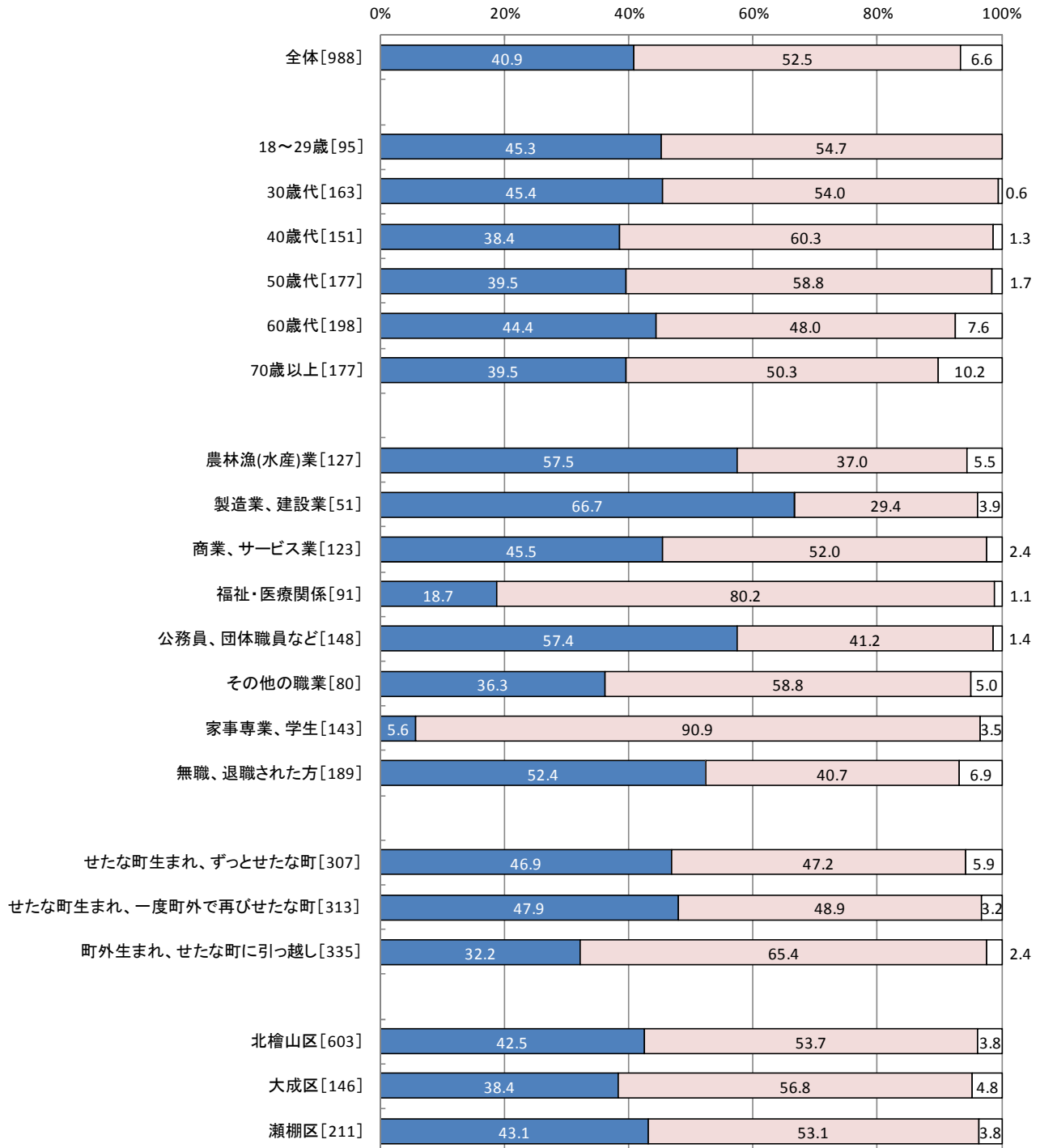
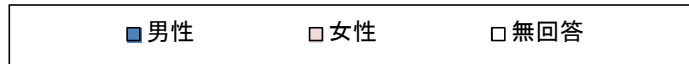
### (ア) 性別

○「男性」が40.9%、「女性」が52.5%で、女性の割合が高くなっています。



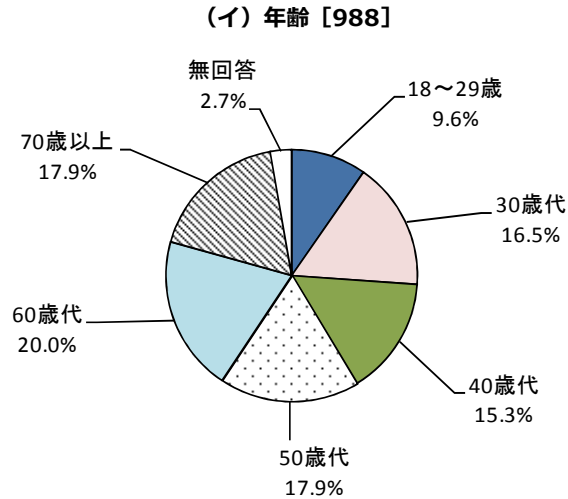
- 年齢別で見ると、「女性」は、「40歳代」と「50歳代」で6割前後を占めています。
- 職業別で見ると、「男性」は、「農林業（水産）業」「製造業、建設業」「公務員、団体職員など」「無職、退職された方」で過半数を占めています。
- 居住歴別で見ると、「女性」は、「町外生まれ、せたな町に引っ越し」で6割以上を占めています。

(ア) 性別 (属性別)



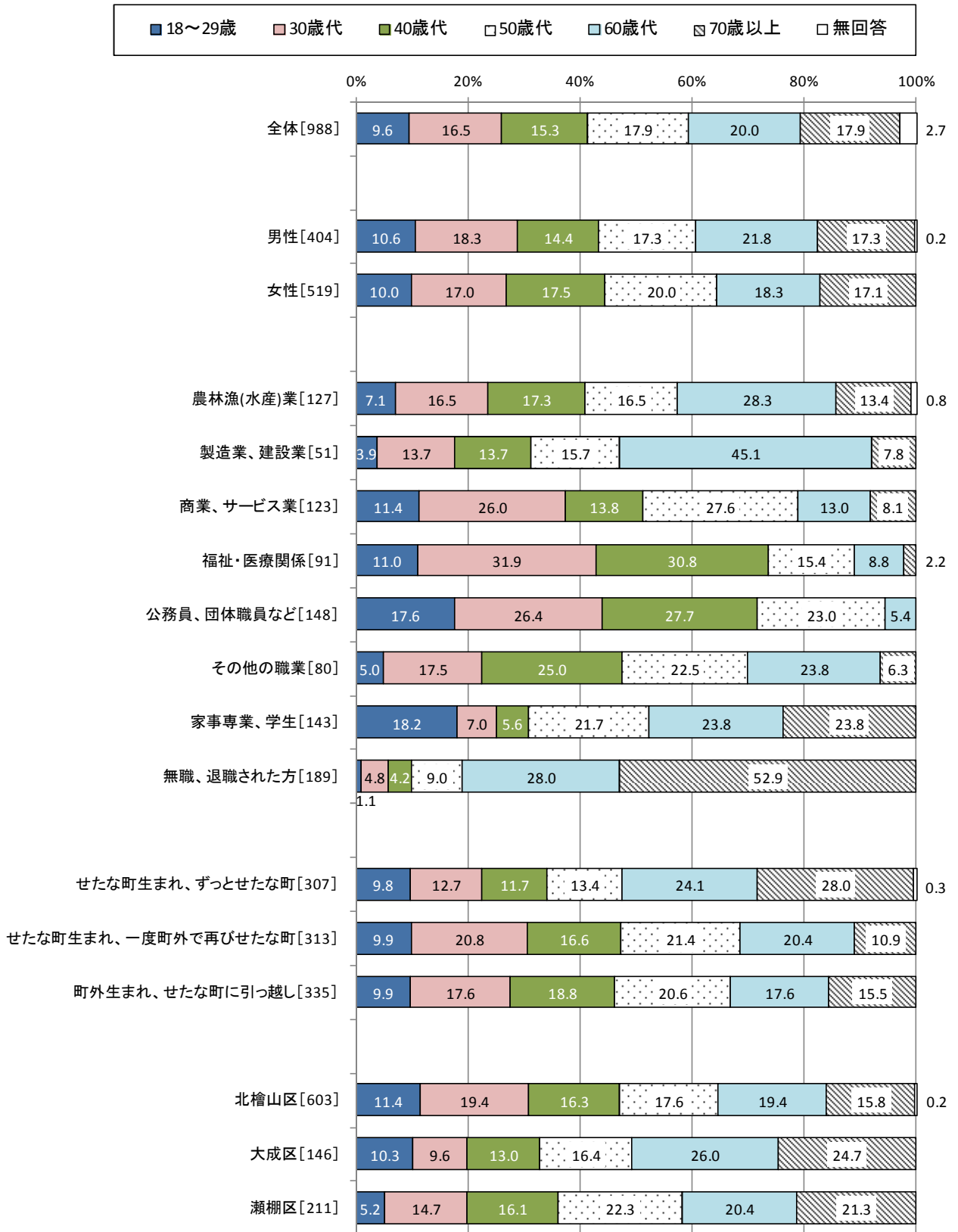
## (イ) 年齢

- 「60 歳代」(20.0%) が最も高く、「50 歳代」と「70 歳以上」が同率(17.9%)で続きます。以下、「30 歳代」(16.5%)、「40 歳代」(15.3%)と続きます。最も割合が低いのは「18~29 歳」(9.6%) です。



- 性別で見ると、「男性」は「60 歳代」、「女性」は「50 歳代」が、それぞれ最も高くなっています。
- 職業別で見ると、「60 歳代」は「製造業、建設業」で4割以上を占めています。「商業、サービス業」は「30 歳代」と「50 歳代」がそれぞれ3割弱、また、「福祉、医療関係」は「30 歳代」と「40 歳代」がそれぞれ3割以上を占め、他の年齢に比べて高くなっています。
- 居住歴別で見ると、「せたな町生まれ、ずっとせたな町」は「70 歳以上」が約3割を占めています。
- 居住区別で見ると、「大成区」は「60 歳代」と「70 歳以上」の合計が半数以上を占めています。

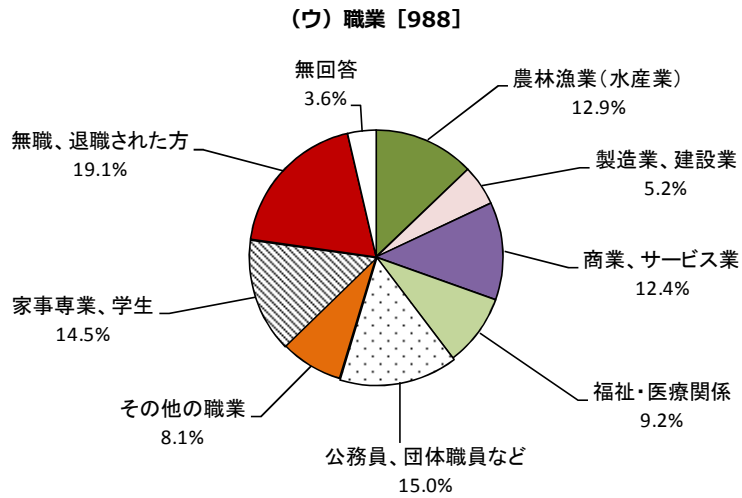
(イ) 年代 (属性別)





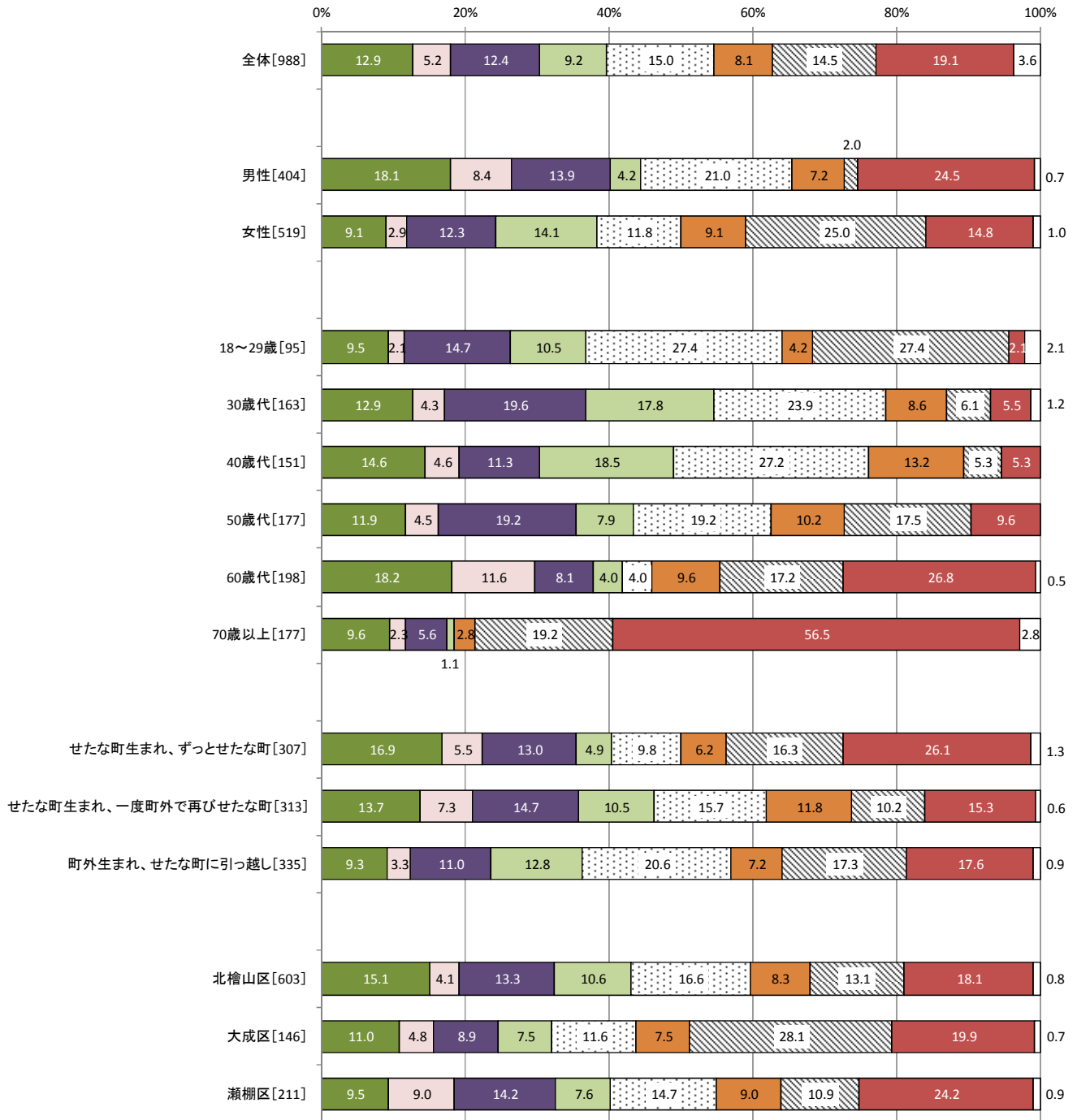
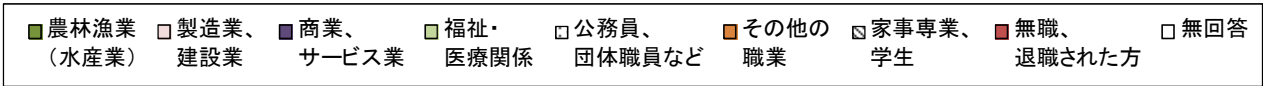
## (ウ) 職業

- 「無職、退職された方」(19.1%) が最も高く、「公務員、団体職員など」(15.0%)、「家事専業、学生」(14.5%)、「農林漁業(水産業)」(12.9%)、「商業、サービス業」(12.4%) と続きます。



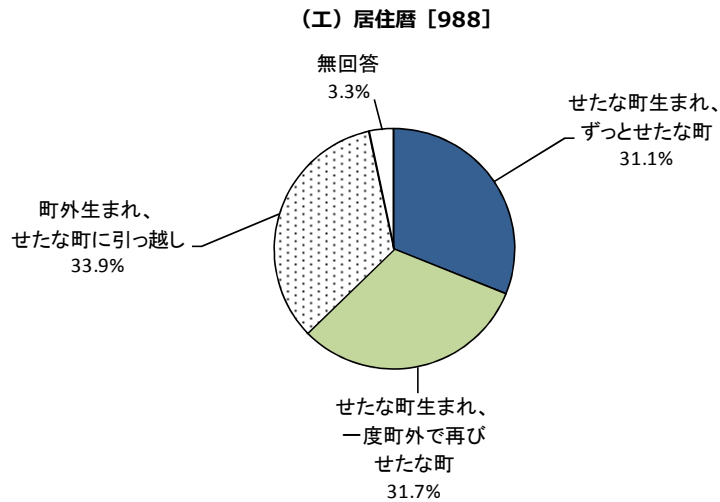
- 性別で見ると、「男性」は「無職、退職された方」、「女性」は「家事専業、学生」の割合がそれぞれ最も高くなっています。
- 年齢別で見ると、「18～29 歳」は「公務員、団体職員など」と「家事専業、学生」、また、「50 歳代」は「商業、サービス業」と「公務員、団体職員など」が、それぞれ同率で最も高くなっています。「30 歳代」と「40 歳代」は「公務員、団体職員など」、「60 歳代」と「70 歳以上」は「無職、退職された方」が、それぞれ最も高くなっています。
- 居住歴別で見ると、「せたな町生まれ、ずっとせたな町」は「無職、退職された方」、その他は「公務員、団体職員など」の割合が最も高くなっています。
- 居住区別で見ると、「北檜山区」と「瀬棚区」は「無職、退職された方」、「大成区」は「家事専業、学生」の割合が最も高くなっています。

(ウ) 職業 (属性別)



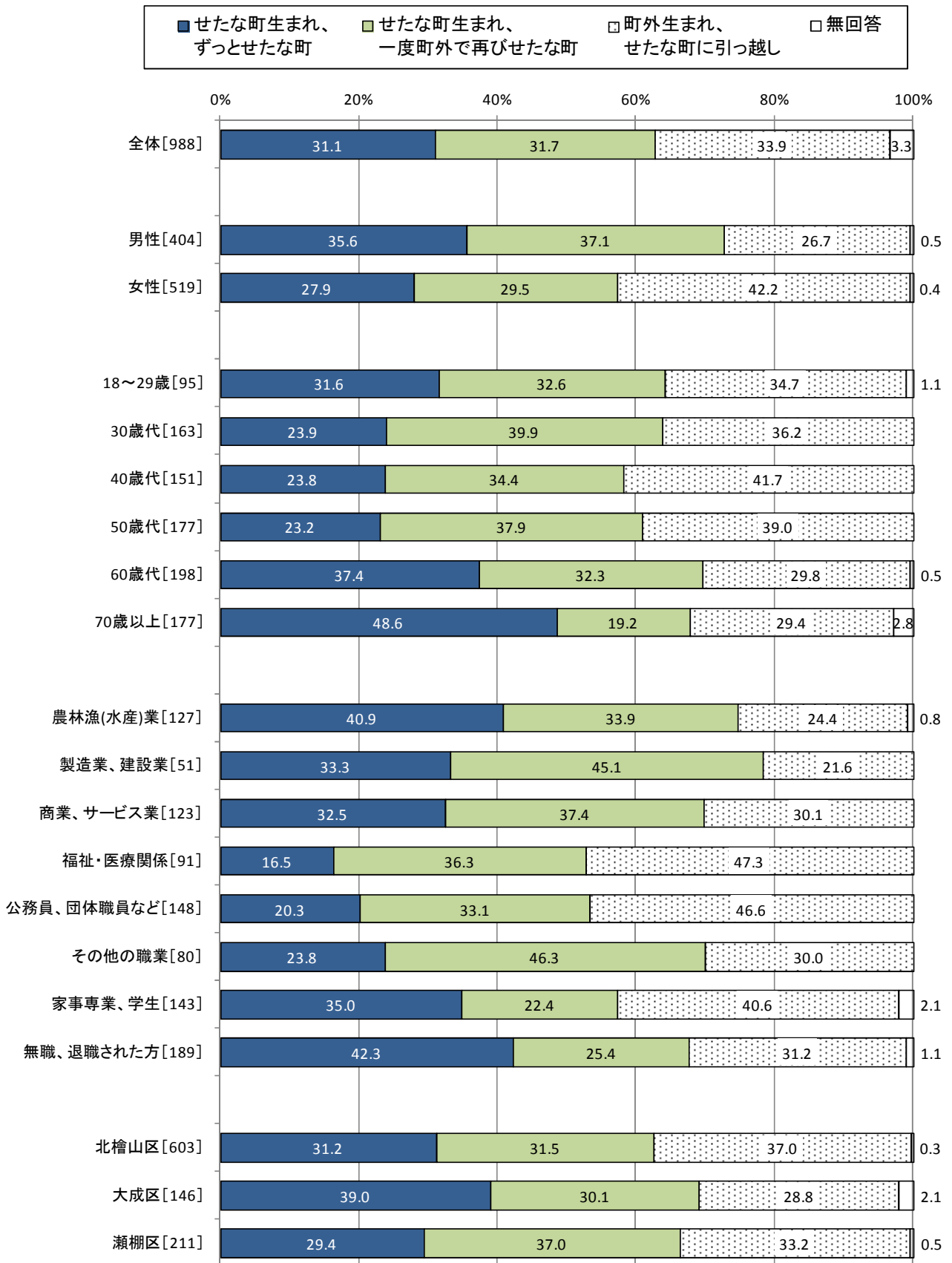
## (エ) 居住歴

- 「町外生まれ、せたな町に引っ越し」(33.9%)、「せたな町生まれ、一度町外で再びせたな町」(31.7%)、「せたな町生まれ、ずっとせたな町」(31.1%)の順番ですが、割合は、ほぼ同率です。



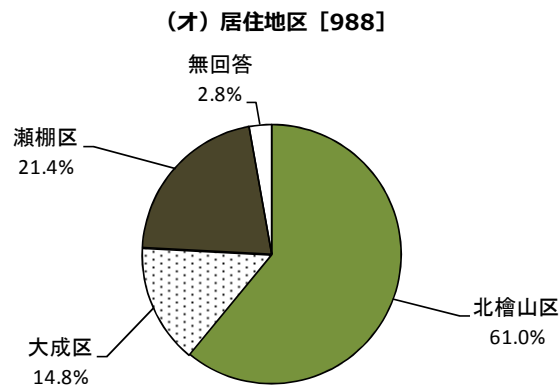
- 性別で見ると、「町外生まれ、せたな町に引っ越し」は「女性」で4割以上を占め、高くなっています。
- 年齢別で見ると、「せたな町生まれ、ずっとせたな町」は「70 歳以上」、「せたな町生まれ、一度町外で再びせたな町」は「30 歳代」、「町外生まれ、せたな町に引っ越し」は「40 歳代」で最も高くなっています。
- 職業別で見ると、「せたな町生まれ、ずっとせたな町」は「農林漁業（水産業）」と「無職、退職された方」、「せたな町生まれ、一度町外で再びせたな町」は「製造業、建設業」と「その他の職業」、「町外生まれ、せたな町に引っ越し」は「福祉・医療関係」「公務員、団体職員など」「家事専業、学生」で、それぞれ4割以上を占め高くなっています。

(工) 居住地区 (属性別)



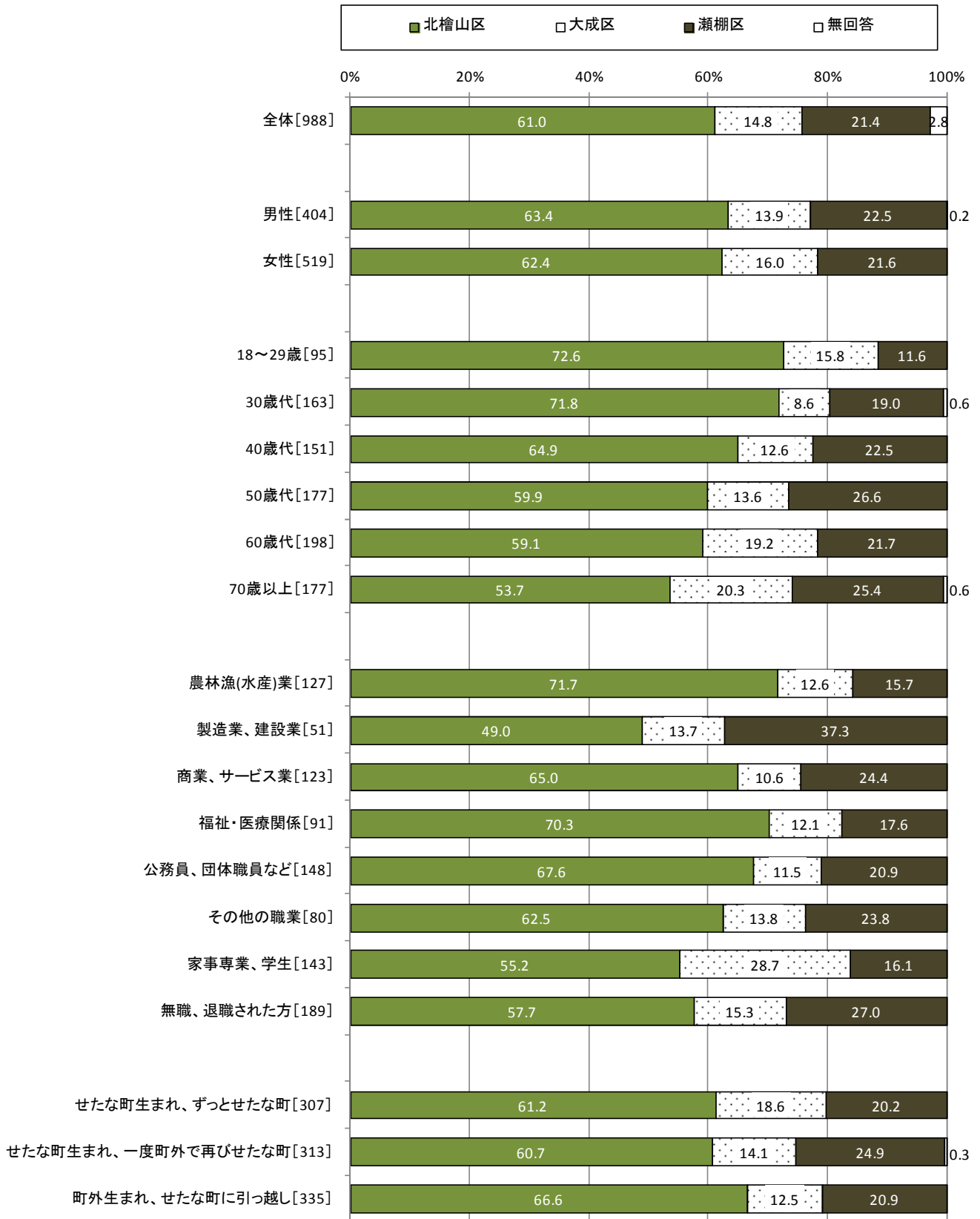
(オ) 居住区

○「北檜山区」(61.0%) が最も高く、「瀬棚区」(21.4%)、「大成区」(14.8%) と続きます。



- 年齢別で見ると、「北檜山区」は年齢が低いほど割合が高くなっています。「大成区」は「60歳代」と「70歳以上」で2割前後を占めています。
- 職業別で見ると、「大成区」は「家事専業、学生」、「瀬棚区」は「製造業、建設業」で割合が高くなっています。

(オ) 居住年数 (属性別)



### Ⅲ 設問別調査結果

---

#### 問1 暮らしの満足度・重要度

【問1】せたな町での暮らしについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」を評価してください。具体的な内容は示していませんが、全般としての評価をお願いします。

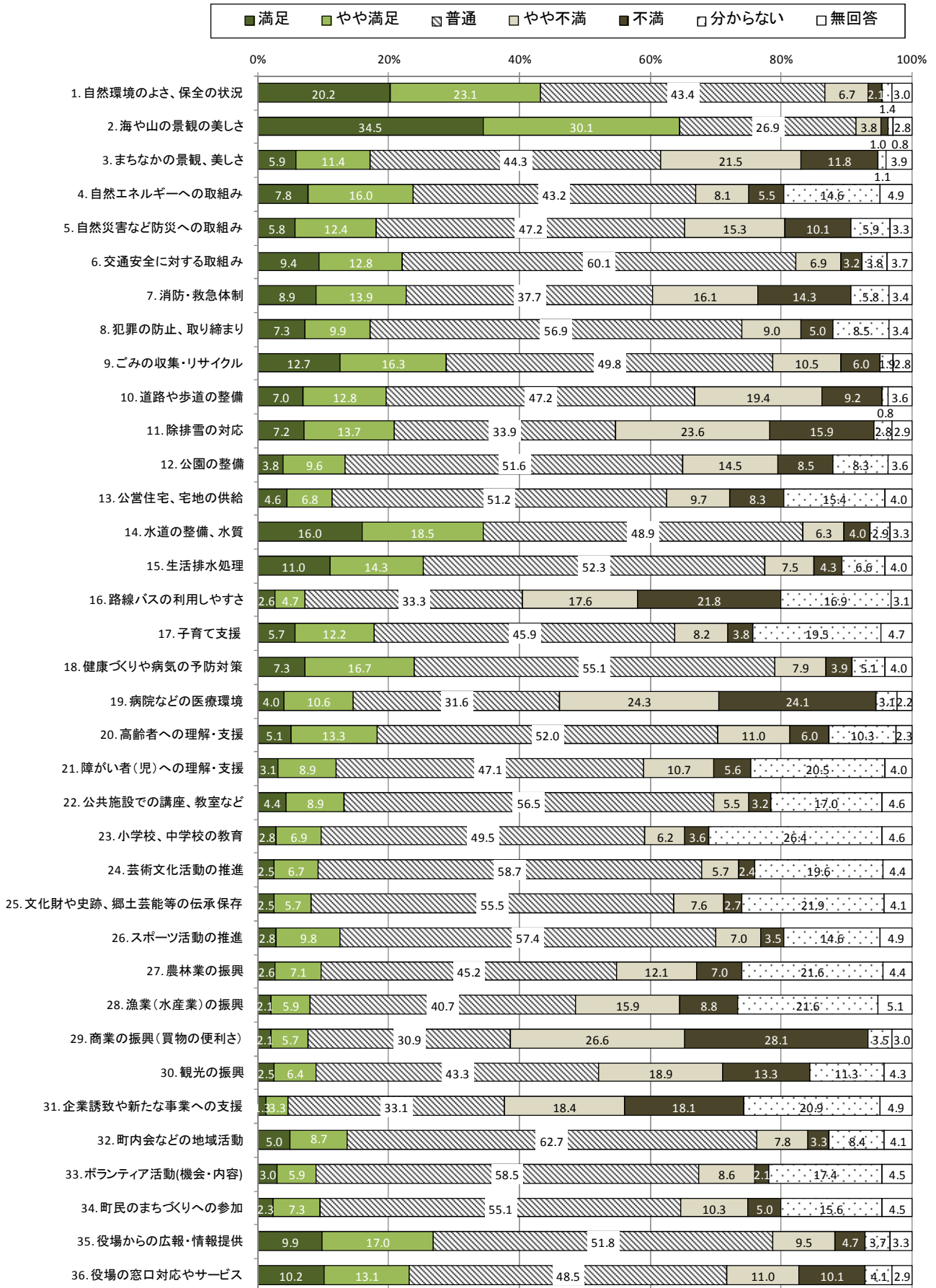
##### 1) 満足度について（%での比較）

- 「満足」が最も高いのは、「2.海や山の景観の美しさ」（34.5%）で、「1.自然環境のよさ、保全の状況」（20.2%）、「14.水道の整備、水質」（16.0%）、「9.ごみの収集・リサイクル」（12.7%）、「15.生活排水処理」（11.1%）、「36.役場の窓口対応やサービス」（10.2%）と続きます。以上6項目が1割以上を占めており、「2.海や山の景観の美しさ」は、「満足」と「やや満足」の合計が過半数を占めています。
- 一方、「不満」が最も高いのは、「29.商業の振興（買物の便利さ）」（28.1%）で、「19.病院などの医療環境」（24.1%）、「16.路線バスの利用しやすさ」（21.8%）とともに2割をこえます。このうち、「29.商業の振興（買物の便利さ）」は「不満」と「やや不満」の合計が過半数を占めています。

##### 2) 重要度について（%での比較）

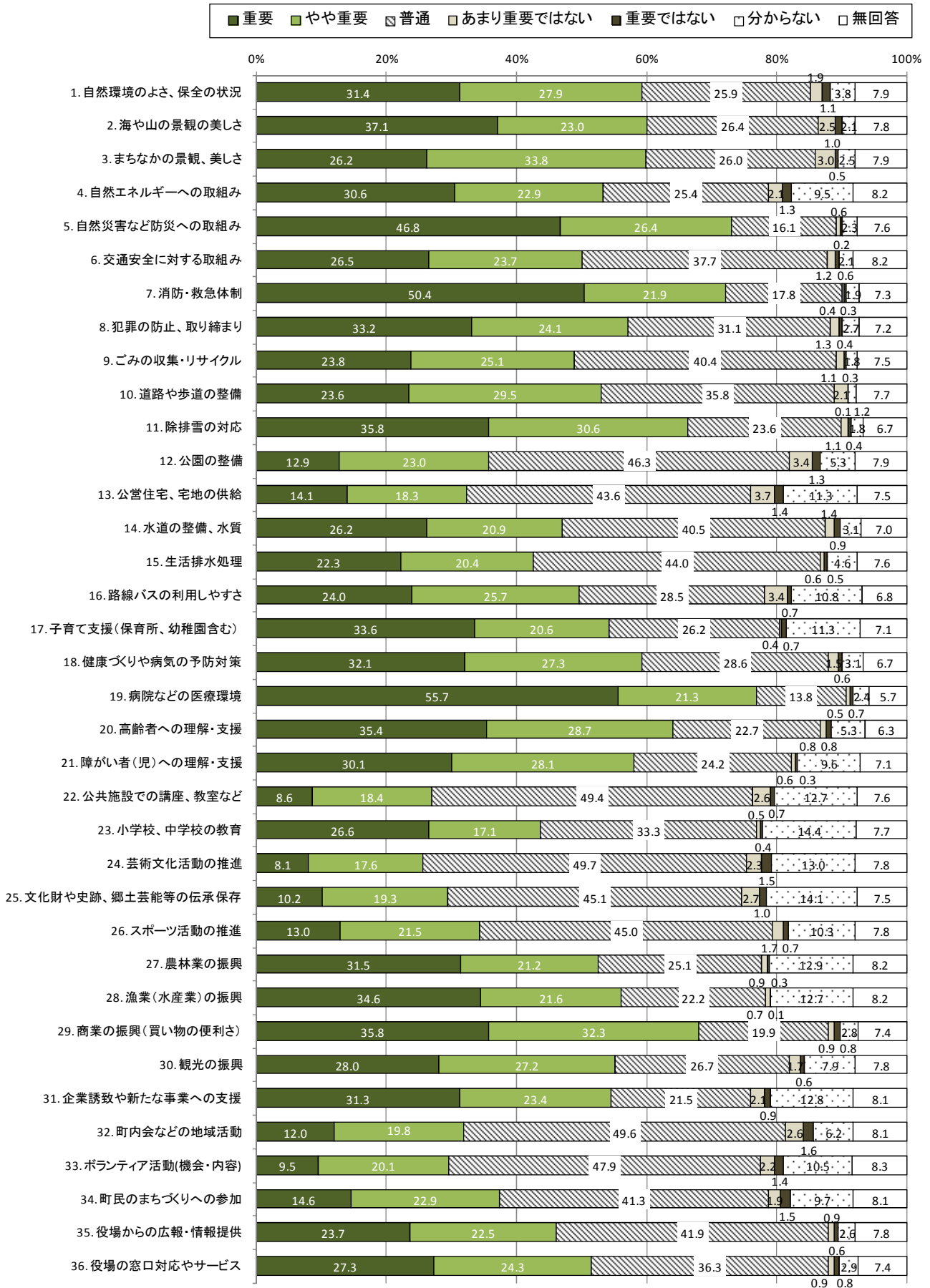
- 「重要」が最も高いのは「19.病院などの医療環境」（55.7%）で、「7.消防・救急体制」（50.4%）と続きます。この2項目は「重要」が過半数を占めています。
- 「あまり重要ではない」が最も高いのは、「32.町内会などの地域活動」（1.6%）ですが、僅かです。

【問1】暮らしの満足度について [988]





【問1】暮らしの重要度について [988]



### 3) 満足度・重要度について（加重平均値でのマトリックス分析）

○満足度の加重平均値※が最も高いのは、「2.海や山の景観の美しさ」で、最も低いのは「29.商業の振興（買い物の便利さ）」です。

○重要度の加重平均値が最も高いのは「19.病院などの医療環境」で、最も低いのは「24.芸術文化活動の推進」です。全項目がプラスです。

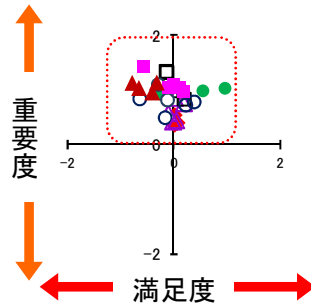
※「加重平均値」とは回答者が選んだ選択肢から平均を算出した数値です。算出方法は次のとおりです。

満足度：{(満足×2)+(やや満足×1)+(どちらともいえない×0)+(やや不満×-1)+(不満×-2)} ÷「分からない」と無回答を除いた回答者数

重要度：{(重要×2)+(やや重要×1)+(どちらともいえない×0)+(あまり重要でない×-1)+(重要でない×-2)} ÷「分からない」と無回答を除いた回答者数  
数値は-2から+2の範囲で、-2に近いほど低く、+2に近いほど高い、とみます。

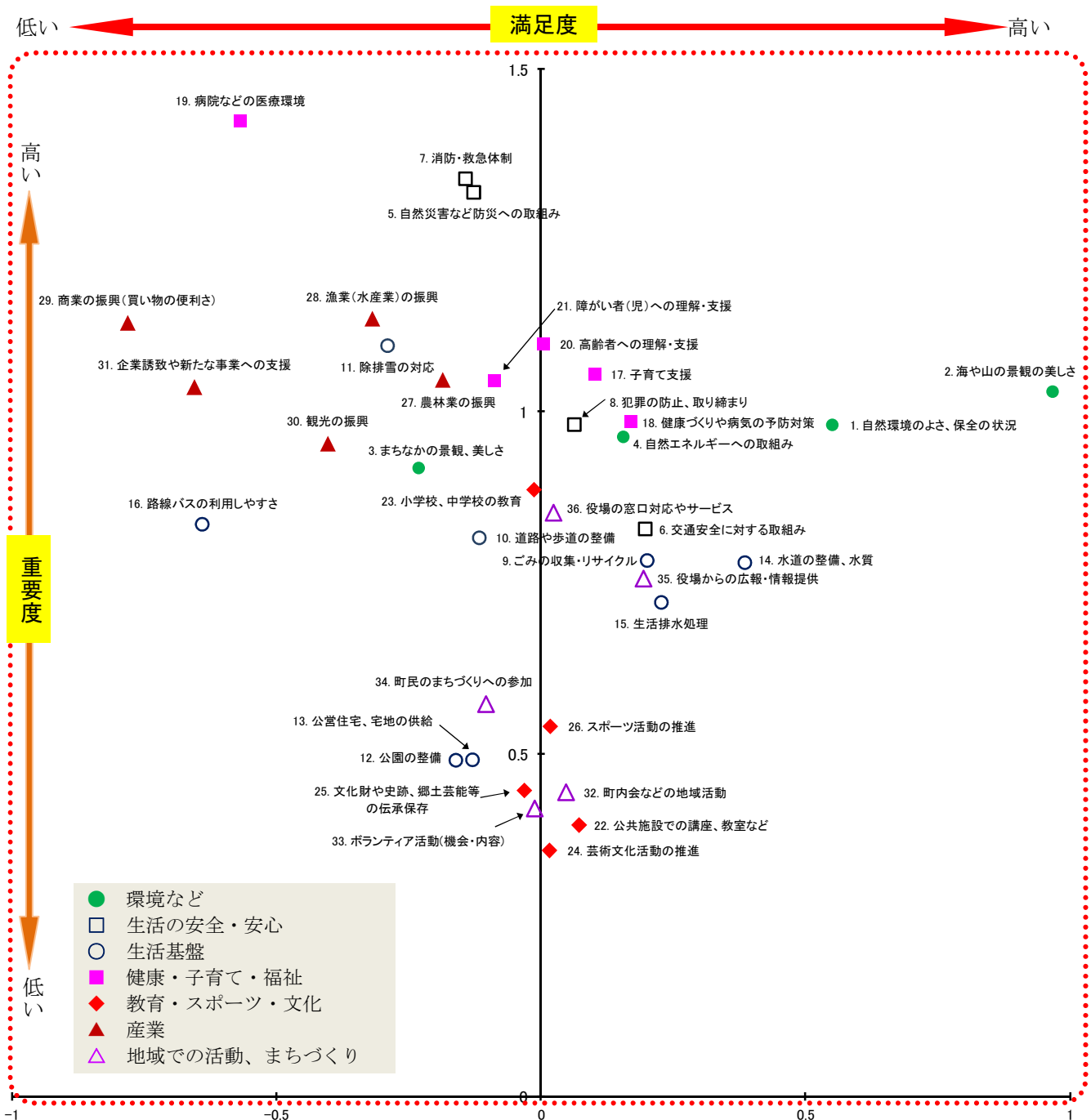
項 目	満足度	重要度
1. 自然環境のよさ、保全の状況	0.55	0.98
2. 海や山の景観の美しさ	<b>0.97</b>	1.03
3. まちなかの景観、美しさ	-0.23	0.92
4. 自然エネルギーへの取組み	0.16	0.96
5. 自然災害など防災への取組み	-0.13	1.32
6. 交通安全に対する取組み	0.20	0.83
7. 消防・救急体制	-0.14	1.34
8. 犯罪の防止、取り締まり	0.06	0.98
9. ごみの収集・リサイクル	0.20	0.78
10. 道路や歩道の整備	-0.12	0.82
11. 除排雪の対応	-0.29	1.10
12. 公園の整備	-0.16	0.49
13. 公営住宅、宅地の供給	-0.13	0.49
14. 水道の整備、水質	0.39	0.78
15. 生活排水処理	0.23	0.72
16. 路線バスの利用しやすさ	-0.64	0.84
17. 子育て支援	0.10	1.05
18. 健康づくりや病気の予防対策	0.17	0.98
19. 病院などの医療環境	-0.57	<b>1.42</b>
20. 高齢者への理解・支援	0.00	1.10
21. 障がい者（児）への理解・支援	-0.09	1.04
22. 公共施設での講座、教室など	0.07	0.40
23. 小学校、中学校の教育	-0.01	0.89
24. 芸術文化活動の推進	0.02	<b>0.36</b>
25. 文化財や史跡、郷土芸能等の伝承保存	-0.03	0.45
26. スポーツ活動の推進	0.02	0.54
27. 農林業の振興	-0.19	1.05
28. 漁業（水産業）の振興	-0.32	1.14
29. 商業の振興（買い物の便利さ）	<b>-0.78</b>	1.13
30. 観光の振興	-0.40	0.95
31. 企業誘致や新たな事業への支援	-0.66	1.04
32. 町内会などの地域活動	0.05	0.44
33. ボランティア活動(機会・内容)	-0.01	0.42
34. 町民のまちづくりへの参加	-0.10	0.57
35. 役場からの広報・情報提供	0.19	0.76
36. 役場の窓口対応やサービス	0.02	0.85

○タテ軸を「重要度」、ヨコ軸を「満足度」として分布図で示すと、タテ軸（重要度）は0～2、ヨコ軸（満足度）は-1～+1に集中しています。



この部分を拡大すると、次のようになります。

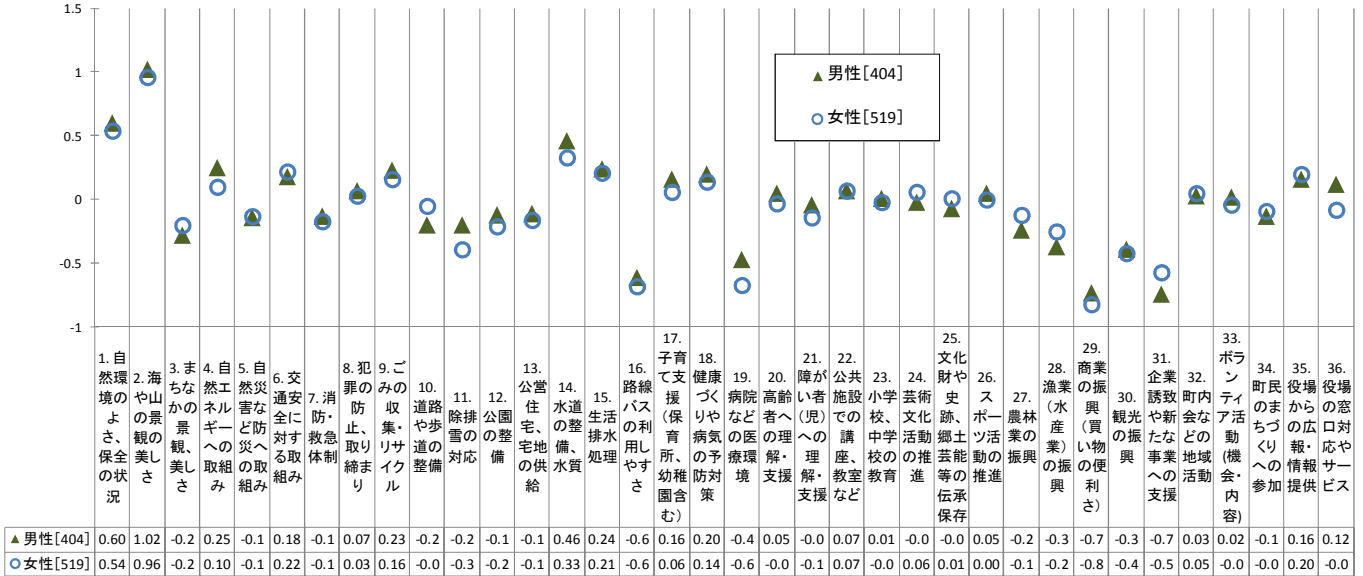
○「19.病院などの医療環境」のほか「29.商業の振興（買い物の便利さ）」など産業関連の項目の多くは、他の項目に比べて、満足度が低く重要度は高い位置づけです。「7.消防・救急体制」や「5.自然災害など防災への取組み」は、満足度はある程度あるものの、重要度が高い位置づけです。



#### 4) 満足度について（加重平均値での比較）

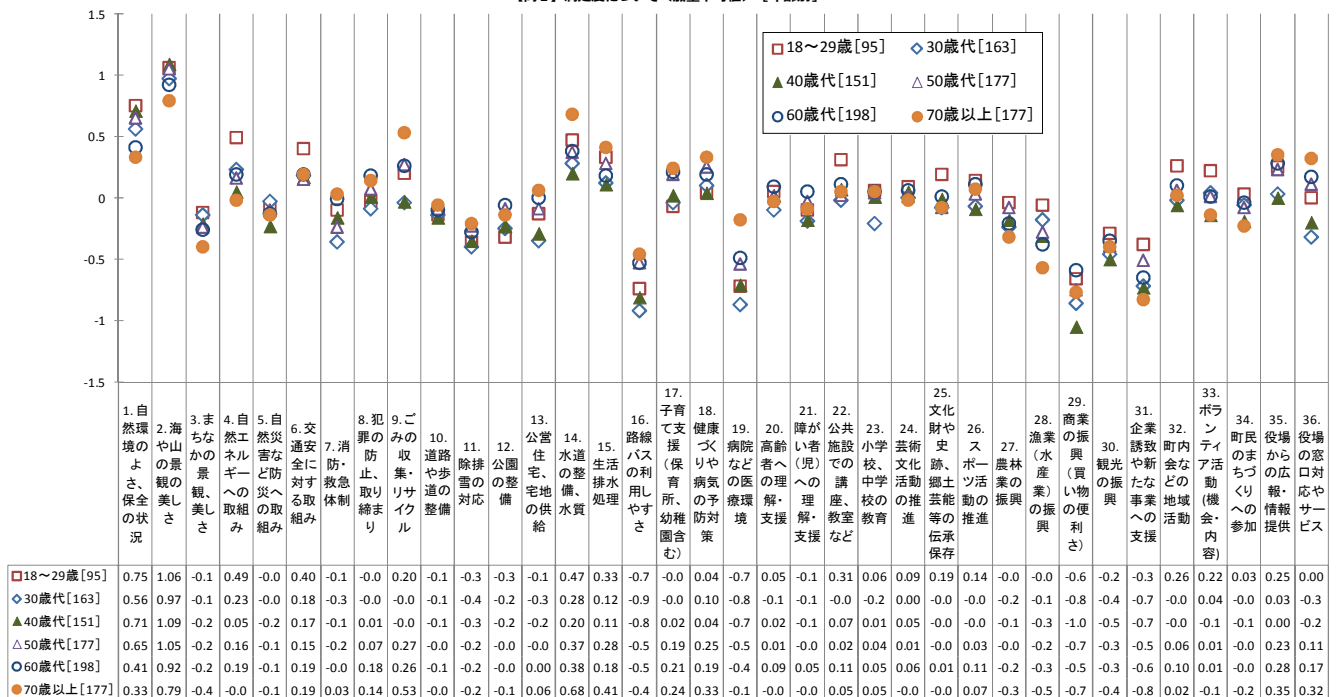
- 性別でみると、男女とも、満足度が最も高いのは「2.海や山の景観の美しさ」で、満足度が最も低いのは「29.商業の振興」です。
- 男女で最も差があるのは「19.病院などの医療環境」と「36.役場の窓口対応やサービス」（同率）で、男性が高くなっています。また、36項目中23項目で男性の方が高くなっています。

【問1】満足度について＜加重平均値＞【性別】



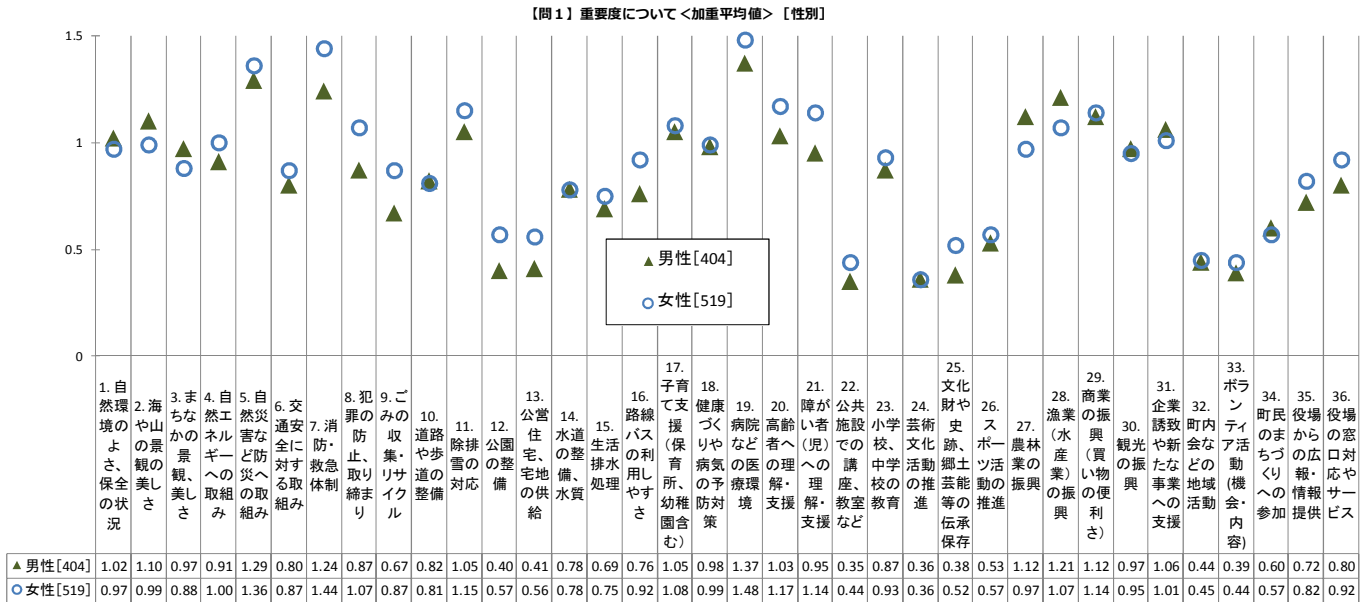
- 年齢別でみると、満足度が最も高いのは、いずれも「2.海や山の景観の美しさ」です。満足度が最も低いのは、18～29歳と30歳代は「16.路線バスの利用しやすさ」、40歳代以上の年齢は「29.商業の振興」です。
- 年齢で最も差があるのは「19.病院などの医療環境」で、70歳以上が最も高く、30歳代が最も低いです。
- 各年齢の中で満足度が最も高い項目が多いのは18～29歳（36項目中16項目で最高）や70歳以上（36項目中13項目で最高）で、満足度が最も低い項目が多いのは30歳代（36項目中13項目で最低）や40歳代・70歳以上（36項目中11項目で最低）です。

【問1】満足度について＜加重平均値＞【年齢別】

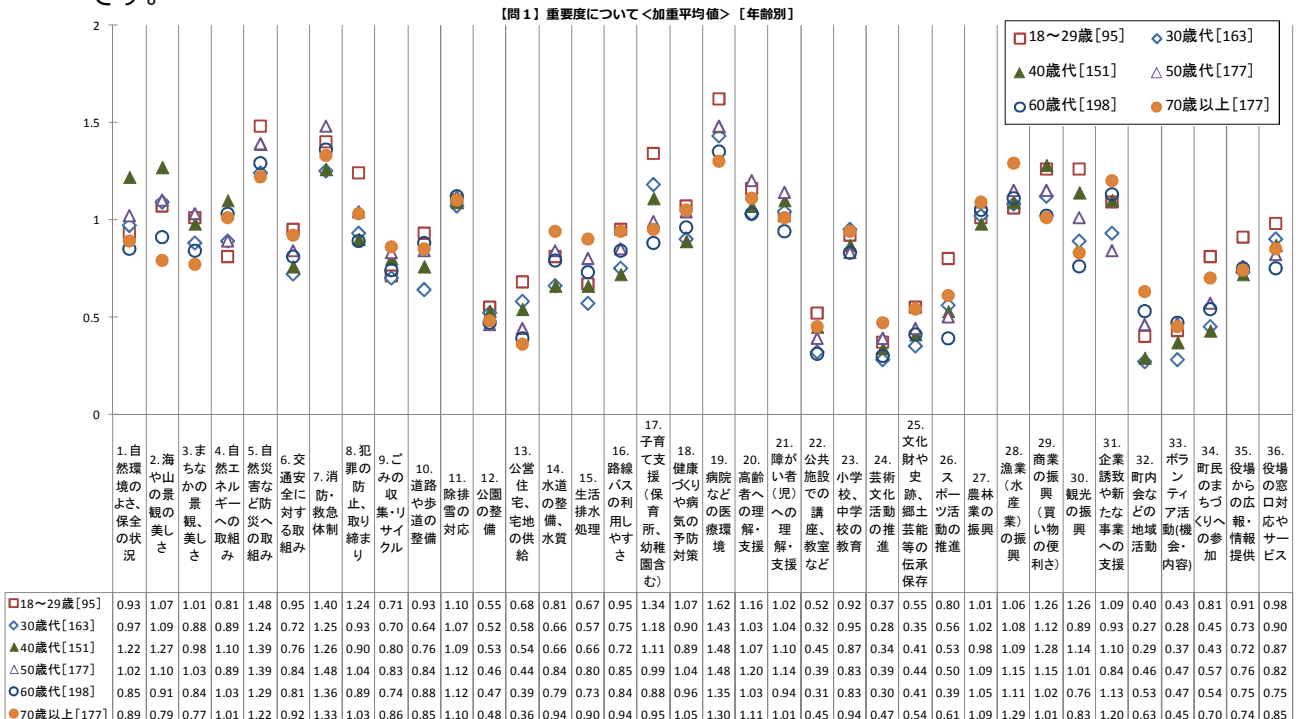


## 5) 重要度について (加重平均値での比較)

- 性別で見ると、重要度が最も高いのは、男女とも「19.病院などの医療環境」です。重要度が最も低いのは、男性は「22.公共施設での講座、教室など」、女性は「24.芸術文化活動の推進」です。
- 男女で最も差があるのは「7.消防・救急体制」「8.犯罪の防止、取り締まり」「9.ごみの収集・リサイクル」(同率)で、女性が高くなっています。また、36項目中 25項目で女性の方が高くなっています。



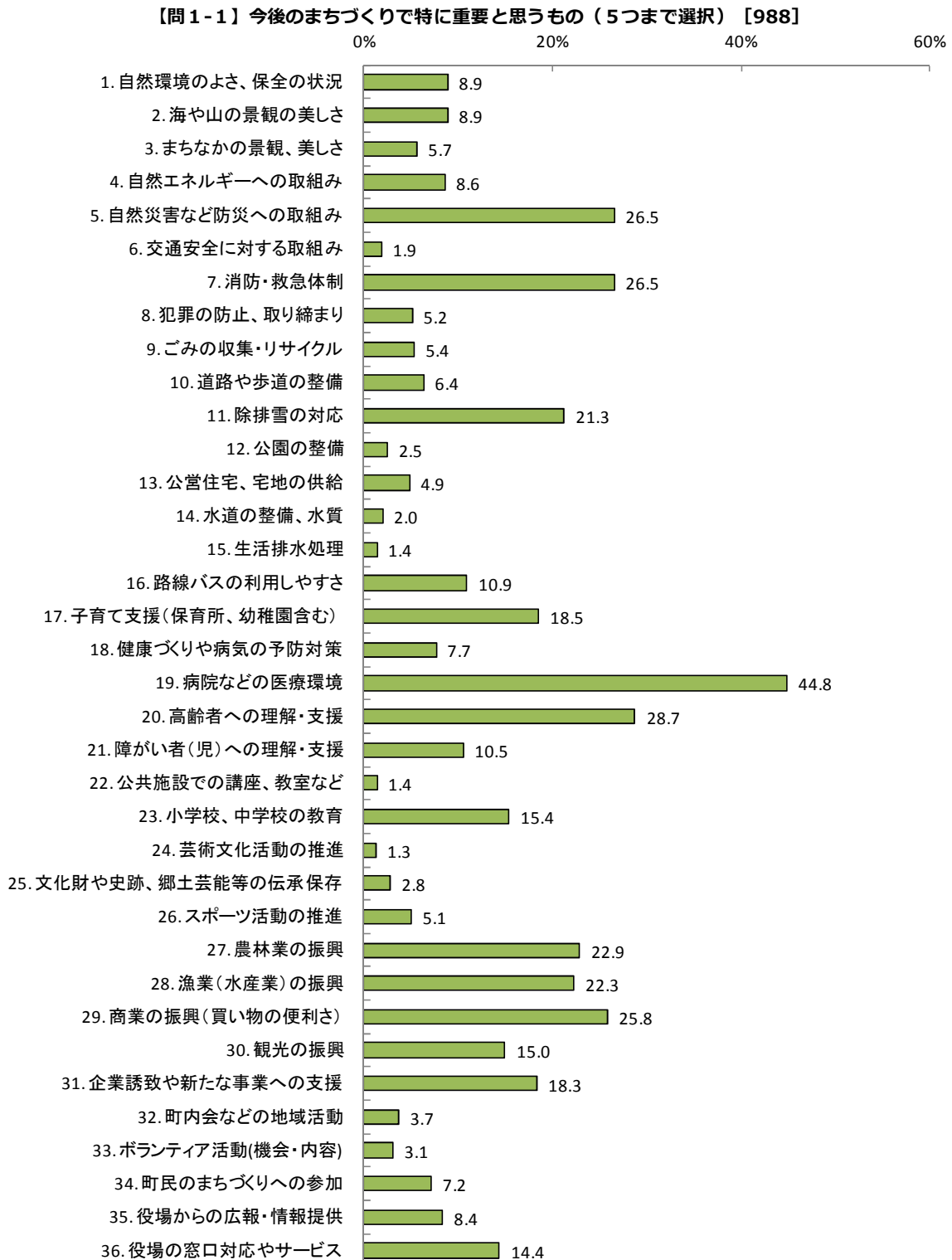
- 年齢別で見ると、重要度が最も高いのは、18～29歳、30歳代、40歳代は「19.病院などの医療環境」、50歳代は「7.消防・救急体制」と「19.病院などの医療環境」(同率)、60歳代と70歳以上は「7.消防・救急体制」です。重要度が最も低いのは、いずれの年齢も「15. 保健対策」です。
- 年齢で最も差があるのは「30.観光の振興」で、18～29歳が最も高く、60歳代が最も低いです。
- 年齢別に比較して、重要度が最も高い項目が多いのは18～29歳(36項目中 17項目)です。



問1-1 今後のまちづくりで特に重要だと思うもの

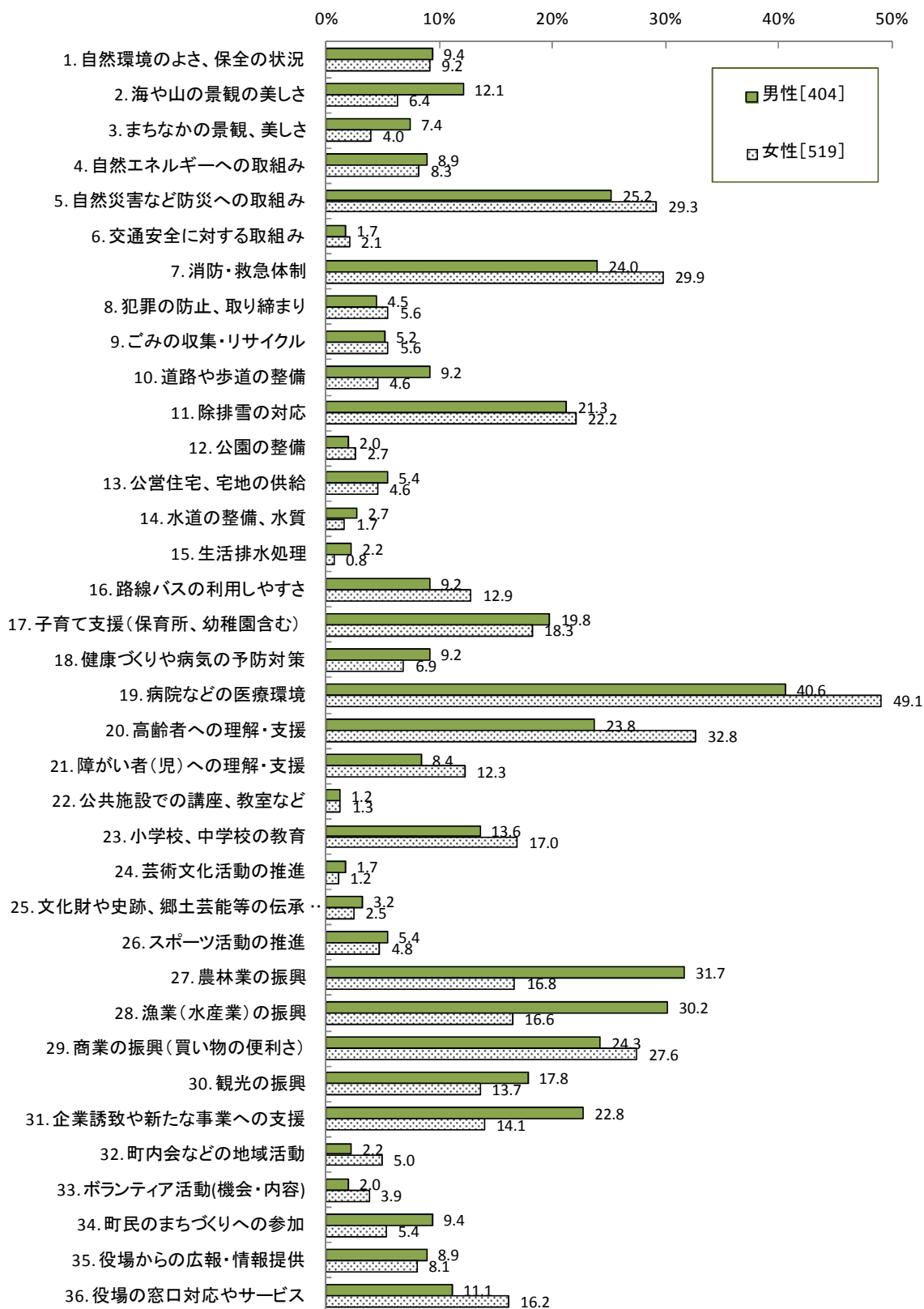
【問1-1】上記の項目（1～36番）の中で、今後のまちづくりで特に重要と思うものを5つまで選んでください。

- 「19.病院などの医療環境」（44.8%）が最も高く、「20.高齢者への理解・支援」（28.7%）、「5.自然災害など防災への取組み」と「7.消防・救急体制」（26.5%で同率）と続きます。



- 性別でみると、男女とも「19.病院などの医療環境」が第1位ですが、女性の方が高く差がめだちます。第2位については、男性は「27. 農林業の振興」、女性は「20.高齢者への理解・支援」で、それぞれ男女の差がめだちます。
- 「5.自然災害など防災への取組み」「7.消防・救急体制」「36.役場の窓口対応やサービス」は女性、「2.海や山の景観の美しさ」「28.漁業（水産業）の振興」「31.企業誘致や新たな事業への支援」は男性の回答率が高く、男女の差がめだちます。

【問1-1】今後のまちづくりで特に重要と思うもの（5つまで選択/性別）



- 第1位を年齢別で見ると、60歳代以下の年代は「19.病院などの医療環境」ですが、70歳以上は「20.高齢者への理解・支援」です。

【問1-1】今後のまちづくりで特に重要と思うもの（5つまで選択/年齢別/第5位までの順位表）

※ [ ] は回答者数、網掛けの数値は%。同率のため併記しているか所もあります。

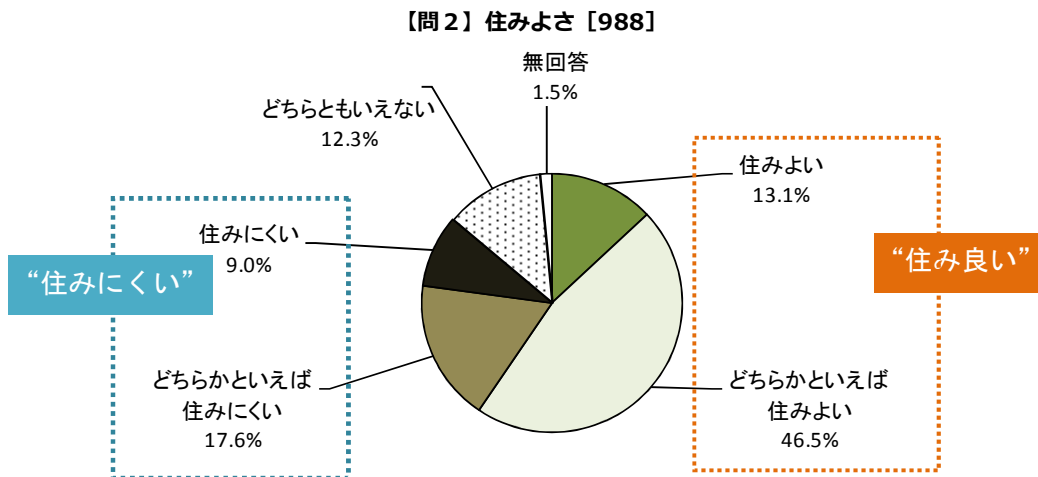
	1位	2位	3位	4位	5位
18～29歳 [95]	19. 病院などの医療環境	29. 商業の振興 (買物の便利さ)	17. 子育て支援	5. 自然災害など 防災への取組み	11. 除排雪の対応
	51.6	34.7	31.6	30.5	27.4
30歳代 [163]	19. 病院などの医療環境	17. 子育て支援	7. 消防・救急 体制	5. 自然災害など 防災への取組み	29. 商業の振興 (買物の便利さ)
	49.7	39.9	27.0	26.4	25.8
40歳代 [151]	19. 病院などの医療環境	5. 自然災害など 防災への取組み	29. 商業の振興 (買物の便利さ)	7. 消防・救急 体制	27. 農林業の振興
	48.3	34.4	33.1	24.5	23.2
50歳代 [177]	19. 病院などの医療環境	7. 消防・救急 体制	20. 高齢者への 理解・支援	5. 自然災害など 防災への取組み	29. 商業の振興 (買物の便利さ)
	49.2	36.7	33.9	30.5	27.7
60歳代 [198]	19. 病院などの医療環境	20. 高齢者への 理解・支援	5. 自然災害など 防災への取組み	7. 消防・救急 体制	28. 漁業(水産業) の振興
	43.9	34.3	28.3	27.8	27.3
70歳以上 [177]	20. 高齢者への 理解・支援	19. 病院などの 医療環境	28. 漁業(水産業) の振興	無回答	27. 農林業の振興
	33.3	31.6	27.1	26.0	21.5



## 問2 住みよさ

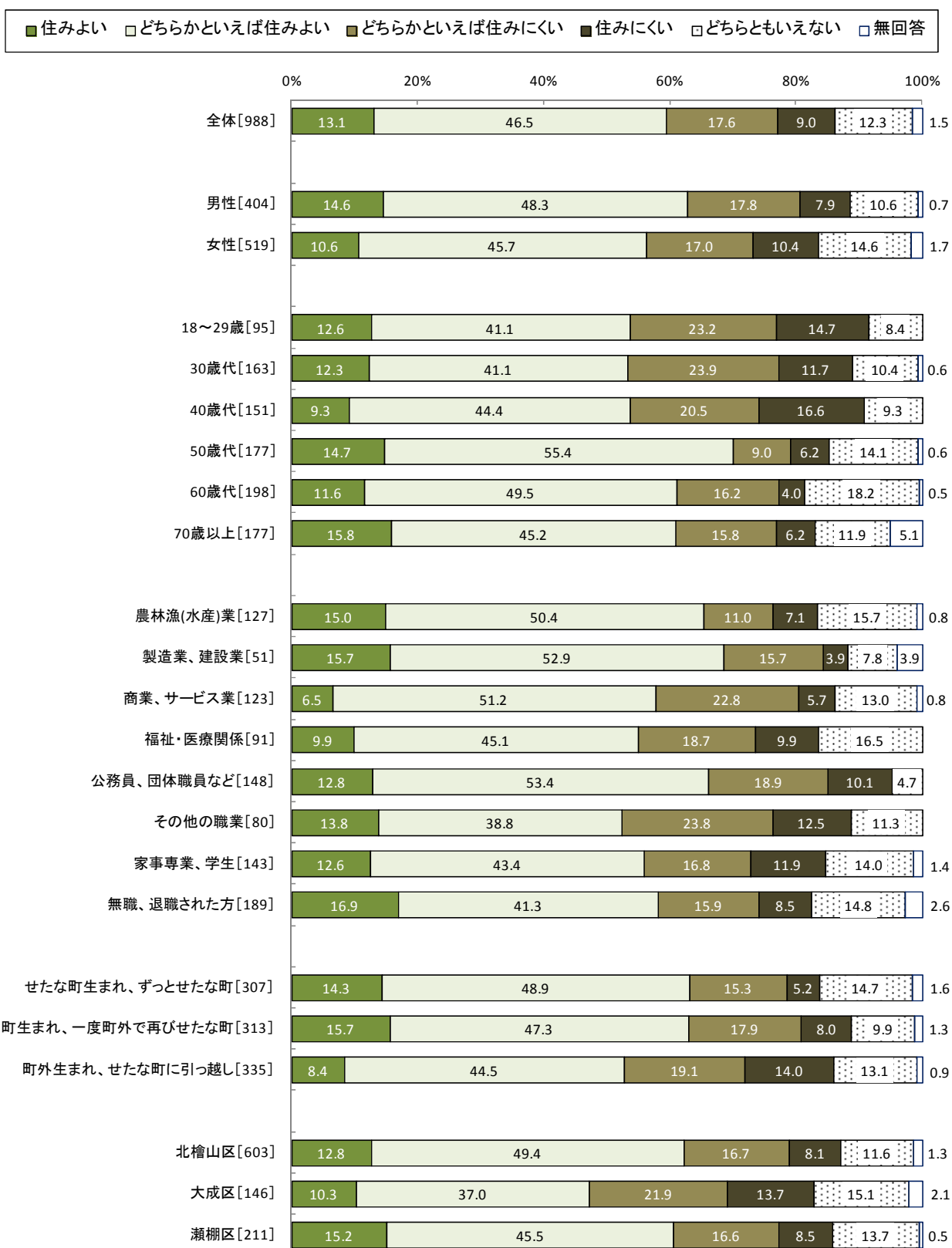
【問2】 総合的に考えて、せたな町の住みよさはいかがですか。 1つだけ選んでください。

- 「どちらかといえば住みよい」が 46.5%と約半数を占め最も高く、「どちらかといえば住みにくい」(17.6%)が続きます。
- 「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の2つを合計すると 59.6%で、程度の差はありますが、約6割は“住み良い”と感じています。
- 一方、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」(9.0%)を合計すると 26.6%で、3割弱は“住みにくい”と感じています。



- 性別で見ると、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」ともに男性の方がやや高くなっています。
- 年齢別で見ると、「住みよい」は70歳以上で最も高いですが、「どちらかといえば住みにくい」が最も高いのは50歳代で「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計も50歳代が最も高くなっています。一方「どちらかといえば住みにくい」や「住みにくい」は40歳代以下の年齢で高く、この2つの回答の合計は3割をこえます。
- 職業別で見ると、「住みよい」「どちらかといえば住みよい」の合計が高いのは「農林漁業（水産業）」「製造業、建設業」「公務員、団体職員」などです。一方「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の合計は「その他の職業」で高く、3割をこえます。
- 居住歴別で見ると、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の合計は「町外生まれ、せたな町に引っ越し」で高く、3割をこえます。
- 居住区別で見ると、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の合計は大成区で高く、3割をこえます。

【問2】住みよさ（属性別）

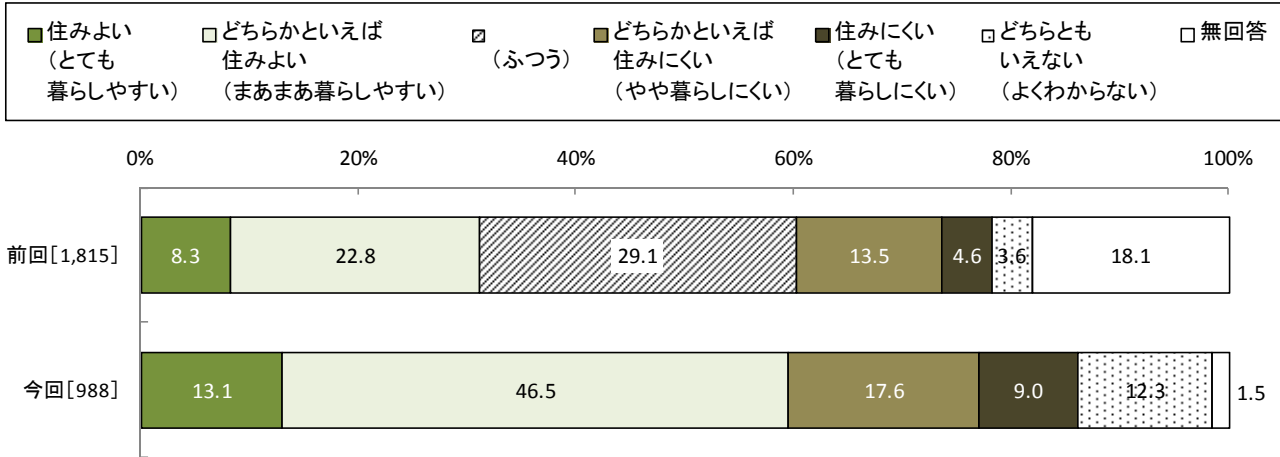


[前回との比較]

- ・前回と比較すると、前回のみあった選択肢「ふつう」も含めると、住みよさを肯定した割合は、ほぼ同じです。

※（ ）は、前回の選択肢。

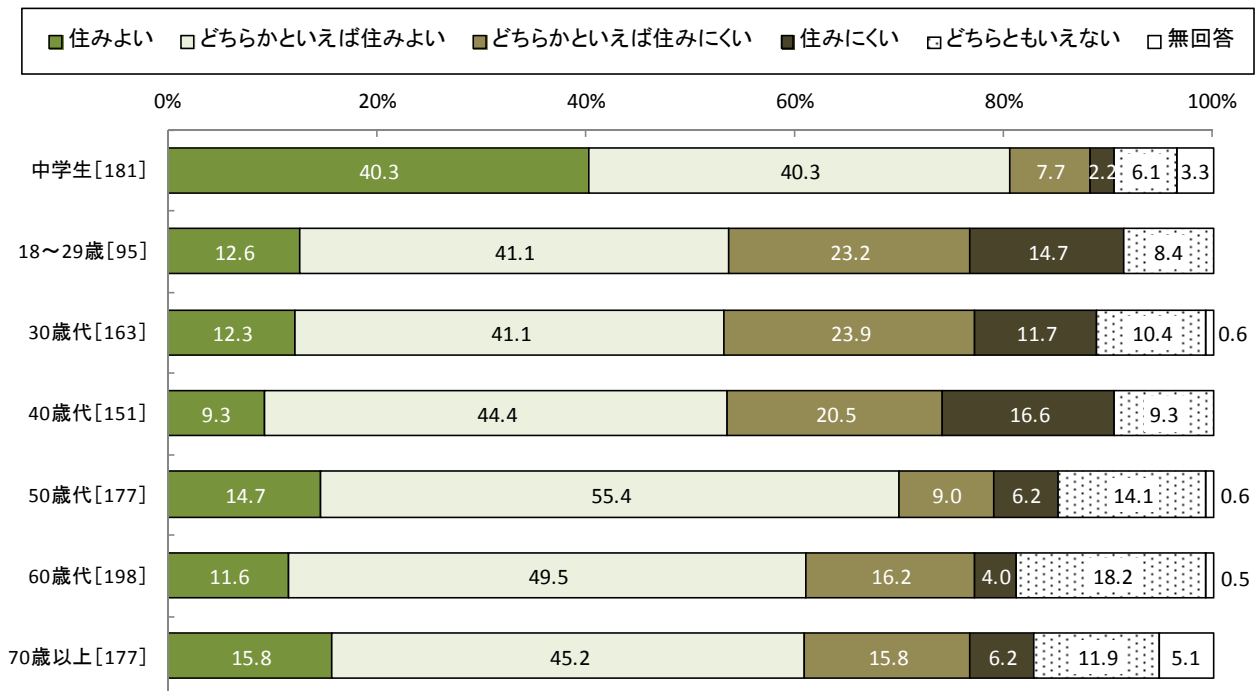
【問2】住み良さ（前回との比較）



[中学生との比較]

- ・中学生アンケートの結果と比較すると、中学生の「住み良い」は、一般と比較すると、かなり高くなっています。

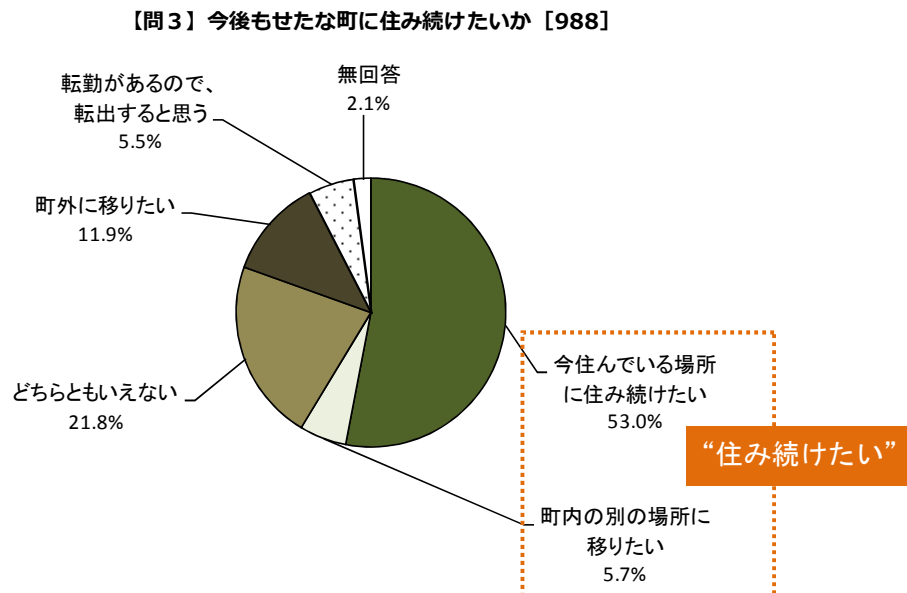
【問2】住み良さ（中学生との比較）



### 問3 定住意向

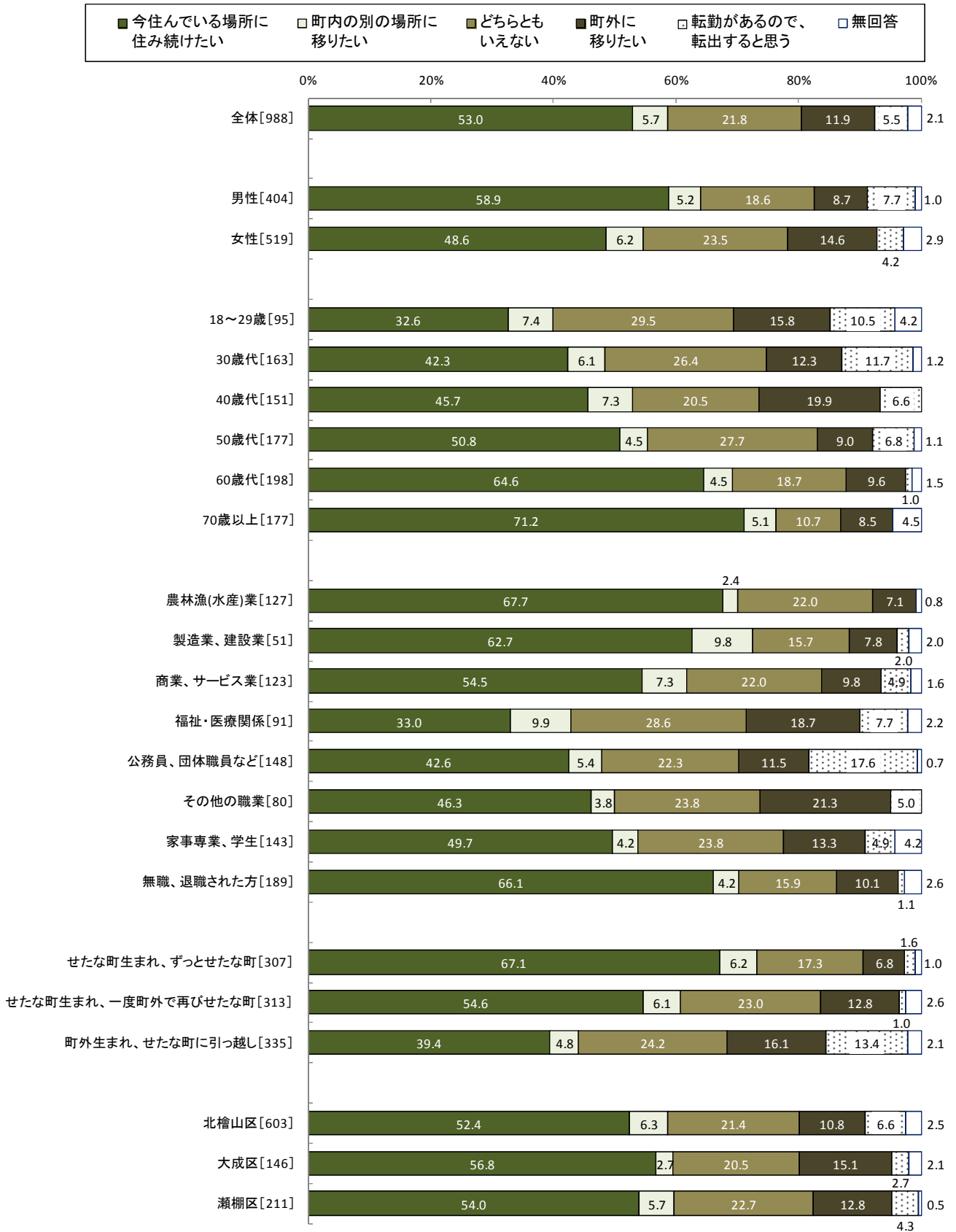
【問3】 今後もせたな町に住み続けたいですか。 1つだけ選んでください。

- 「今住んでいる場所に住み続けたい」が53.0%と過半数を占め、「どちらともいえない」(21.8%)が続きます。「町外に移りたい」は11.9%です。
- 「今住んでいる場所に住み続けたい」と「町内の別の場所に移りたい」(5.7%)を合わせると58.7%で、約6割はせたな町に住み続けることを希望しています。



- 性別で見ると、「今住んでいる場所に住み続けたい」は男性、「どちらともいえない」や「町外に移りたい」は女性の方が高くなっています。
- 年齢別で見ると、いずれの年齢も「今住んでいる場所に住み続けたい」が最も高いですが、その割合は、年齢が高いほど高くなっています。「町外に移りたい」は40歳代で高く、約2割を占めています。
- 職業別で見ると、「今住んでいる場所に住み続けたい」は「農林漁業（水産業）」や「無職、退職された方」で高く、7割近くを占めています。一方「町外に移りたい」は「福祉・医療関係」や「その他の職業」で高く、2割前後を占めています。
- 居住歴別で見ると、「今住んでいる場所に住み続けたい」は「せたな町生まれ、ずっとせたな町」「せたな町生まれ、一度町外で再びせたな町」「町外生まれ、せたな町に引っ越し」の順で高くなっています。

【問3】 今後もせたな町に住み続けたいか（属性別）

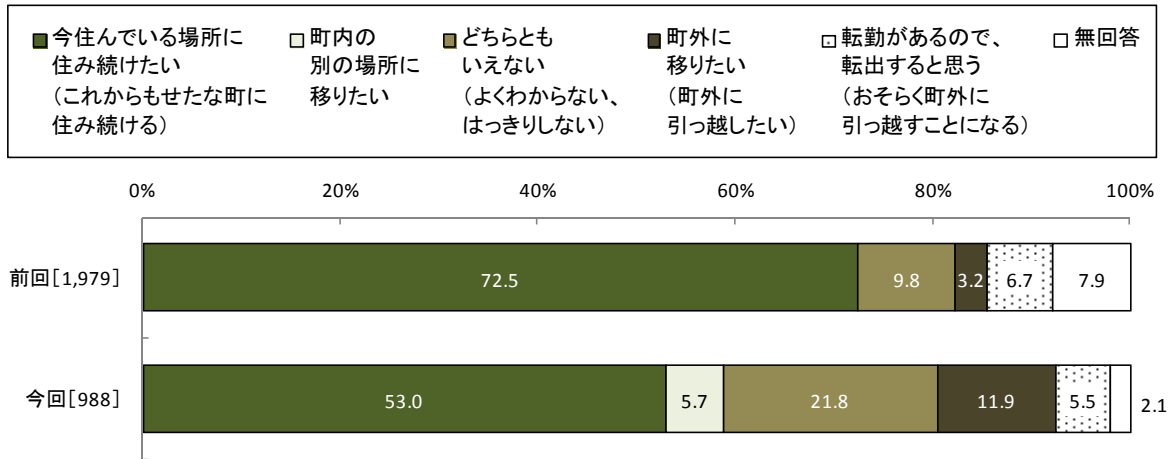


[前回との比較]

- ・前回と比較すると、「今住んでいる場所に住み続けたい」が低くなり、「どちらともいえない」「町外に移りたい」が高くなっています。

※（ ）は、前回の選択肢。「町内の別の場所に移りたい」は今回のみ。

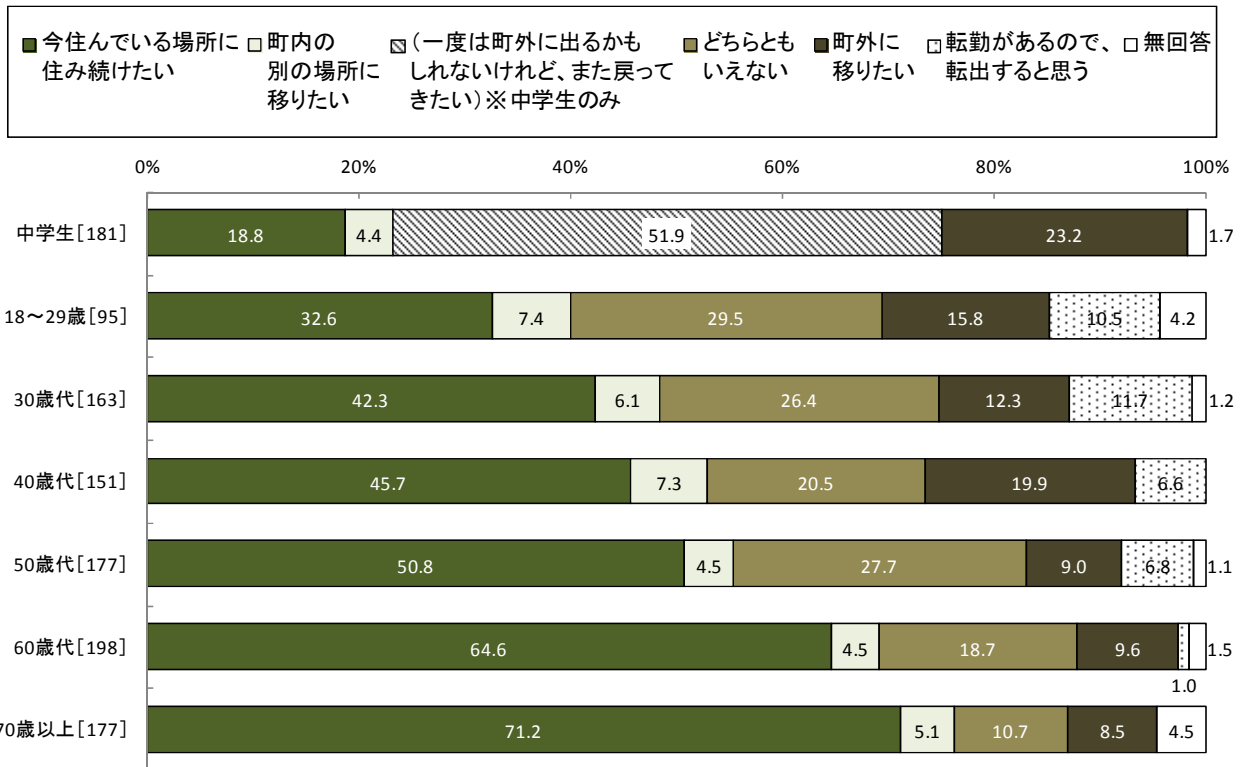
【問3】今後もせせな町に住み続けたいか（前回との比較）



[中学生との比較]

- ・「今の場所に住み続けたい」は、一般よりも低くなっていますが、「一度は町外に出るかもしれないけれど、また戻ってきたい」を合わせると、町内への定住意向は、70歳以上とほぼ同率です。

【問3】今後もせせな町に住み続けたいか（中学生との比較）

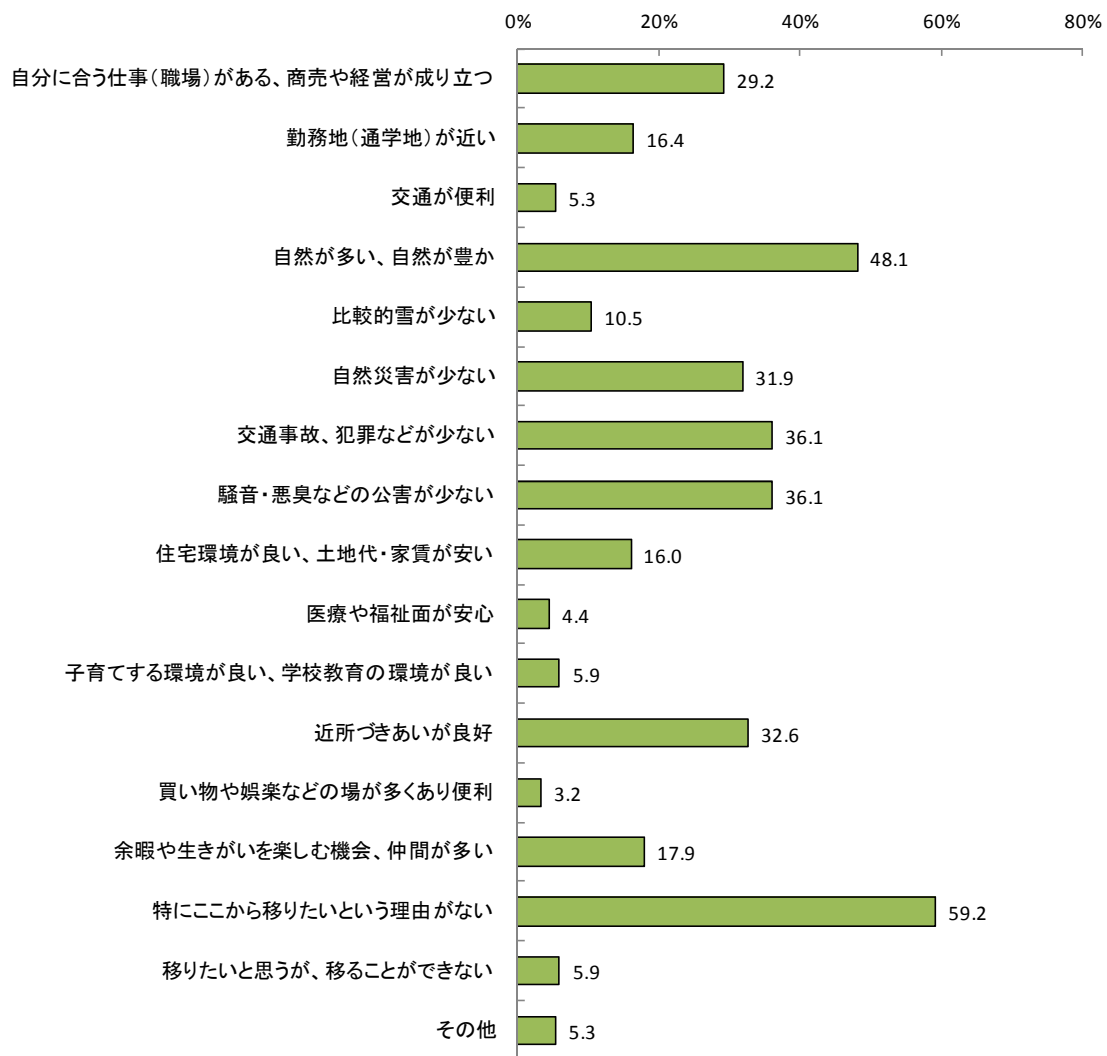


### 問3-1 今住んでいる場所に住み続けたい理由

【問3-1】問3で「今住んでいる場所に住み続けたい」を選んだ方にお尋ねします。その回答を選んだ理由についてあてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- 「特にここから移りたいという理由がない」(59.2%)が最も高く、「自然が多い、自然が豊か」(48.1%)、「交通事故、犯罪などが少ない」と「騒音・悪臭などの公害が少ない」(同率で36.1%)が続きます。

【問3-1】今の場所に住み続けたい理由（あてはまるものすべて選択） [524]

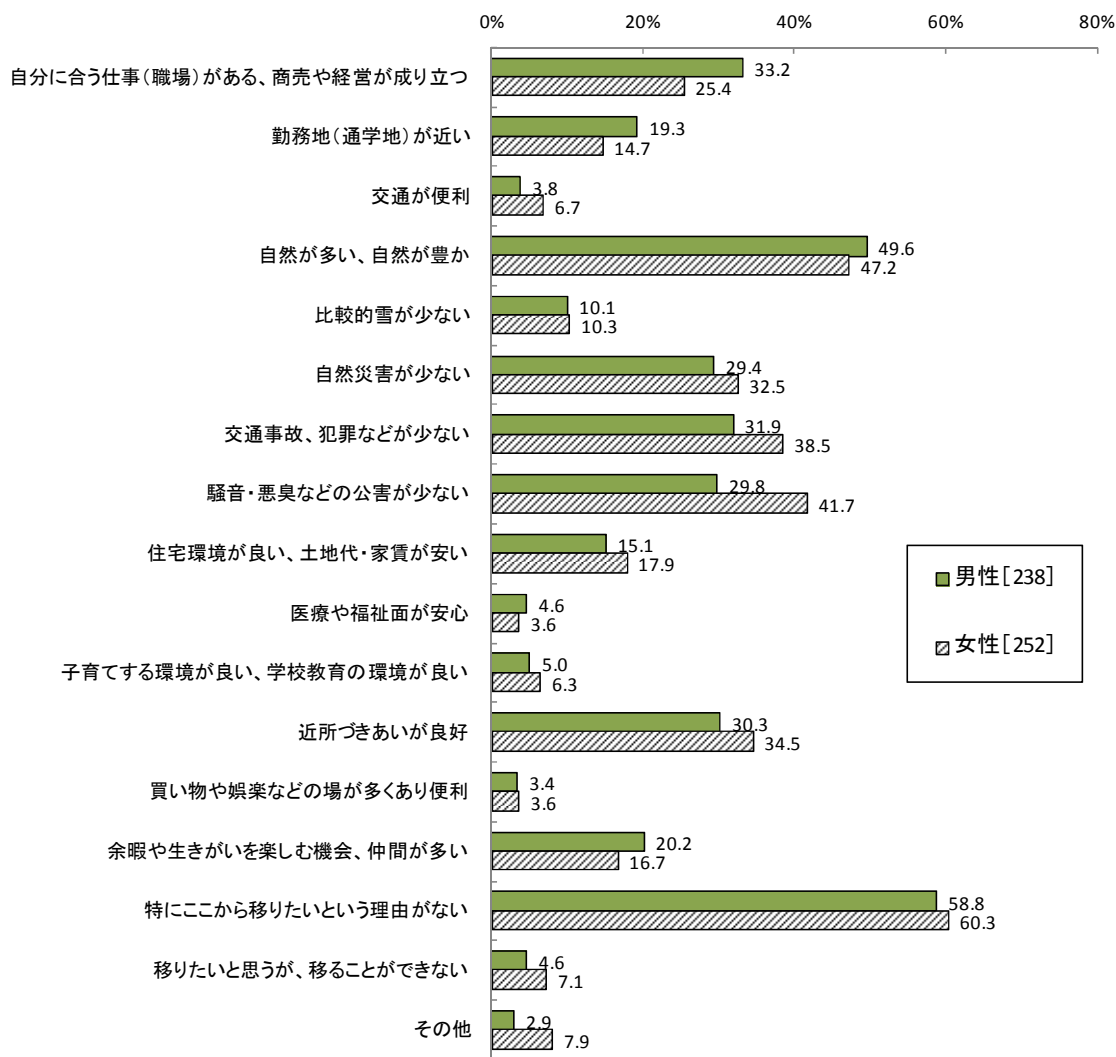


※「その他」の記載

家がある(5) 土地がある(2) 生まれ育った町だから(2) 愛着がある。きっといい町になるから  
 家族、親、子供たちが町内にいる(4) 縦のつながりを感じ大切に生きていこうと決めたので  
 この町をどうにかしようと思っているから 子供のため(友達関係) 住み慣れている 今の生活に満足している  
 学校教育が良いとは思わないが、子どもを育てるには自然が多く農業が盛んだからプラスになる事が多い 道路の雪がこない所  
 今移りたいと望んでも受入れ先がない 今までの生活スタイルや人間関係を変えずに生活できる  
 経済面、年齢を考えると現在に満足しているわけではないが、町外に移るメリットがない  
 この場所に住み続ける意義を感じている。守るものがある  
 不満もあるが住めば都 人口が少ないので近所付き合いが少ないのが残念

- 性別で見ると、男女とも「特にここから移りたいという理由がない」が第1位、「自然が多い、自然が豊か」が第2位です。
- 「自分に合う仕事（職場）がある、商売や経営が成り立つ」は男性、「交通事故、犯罪などが少ない」や「騒音・悪臭などの公害が少ない」は女性の回答率が高く、差がめだちます。

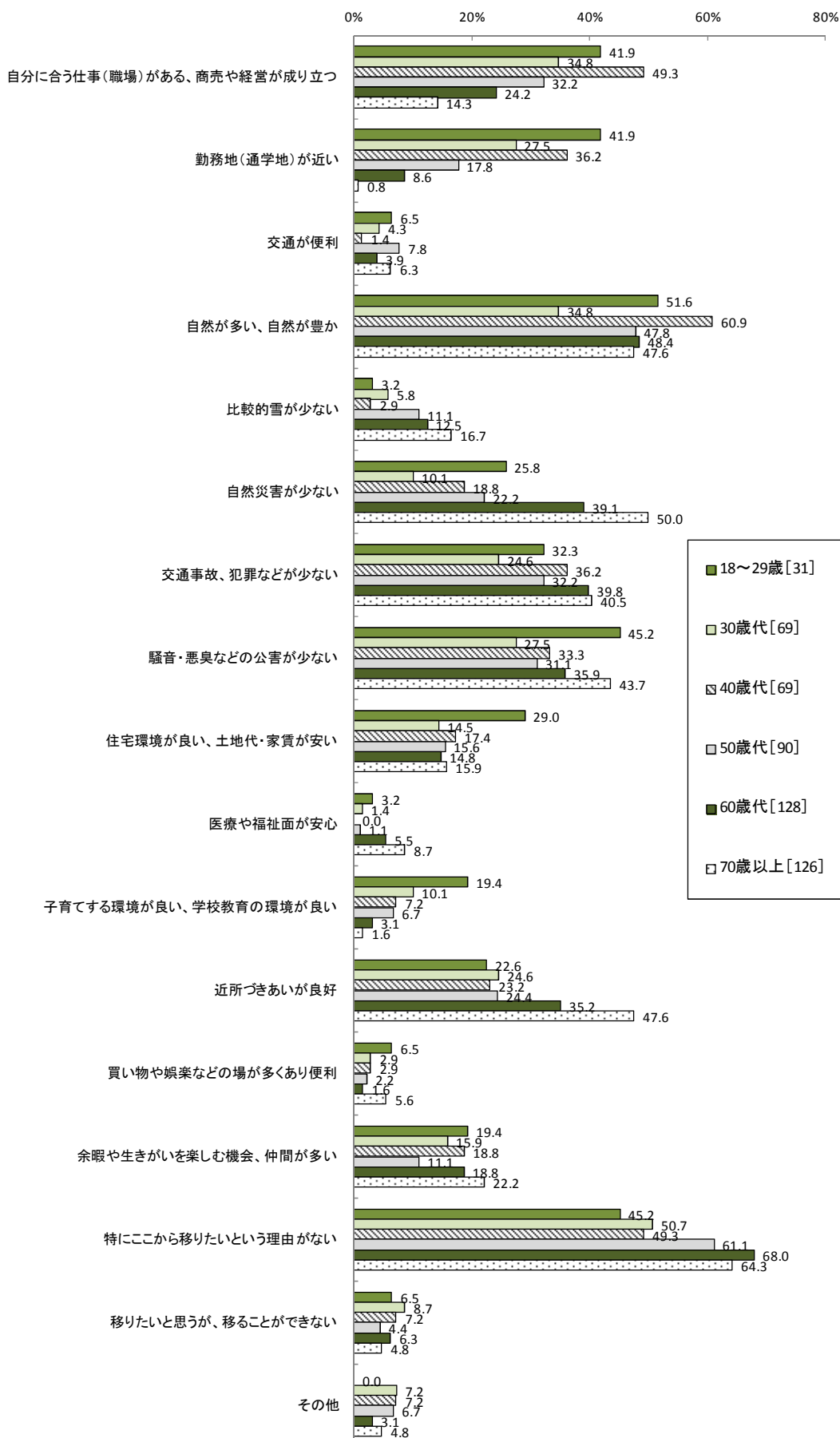
【問3-1】今の場所に住み続けたい理由（あてはまるものすべて選択/性別）



- 年齢別で見ると、18～29歳と40歳代は「自然が多い、自然が豊か」、その他の年齢は「特にここから移りたいという理由がない」が第1位です。
- 「自分に合う仕事（職場）がある、商売や経営が成り立つ」は40歳代、「通勤地（通学地）が近い」は18～29歳と40歳代、「自然災害が少ない」は70歳以上、「騒音・悪臭などの公害が少ない」18～29歳と70歳以上、「住宅環境が良い、土地代・家賃が安い」や「子育てする環境が良い、学校教育の環境が良い」は18～29歳、「近所づきあいが良好」は60歳代と70歳以上で回答率が高く、他の年齢との差がめだちます。



【問3-1】今の場所に住み続けたい理由（あてはまるものすべて選択/年齢別）

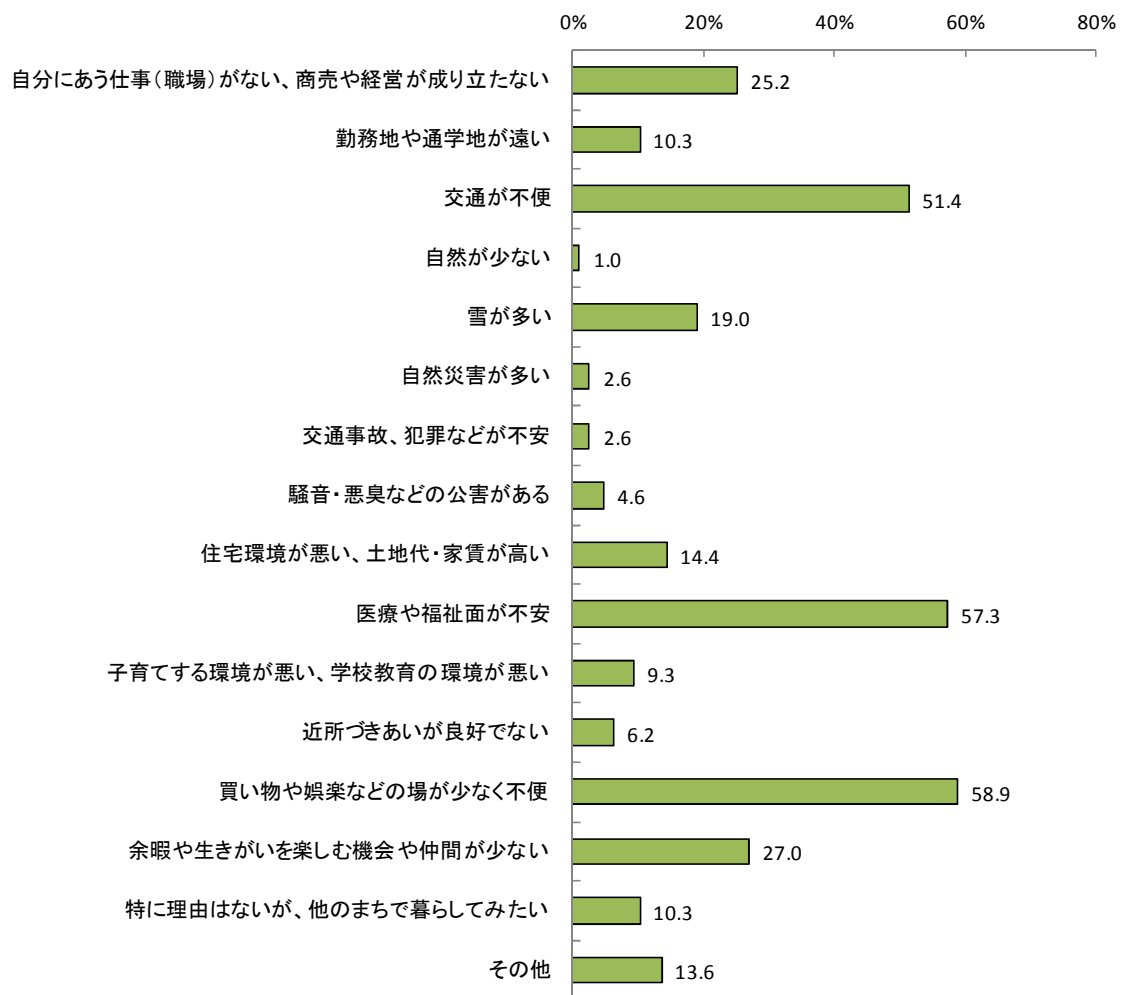


## 問3-2 町外に移りたい、あるいは、どちらともいえない理由

【問3-2】問3で「町内の別の場所に移りたい」「どちらともいえない」「町外に移りたい」を選んだ方にお尋ねします。その回答を選んだ理由について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- 「買い物や娯楽などの場が少なく不便」(58.9%)が最も高く、「医療や福祉が不安」(57.3%)、「交通が不便」(51.4%)と続きます。

【問3-2】今の場所から移りたい理由（あてはまるものすべて選択）【389】

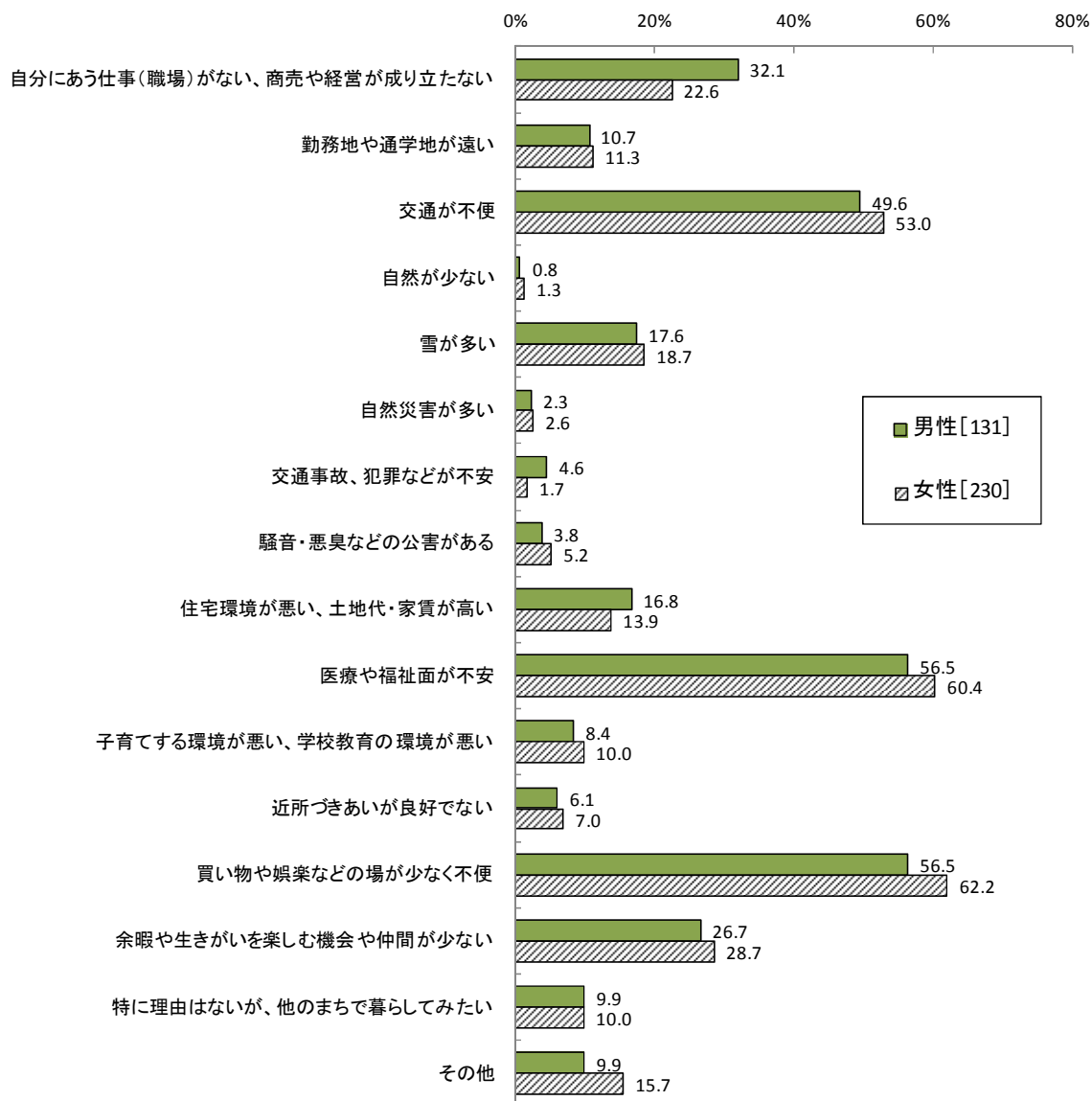


※「その他」の記載

風が強い(2) やませが強く気分が沈んでしまう 川の近く、大雨がふるとこわい 自然災害が心配(川) 自然災害が不安  
 冬季の除排雪。国道沿いにて大変(せたな区) 雪かきが大へんです 雪が吹き溜まる 街灯が無くて夜道が暗い  
 老後子供の所へ行く(4) 今は良いが老後を考えると不便(2)  
 子供が町外に出て戻ってこれない。教育や仕事場の不足。老後、ここで生活を続けられるか不安 人の目と噂が気になる  
 一人暮らしなので、将来どうなるかわからない 老後、一人になった時寂しいので、周りに人がたくさんいたほうが良いので  
 一度利便性の高い都市に住むと、ここは住みづらい 金融機関がATMしかなかったり、曜日でしか利用できず、不便です  
 車の運転ができないのでどこに行くにも不便 交通がとくに不便です  
 家が古くなってきた(2) 住宅の整備が悪いのに、毎年家賃だけが高くなるから腹立つ もう少し広い家に住みたい  
 仕事が好きなく、若い世代が残れるような環境ではない(2) 職場の人間 次の仕事を始めるにあたり適地とは思えない  
 役場等の対応が悪い。町営住宅にあきがあるのに入れない等 病院などが無い。病院の対応が悪い 夜間の緊急車両の問題  
 生活していても張りがなく医療も不安、医師も信頼持てない、患者に冷たい 未来が見えない、遠く感じる 進学  
 おかね無いので 地元出身ではなく子どもが巣立ったら町にいる意味を感じない  
 せっかくの海、山の自然が生かされてない 物事を見る折々の視野がせますぎると感じる  
 持家がある為と、お金がなく他町へ行けない。交通、病院、歯科のある市や町へ住みたい！！  
 せたな町は、良いまちです。(ただ)自分の人生がどうなるかわからないので！

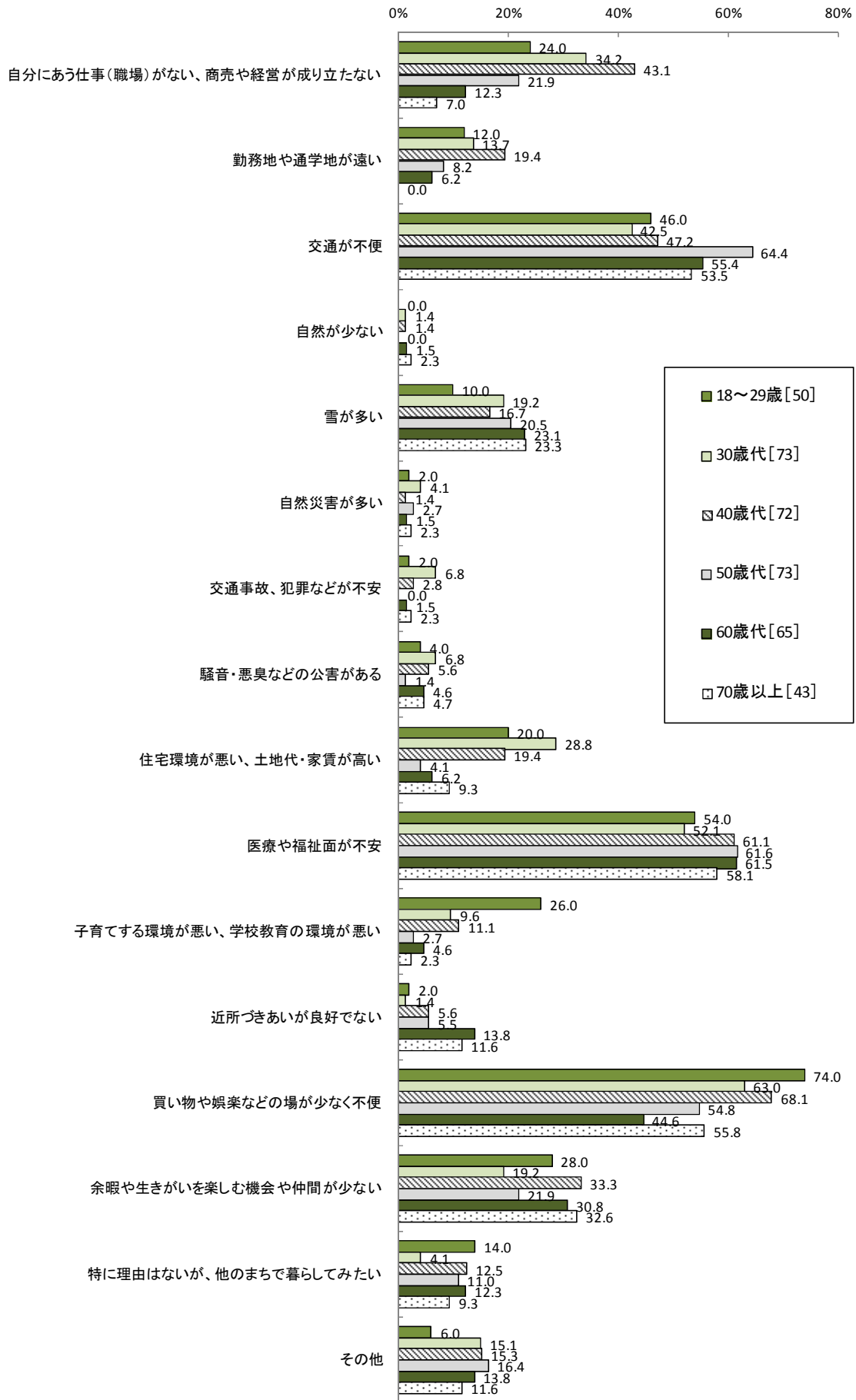
- 性別で見ると、男女とも上位3位は同じです。
- 「自分にあう仕事（職場）がない、商売や経営が成り立たない」は男性の方が高く、男女の差がめだちますが、全体的に大きな差はみられません。

【問3-2】今の場所から移りたい理由（あてはまるものすべて選択/性別）



- 年齢別で見ると、40歳代までの若い年齢は「買い物や娯楽などの場が少なく不便」、50歳代は「交通が不便」、60歳代と70歳以上は「医療や福祉面が不安」が第1位です。
- 「自分にあう仕事（職場）がない、商売や経営が成り立たない」は30～40歳代、「住宅環境が悪い、土地代・家賃が高い」は40歳代までの若い年齢、「子育てする環境が悪い、学校教育の環境が悪い」は18～29歳で回答率が高く、他の年齢との差がめだちます。

【問3-2】今の場所から移りたい理由（あてはまるものすべて選択/年齢別）

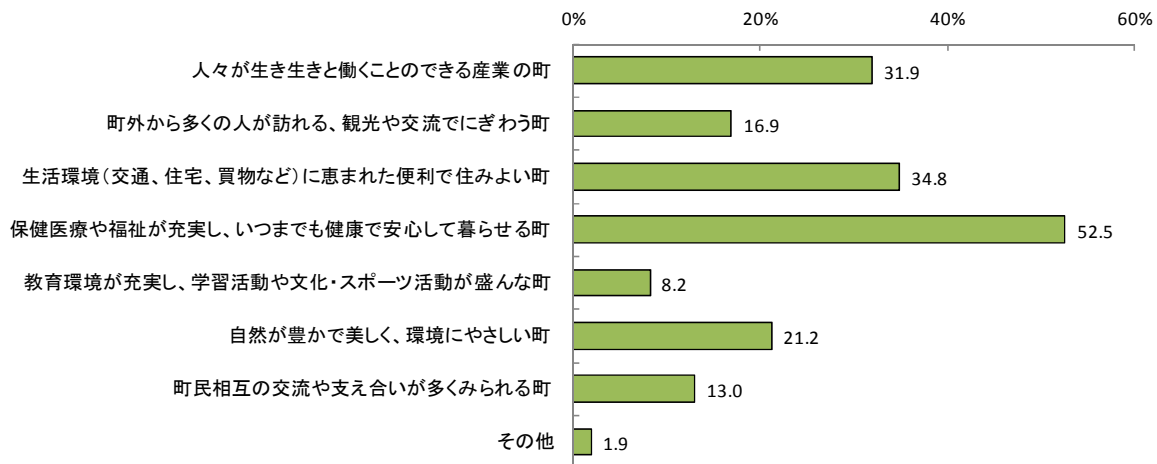


#### 問4 せたな町に望む将来の姿

【問4】 せたな町の将来に、どのような姿を望みますか。あなたの考えに近いものから2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

- 「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」(52.5%) が最も高く、「生活環境(交通、住宅、買物など)に恵まれた便利で住みよい町」(34.8%)、「人々が生き生きと働くことのできる産業の町」(31.9%)と続きます。

【問4】 せたな町に望む、将来の姿(2つまで選択) [988]

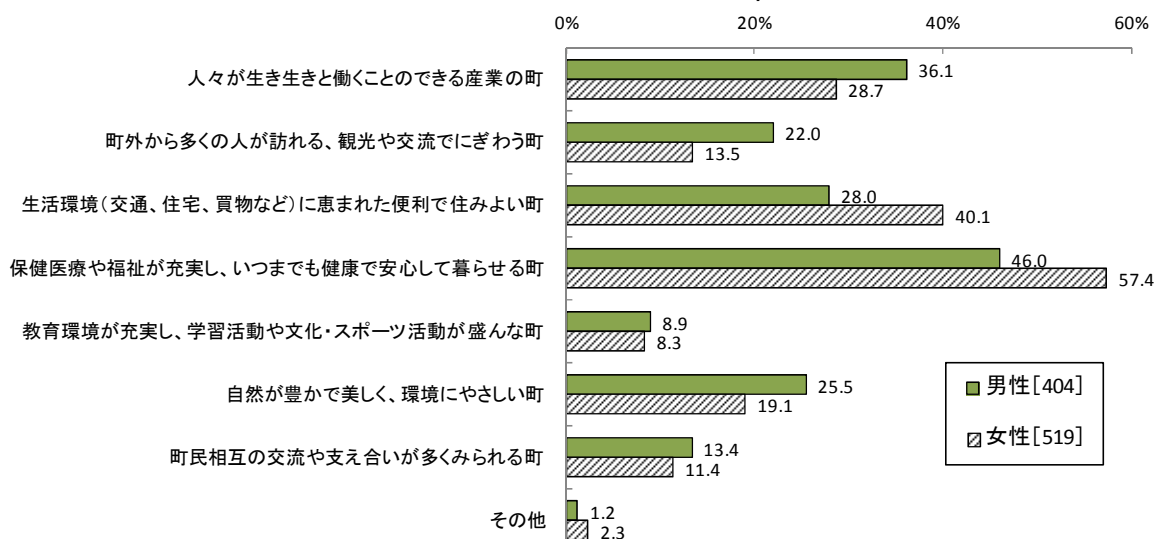


※「その他」の記載

企業誘致にも積極的な町 財政が豊かになり、若い人が今よりも住みたくなると思える町  
 町外から安心して働ける職場が多い町 若者が町内で働ける町  
 若者が出て行かない町 子供たちの為になる町 町内で仕事や子育てに力を入れて住みよい町 町外からおとずれやすい町  
 他者を受け入れる町 挨拶、笑顔で対応をしてもらえる町  
 町が合併して広がったので、仲よくしてほしい。我が我がじゃなく相手の気持ちを考えて  
 瀬棚は希望無くなる一方で残念です。昔の活気はもう無理だと思います

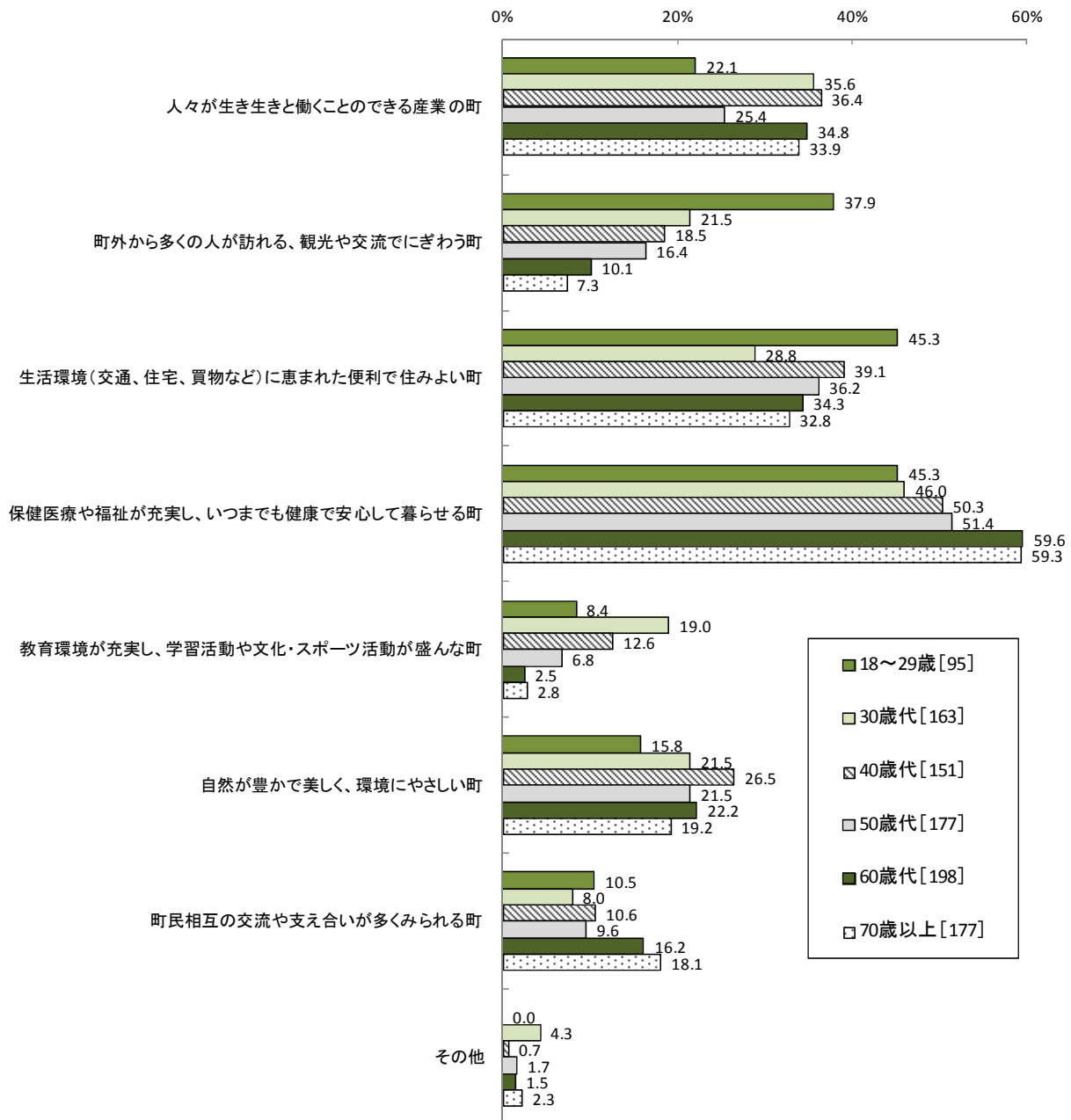
- 性別で見ると、男女とも「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」が第1位ですが、女性の方が高く、男女の差がめだちます。第2位については、男性は「人々が生き生きと働くことのできる産業の町」、女性は「生活環境(交通、住宅、買物など)に恵まれた便利で住みよい町」をあげ、それぞれ男女の差がめだちます。
- 「町外から多くの人を訪れる、観光や交流でにぎわう町」や「自然が豊かで美しく、環境にやさしい町」は男性の回答率が高く、男女の差がめだちます。

【問4】 せたな町に望む、将来の姿(2つまで選択/性別)



- 年齢別で見ると、18～29歳は「生活環境（交通、住宅、買物など）に恵まれた便利で住みよい町」と「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」（同率）、その他の年齢は「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」が第1位です。
- 「町外から多くの人を訪れる、観光や交流でにぎわう町」は18～29歳の回答率が特に高く、年齢が低いほど回答率が高くなっています。「保健医療や福祉が充実し、いつまでも健康で安心して暮らせる町」は年齢が高いほど回答率が高まる傾向にあります。

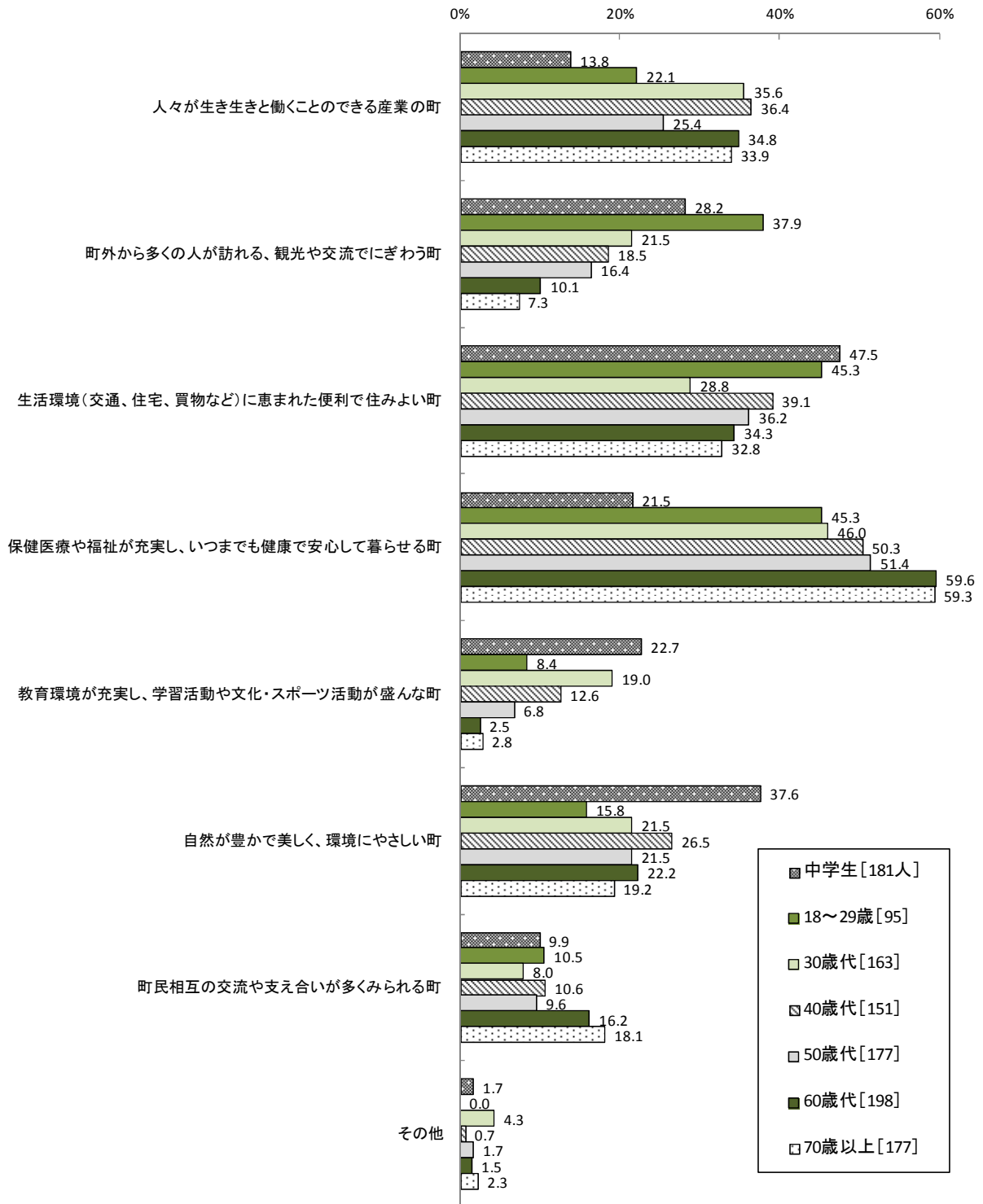
【問4】せたな町に望む、将来の姿（2つまで選択/年齢別）



[中学生との比較]

- ・中学生は、18～29歳と同じく、「生活環境（交通、住宅、買物など）に恵まれた便利で住みよい町」が第1位です。
- ・「自然が豊かで美しく、環境にやさしい町」は、中学生で特に高くなっています。

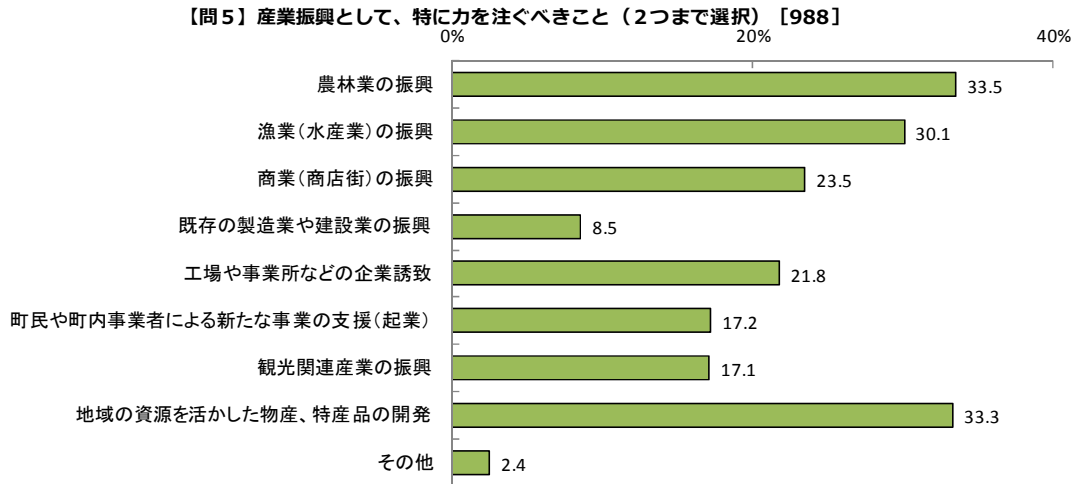
【問4】せたな町に望む、将来の姿（2つまで選択/中学生との比較）



## 問5 産業振興全般について

【問5】せたな町の産業振興について、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

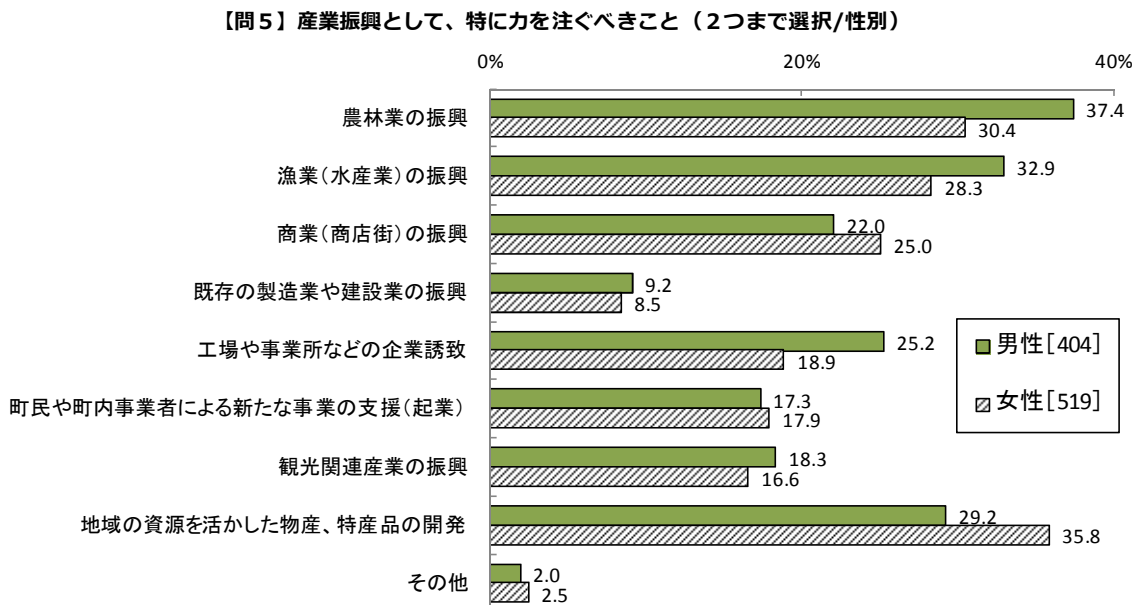
- 「農林業の振興」(33.5%)が最も高く、「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」(33.3%)が続きます。



※「その他」の記載

自然保護につながる循環する農業や林業、産業の振興 企業の誘致と共存 各産業の連携 雇用が生れる産業  
 地域の資源を活用した企業誘致  
 働く場所の確保⇒高校卒業後、就職先がなく町を離れるのをさける。せたな町第1の企業(職員類)が役場でなくなる  
 瀬棚商高の施設を利用した若者の活動。夏に海等に来町した人達が又、来れる何か 体験型の観光(産業開発)  
 教育事業の振興と支援 高齢者や子どもの能力開発事業など教育サービス事業の振興  
 福祉施設等の事業の振興 大型チェーン店(イオン)の出店 とにかく店がないのでこまります

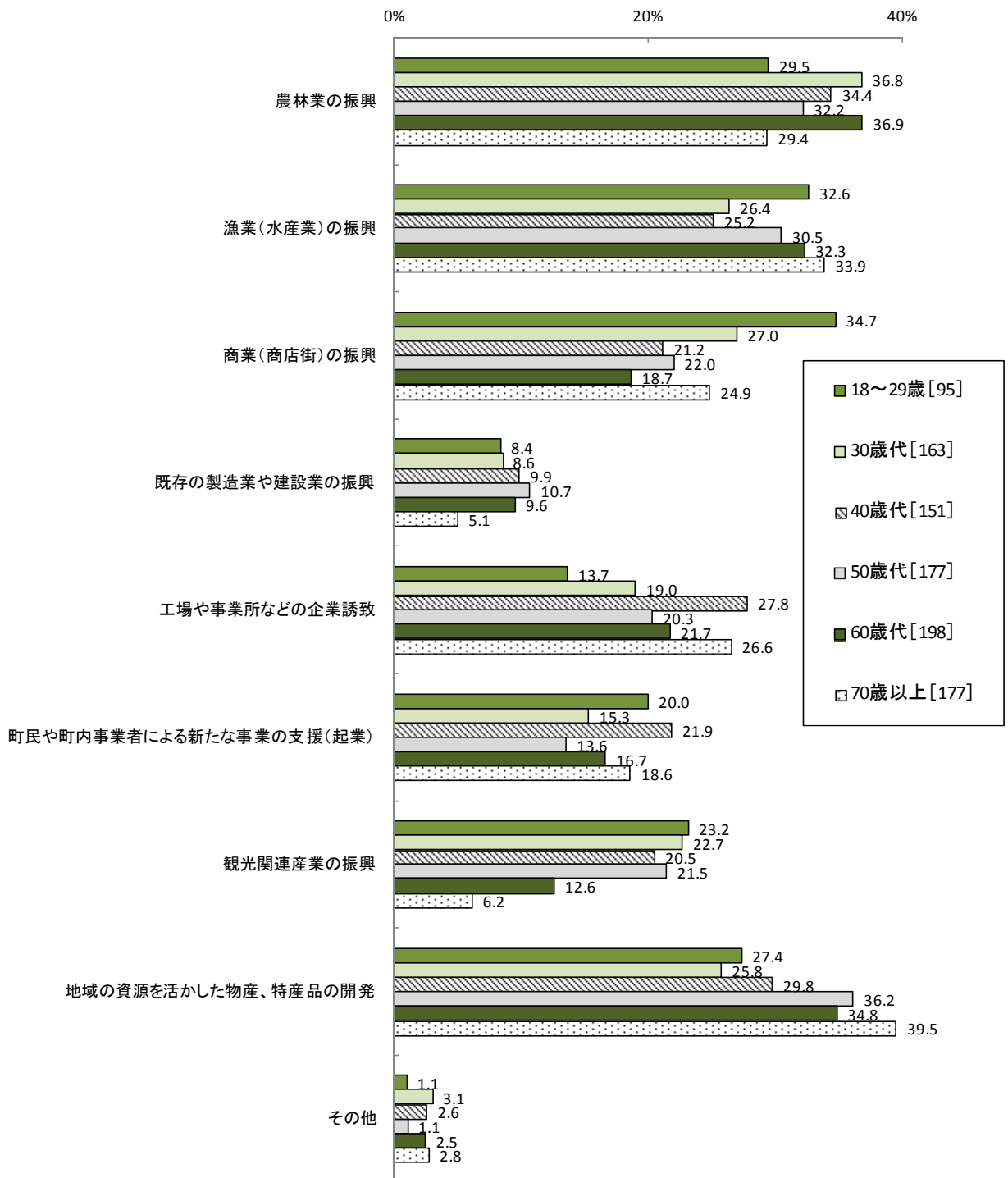
- 性別でみると、男性は「農林業の振興」、女性は「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」が第1位で、それぞれ、男女の差がめだちます。
- 「漁業の振興」「工場や事業所などの企業誘致」は男性、「商業(商店街)の振興」は女性の回答率が高く、それぞれ、男女の差がめだちます。





- 年齢別で見ると、18～29歳は「商業の振興」、30歳代、40歳代、60歳代は「農林漁業」、50歳代と70歳以上は「地域の資源を活かした物産、特産品の開発」が第1位です。
- 「商業の振興」は18～29歳、「工場や事業所などの企業誘致」は40歳代と70歳以上で高く、他の年齢との差がめだちます。

【問5】産業振興として、特に力を注ぐべきこと（2つまで選択/年齢別）

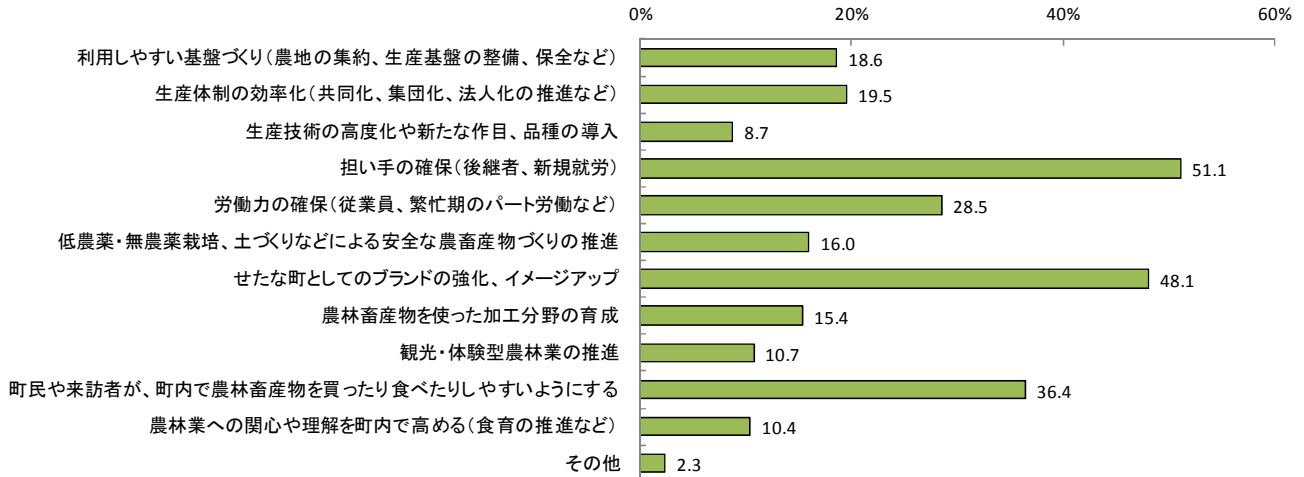


## 問6 農林業の振興について

【問6】せたな町の農林業振興について、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

○「担い手の確保（後継者、新規就労）」（51.1%）が最も高く、「せたな町としてのブランドの強化、イメージアップ」（48.1%）、「町民や来訪者が、町内で農林畜産物を買ったり食べたりしやすいようにする」（36.4%）と続きます。

【問6】農林業で、特に力を注ぐべきこと（3つまで選択）【988】

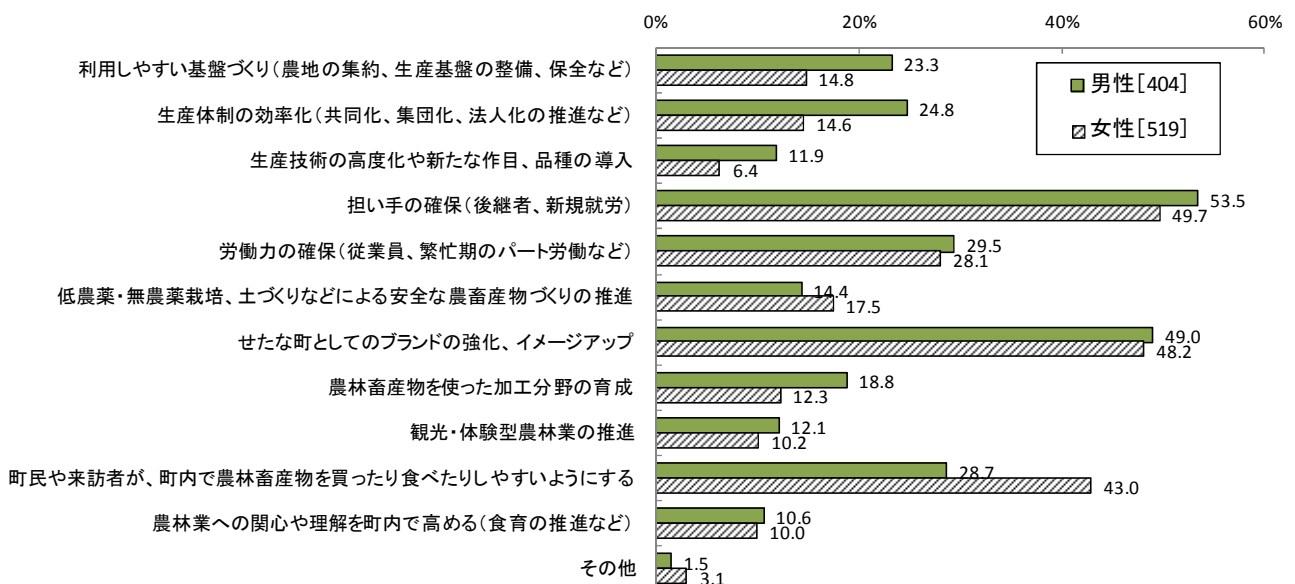


※「その他」の記載

町産農産物のより積極的なPR活動の推進。SNS等 町内産のアピール。JAと協力し、インターネット販売など 企業誘致 働く場所の提供、雇用など JAが主体となり、施設園芸団地を作り、新規就労者を確保する 稲わらの処理について カナダには木材がたくさんある 結婚をすすめる 食糧の生産から人生がはじまるのでは？ 成功している自治体で役場職員に実習体験してもらおうとか。ニセコ、倶知安、どうや、伊達、何がちがうのか。変わってほしい 誰でも生産あるいは売買出来る事。年金をたよらず、生活が豊かに成ること 富里の開拓した農地が荒廃していくのが見るに忍びない。観光・体験型農林業の利用は？ 農家の仲が悪い。後継者の問題もある。農家も後継者居ない。町に農協が2農協があるので町の農業行政が大変

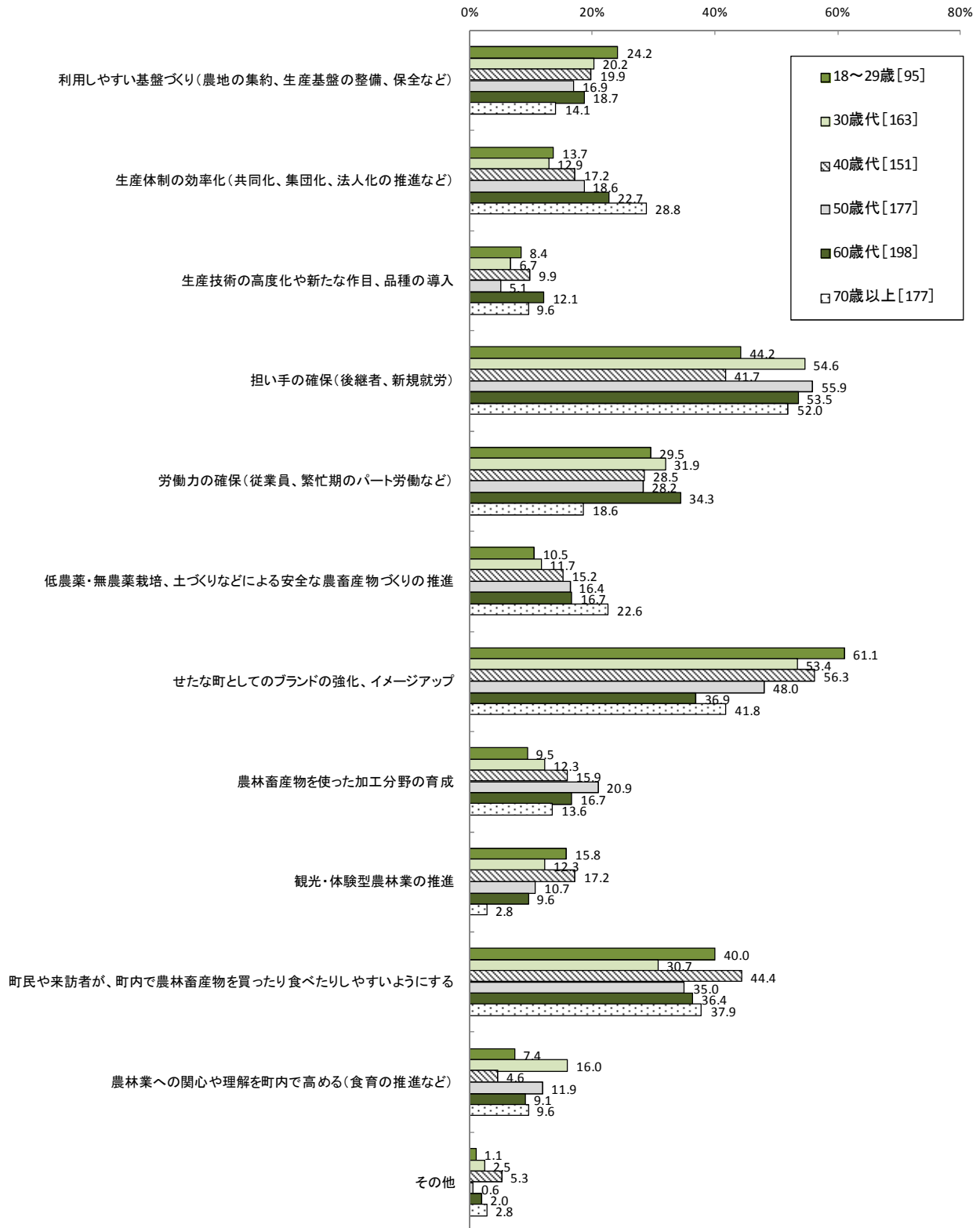
- 性別でみると、男女とも「担い手の確保」が第1位、「せたな町としてのブランドの強化、イメージアップ」が第2位です。
- 「利用しやすい基盤づくり」「生産体制の効率化」「生産技術の高度化や新たな作目、品種の導入」「農林畜産物を使った加工分野の育成」は男性、「町民や来訪者が、町内で農林畜産物を買ったり食べたりしやすいようにする」は女性の回答率が高く、それぞれ、男女の差がめだちます。

【問6】農林業で、特に力を注ぐべきこと（3つまで選択/性別）



- 年齢別で見ると、18～29歳と40歳代は「せたな町としてのブランドの強化、イメージアップ」、その他の年齢は「担い手の確保」が第1位です。
- 「生産体制の効率化」「低農薬・無農薬栽培、土づくりなどによる安全な農畜産物づくりの推進」は年齢が高いほど、「利用しやすい基盤づくり」「せたな町としてのブランドの強化、イメージアップ」は年齢が低いほど回答率が高まる傾向にあります。

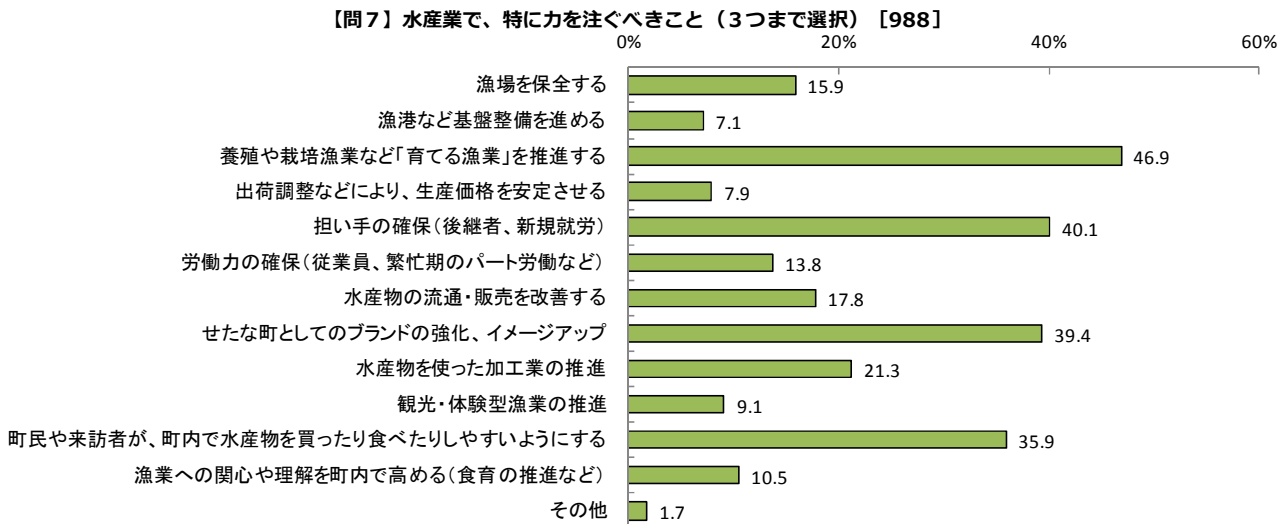
【問6】農林業で、特に力を注ぐべきこと（3つまで選択/年齢別）



## 問7 水産業の振興について

【問7】水産業（漁業、水産加工・販売など）について、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

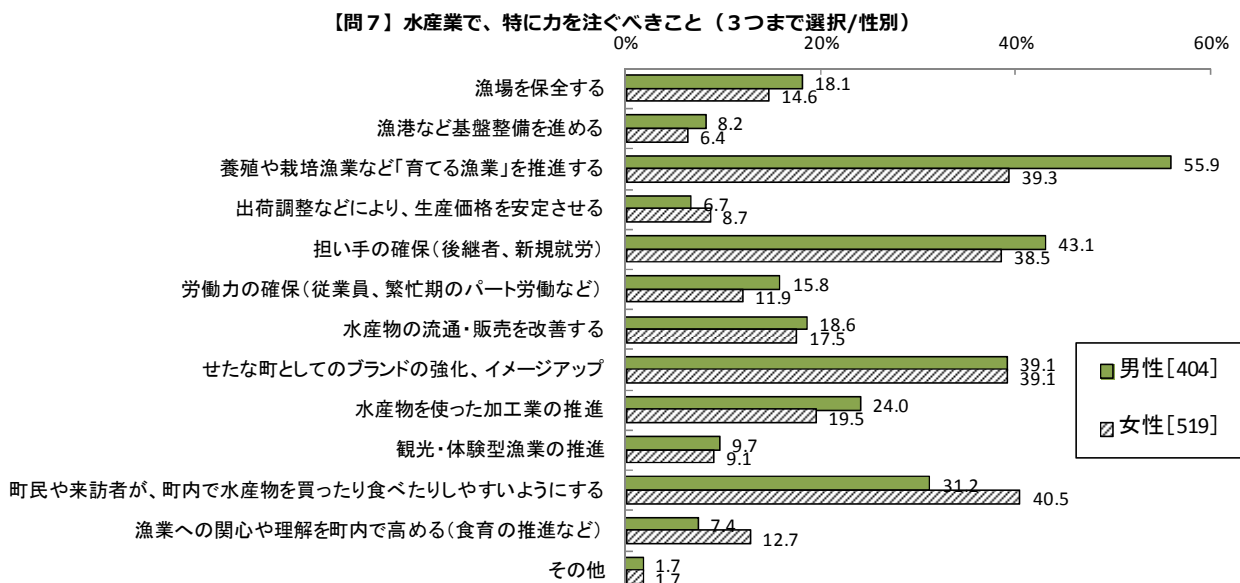
- 「養殖や栽培漁業など「育てる漁業」を推進する」（46.9%）が最も高く、「担い手の確保（後継者、新規就労）」（40.1%）、「せたな町としてのブランドの強化、イメージアップ」（39.4%）、「町民や来訪者が、町内で水産物を買ったり食べたりしやすいようにする」（35.9%）と続きます。



※「その他」の記載

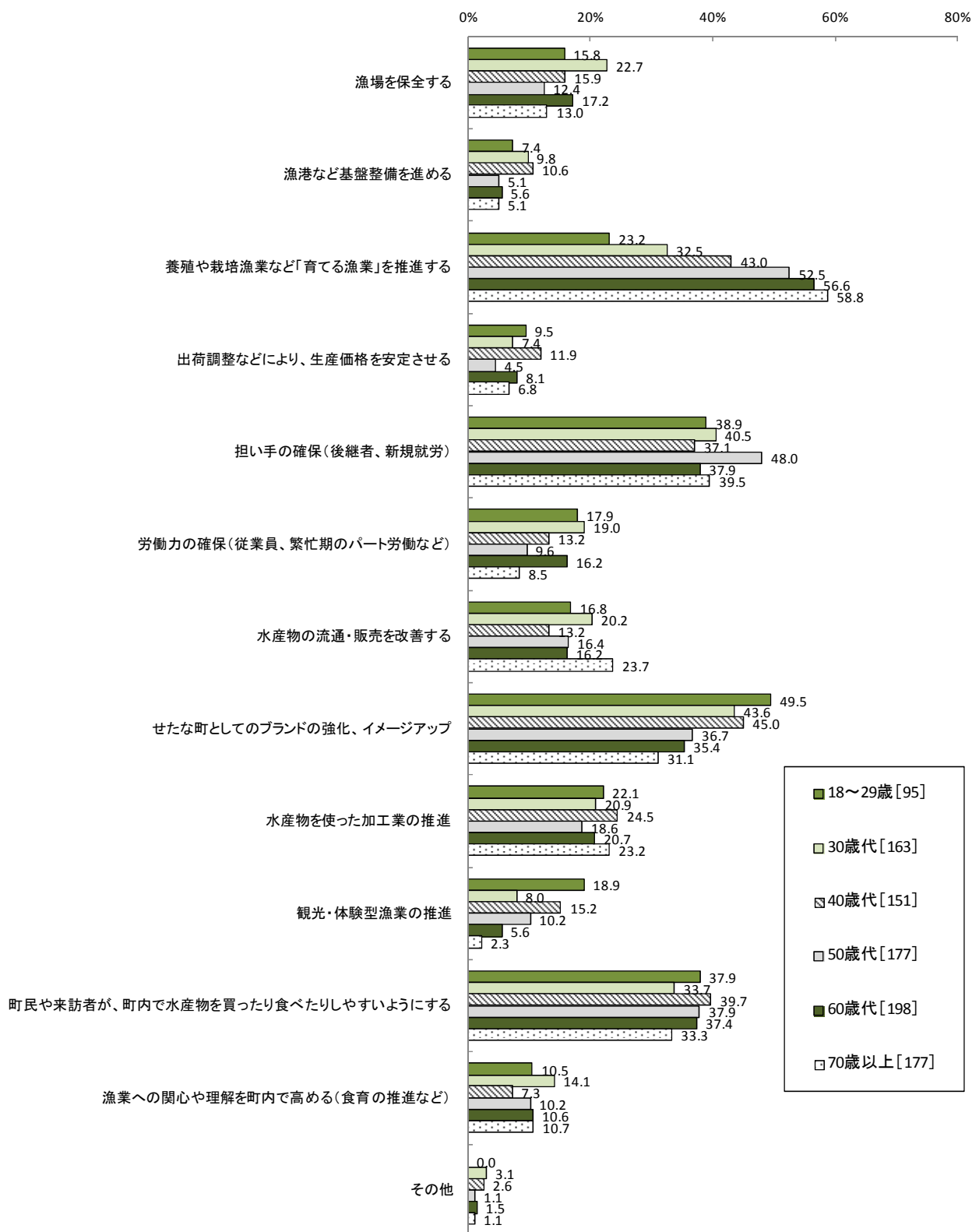
森林を整備し、よい海産物の育つ海をつくる 森・川を良くする（ダムのスリット化）  
 林業との連携を図る 一般人が採取出来る、養殖等の浜があればたのしい 供給先確保  
 来訪者の方々及び町民が本当に鮮度が良いと云う物の推進  
 漁協や漁師の体質改善 漁業部の勝手な行動をやめさせ、全漁民にうるおいを  
 地元でとれる水産物が何なのかよくわからないので、まず地元民へのPR。ウニとホッケとホタテしか知りません  
 捕る事ばかりでなく、海の資源なのだから規制することも大事。密漁するな！と言いますが、漁師はしていないのか？つづも捕ってはいけなくなると、海に行く楽しみはなくなります。触って見て感じる事も大切ですよ

- 性別で見ると、男性は「養殖や栽培漁業など「育てる漁業」を推進する」、女性は「町民や来訪者が、町内で水産物を買ったり食べたりしやすいようにする」が第1位で、それぞれ、男女の差がめだちます。



- 年齢別で見ると、40歳代までの若い年齢は「せたな町としてのブランドの強化、イメージアップ」、その他の年齢は「養殖や栽培漁業など「育てる漁業」を推進する」が第1位です。
- 「養殖や栽培漁業など「育てる漁業」を推進する」は年齢が高いほど回答率が高く、「せたな町としてのブランドの強化、イメージアップ」は年齢が低いほど回答率が高まる傾向にあります。「担い手の確保（後継者、新規就労）」は50歳代で高く、他の年齢との差がめだちます。

【問7】水産業で、特に力を注ぐべきこと（3つまで選択/年齢別）

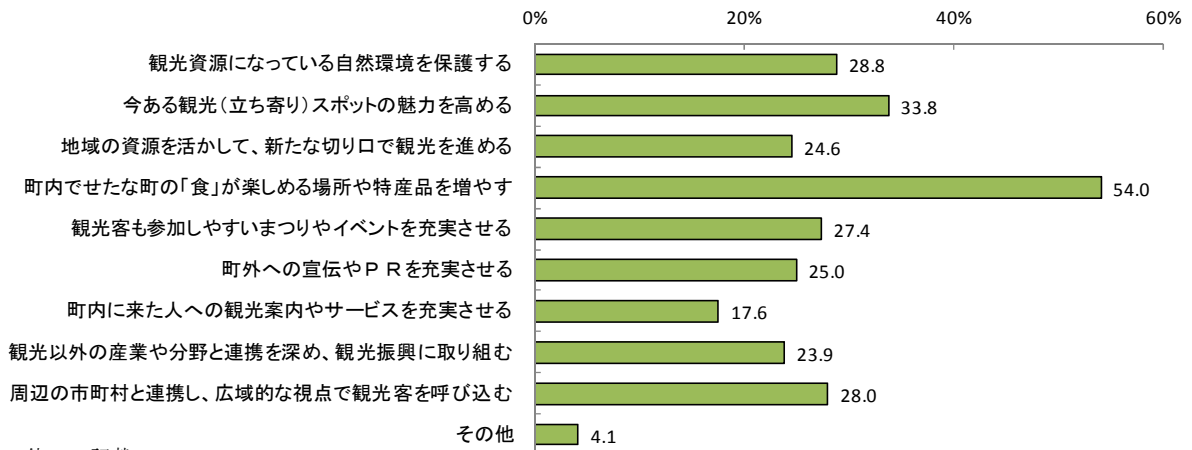


## 問8 観光・交流の振興について

【問8】観光・交流を振興するには、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次のから3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

- 「町内でせたな町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす」(54.0%)が最も高く、やや間をあけて「今ある観光(立ち寄り)スポットの魅力を高める」(33.8%)、「観光資源になっている自然環境を保護する」(28.8%)と続きます。

【問8】観光・交流で、特に力を注ぐべきこと(3つまで選択) [988]

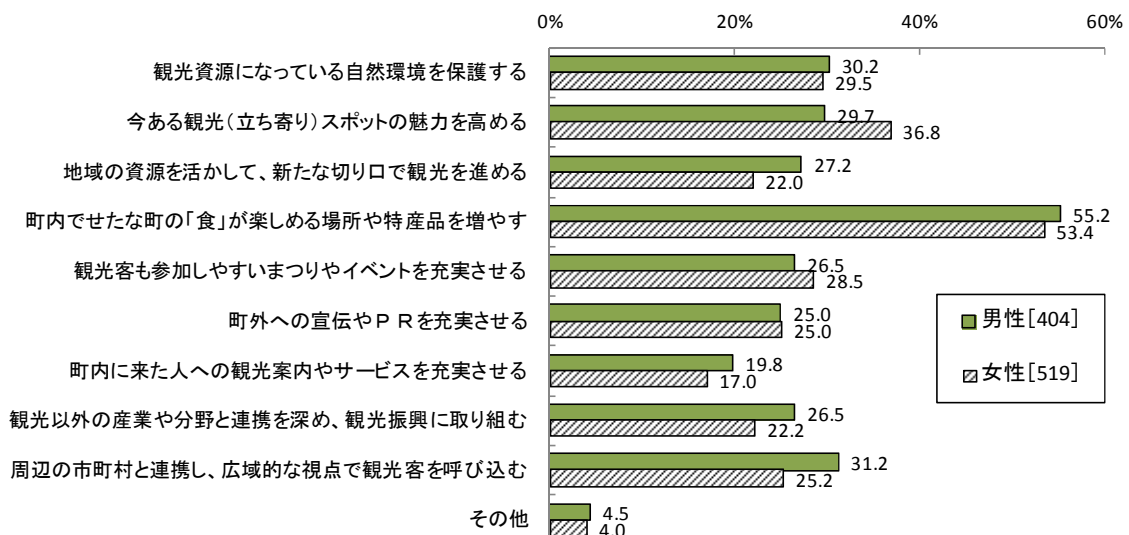


※「その他」の記載

道の駅を作る(3) 三本杉～豊岡の間で、国道側に「道の駅」を道の駅を中心部に移転。生産者・購入者にもっとチャンスバイク等が立ち寄りやすいよう温泉等の看板を増やす キャンプ場に売店を置く(水産物、野菜) キャンプ場と海水浴場の整備 交通の利便性の向上 新たな交通アクセスの開拓。観光場所巡りのシャトルバスなど リピーターをふやす工夫 三区が一体となれるイベントの開催 観光協会の体制の強化 公住の空室を町外の人達に短期間でも貸す。夏期間せたな町の良さを知らるために あえて振興しない。人がいないことを売りにする 観光に力を入れる必要はない。住んでいる人の住みやすい町であればと シャッター街をなくす 大型ショッピングモール(イオンなど)の誘致 新幹線が札幌まで開通した時を考えると広域連携が重要 全般的に滞在型観光を充実させる 沢山の観光客でなく子どもづれの家族が楽しめたらいい 町内の人がどんな観光地があるか知る 地方から来町された方に、よくきて下さったとかこちらから声をかける。声かけ運動もよい事と思います 広大な土地があり景観も美しいので丘や山一面に花やさくらなどでいっぱいしたら。自然を生かしたものを 都会の人たちは海よりも川を求めている。真駒内川上流には観光スポットがたくさんあります。これらを見直してみても?

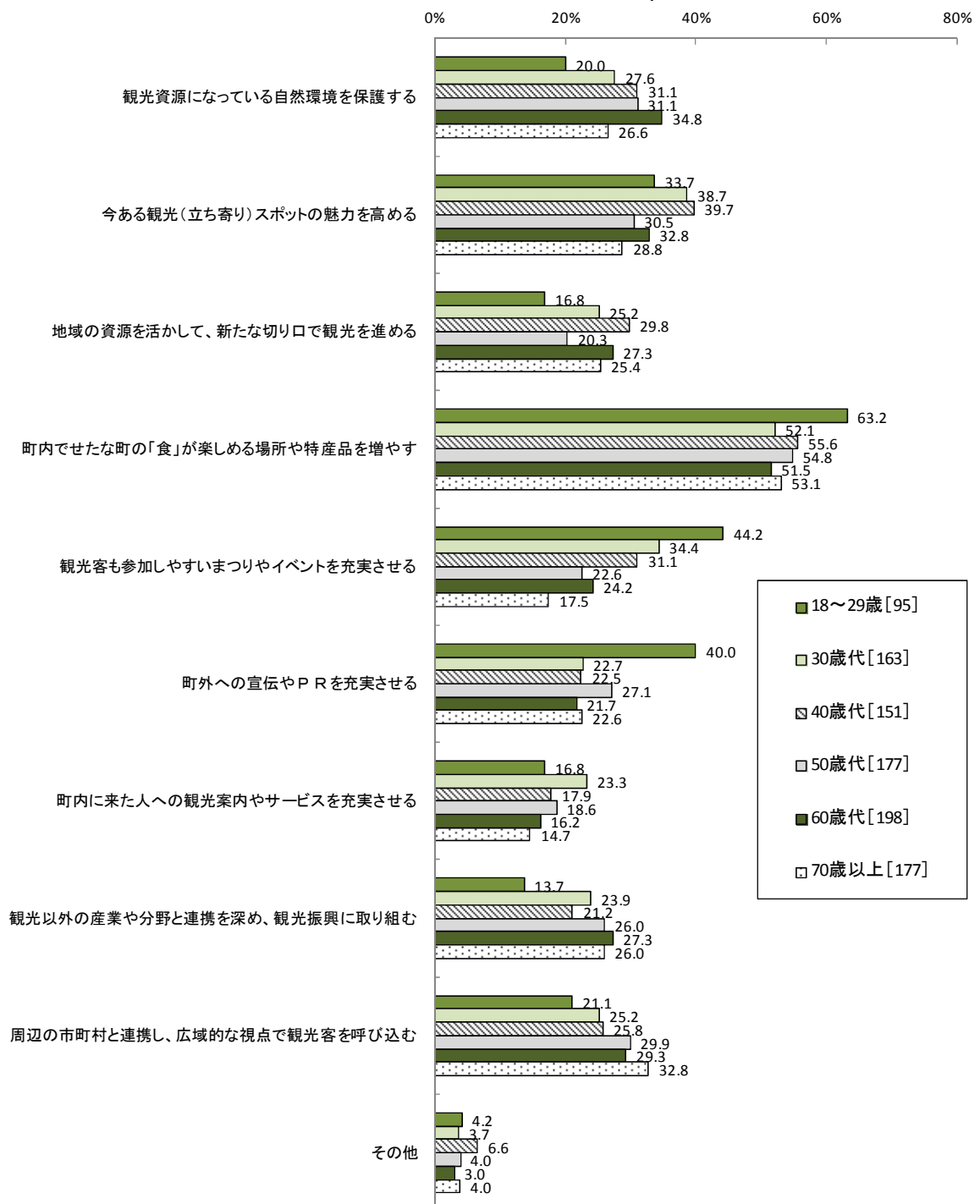
- 性別でみると、男女とも「町内でせたな町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす」が第1位です。第2位については、男性は「周辺の市町村と連携し、広域的な視点で観光客を呼び込む」、女性は「今ある観光(立ち寄り)スポットの魅力を高める」をあげており、それぞれ、男女の差がめだちます。

【問8】観光・交流で、特に力を注ぐべきこと(3つまで選択/性別)



- 年齢別でみると、いずれの年齢も「町内でせきた町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす」が第1位です。第2位については、18～29歳は「観光客も参加しやすいまつりやイベントを充実させる」、30～40歳代は「今ある観光（立ち寄り）スポットの魅力を高める」、50～60歳代は「観光資源になっている自然環境を保護する」、70歳以上は「周辺の市町村と連携し、広域的な視点で観光客を呼び込む」をあげています。
- 「観光客も参加しやすいまつりやイベントを充実させる」は年齢が低いほど、「周辺の市町村と連携し、広域的な視点で観光客を呼び込む」は年齢が高いほど回答率が高まる傾向にあります。また、「町外への宣伝やPRを充実させる」は18～29歳で高く、他の年齢との差がめだちます。

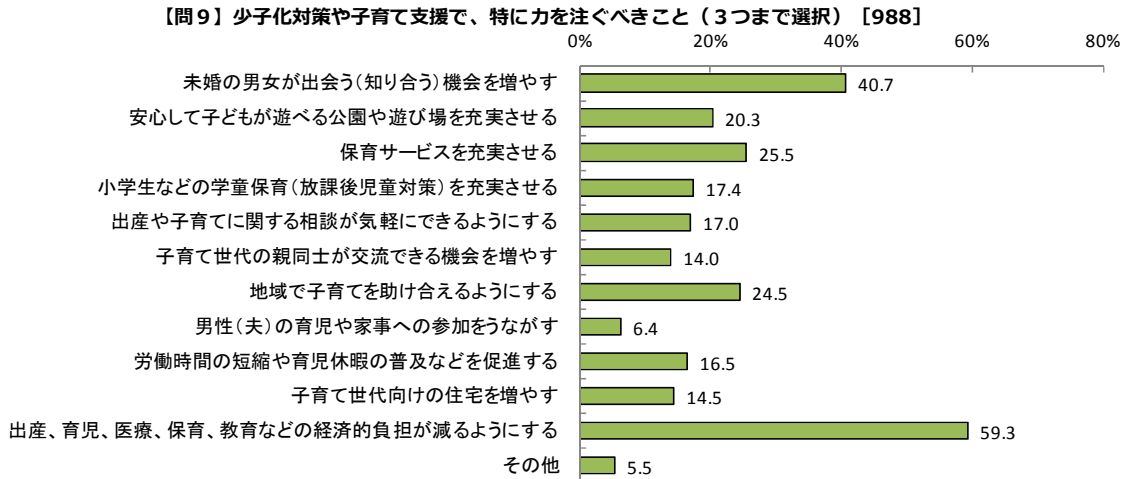
【問8】観光・交流で、特に力を注ぐべきこと（3つまで選択/年齢別）



## 問9 少子化対策で力を注ぐべきこと

【問9】少子化対策や子育て支援として、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

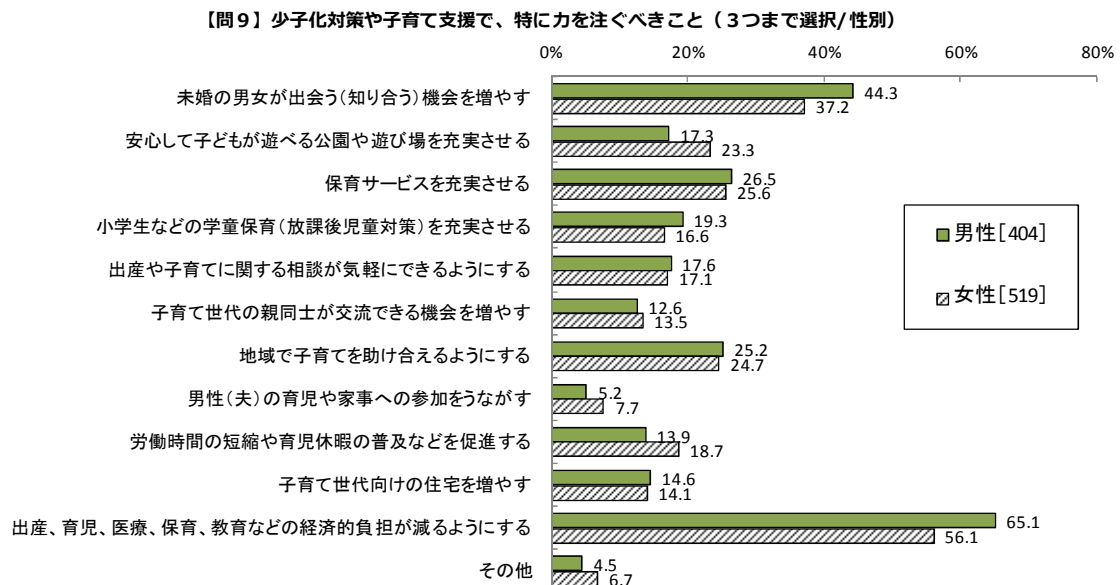
- 「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」(59.3%)が最も高く、「未婚の男女が出会う(知り合う)機会を増やす」(40.7%)、「保育サービスを充実させる」(25.5%)と続きます。



※「その他」の記載

雇用の確保、安定(18) 子育てを終えた人員(雇用)を増す(時間内労働) 若い人の賃金を上げる  
 若者が住みやすいまちづくり(3) 近隣町村のペットタウン化、(産業開発、第3セクターなど)  
 産科・小児の医療を充実させる、町内に小児科をおく(9) 出産、医療、保育が安心してできる施設 不妊治療に対する支援  
 出産時の病院への移動に、経済的もしくはハイヤーを出すなどの支援をする オムツ代を無料にしてほしい  
 学童保育所(施設)の環境を整える 学童保育を長期の休み(夏休みなど)だけ預ってくれるなど、いろいろ選べるといいです  
 給食にお金をかける! 子育て中の人たちへのサービスの充実  
 子供らがより多くのスポーツ・文化に触れられる場をふやし「参加しやすい」環境にする  
 保育、小・中学校の教育の質をあげる。教育に関する人材の確保、教育委員会の意識や情熱のアップ  
 町内で子育てをする際のメリットを増やす(2) 子育て世帯の住居費負担の無料化策～町住に限る  
 外国人受け入れ、シングルマザー優遇 町から人が出て行かないようにする  
 空住宅をもっと活用。チョット暮らしから本気暮らしにもっていき、住人を増やさなければ、子供は増えない

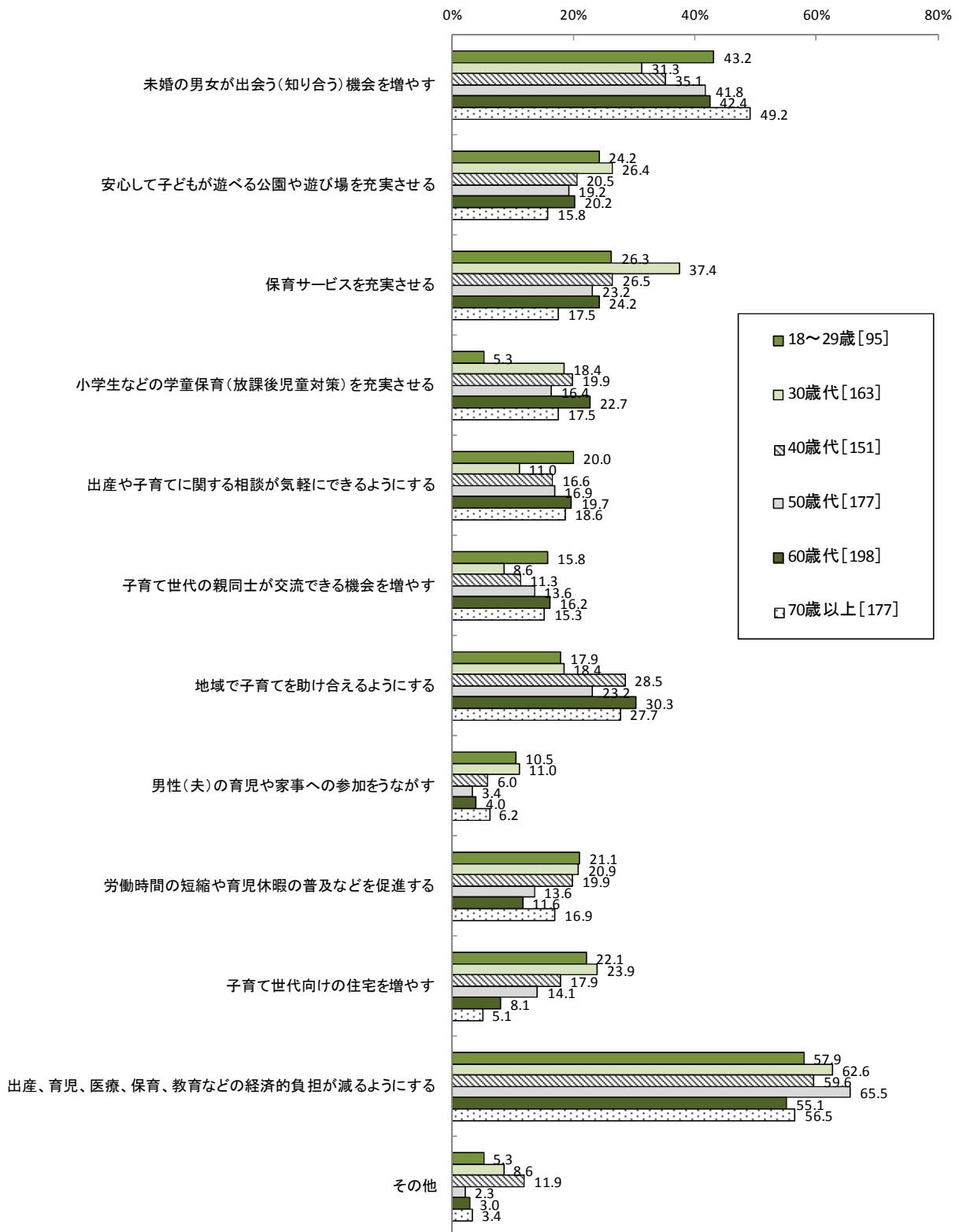
- 性別でみると、男女とも「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が第1位、「未婚の男女が出会う(知り合う)機会を増やす」が第2位で、いずれも男性の回答率が高くなっています。
- 「安心して子どもが遊べる公園や遊び場を充実させる」や「労働時間の短縮や育児休暇の普及などを促進する」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。





●年齢別でみると、いずれの年齢も「出産、育児、医療、保育、教育などの経済的負担が減るようにする」が第1位です。第2位については、30歳代のみ「保育サービスを充実させる」で、他の年齢との差がめだちます。他の年齢は「未婚の男女が会う（知り合う）機会を増やす」が第2位です。

【問9】少子化対策や子育て支援で、特に力を注ぐべきこと（3つまで選択/年齢別）

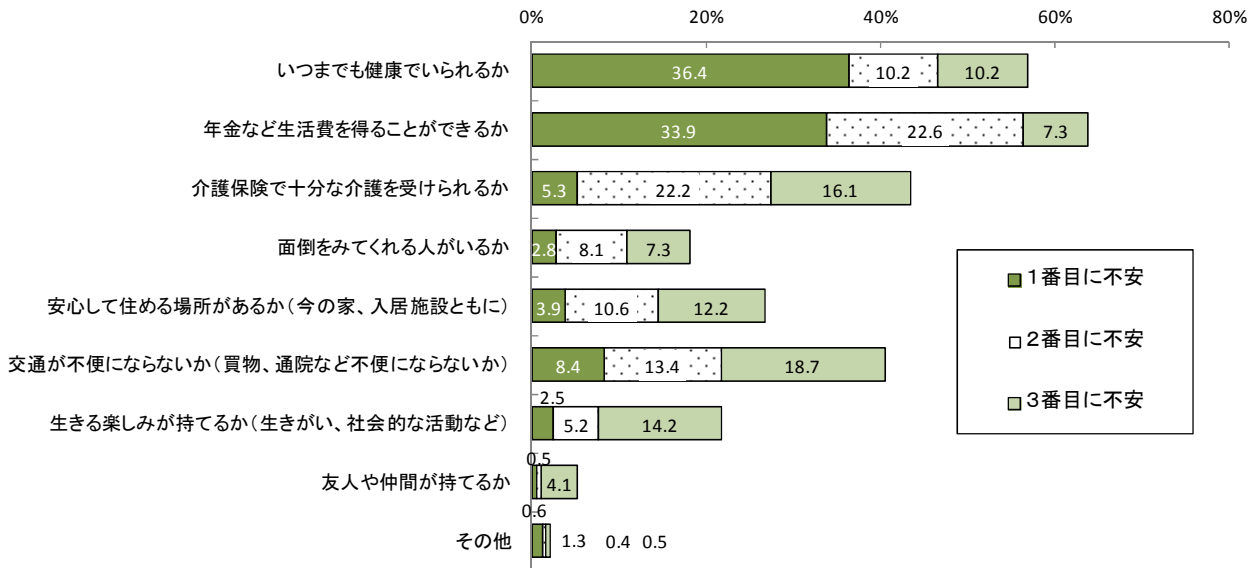


問 10 老後の暮らしで不安を感じること

【問 10】老後の暮らしを考えた時、不安を感じることはどのようなことですか。不安の強い順に3つまで選んでください。

- 1 番目に不安としてあげている中で最も高いのは「いつまでも健康でいられるか」(36.4%) で、「年金など生活費を得ることができるか」(33.9%) が続きます。
- 1 番目から 3 番目までの合計が最も高いのは、「年金など生活費を得ることができるか」(合計 63.8%) で、「いつまでも健康でいられるか」(合計 56.8%) が続きます。

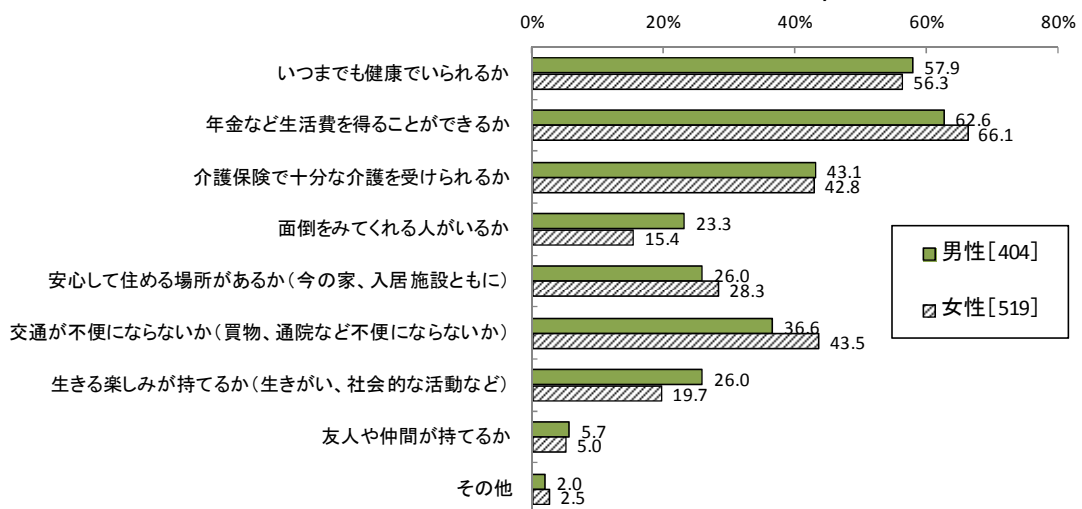
【問10】老後の暮らしを考えた時、不安を感じること（1～3番目）【988】



※「その他」の記載  
医療環境、救急への不安 (14) 町が残っているか 町に人がいるかどうか

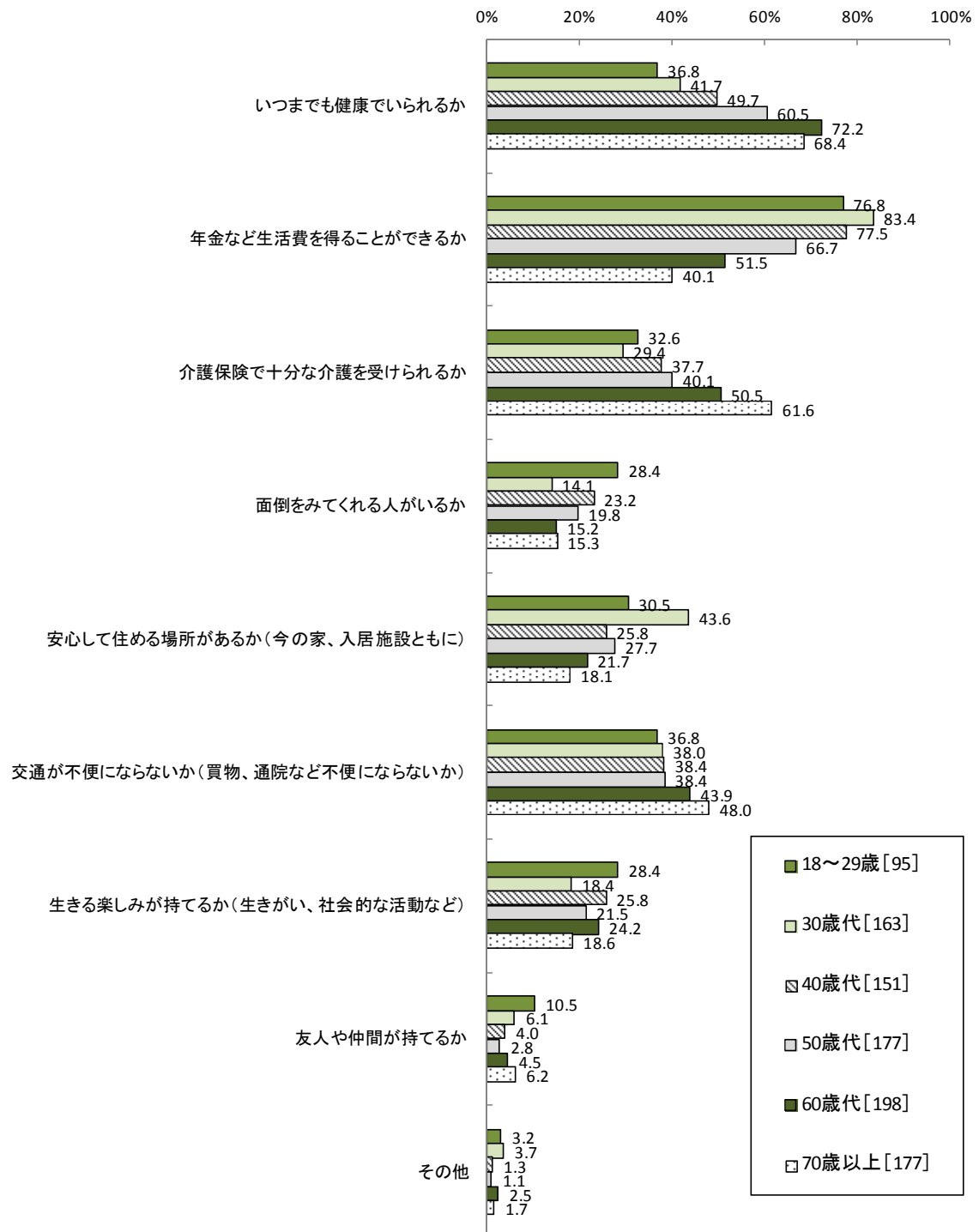
- 1 番目から 3 番目までの合計を性別でみると、男女とも「年金など生活費を得ることができるか」が第 1 位、「いつまでも健康でいられるか」が第 2 位です。
- 「面倒をみてくれる人がいるか」「生きる楽しみが持てるか」は男性、「交通が不便にならないか」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。

【問10】老後の暮らしを考えた時、不安を感じること（1～3番目の合計/性別）



- 1 番目から 3 番目までの合計を年齢別で見ると、50 歳以下の年齢は「年金など生活費を得ることができるか」、60 歳以上の年齢は「いつまでも健康でいられるか」が第 1 位です。
- 「年金など生活費を得ることができるか」は年齢が低いほど、「いつまでも健康でいられるか」や「介護保険で十分な介護を受けられるか」は年齢が高いほど、回答率が高まる傾向にあります。また、「安心して住める場所があるか」は 30 歳代で回答率が高く、他の年齢との差がめだちます。

【問10】 老後の暮らしを考えた時、不安を感じること（1～3番目の合計/年齢別）

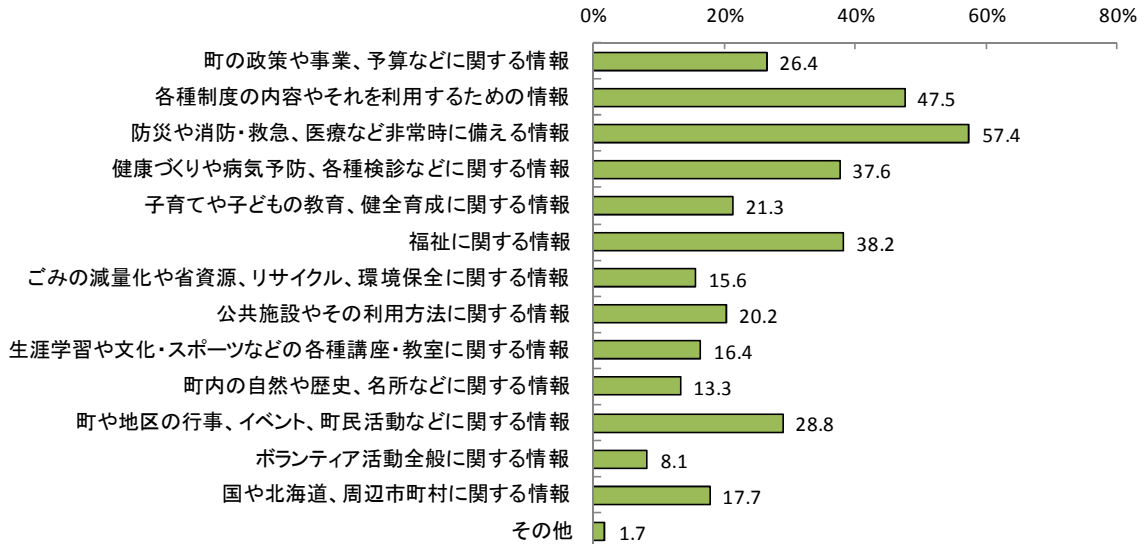


問11 町政（まちづくり）や地域の情報で欲しい内容

【問11】町政（まちづくり）や地域に関する情報として、どのような内容が欲しいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んで、番号に○印をつけてください。

- 「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」（57.4%）が最も高く、「各種制度の内容やそれを利用するための情報」（47.5%）、「福祉に関する情報」（38.2%）、「健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報」（37.6%）と続きます。

【問11】町政（まちづくり）や地域に関する情報で、欲しい内容（あてはまるものすべて選択）

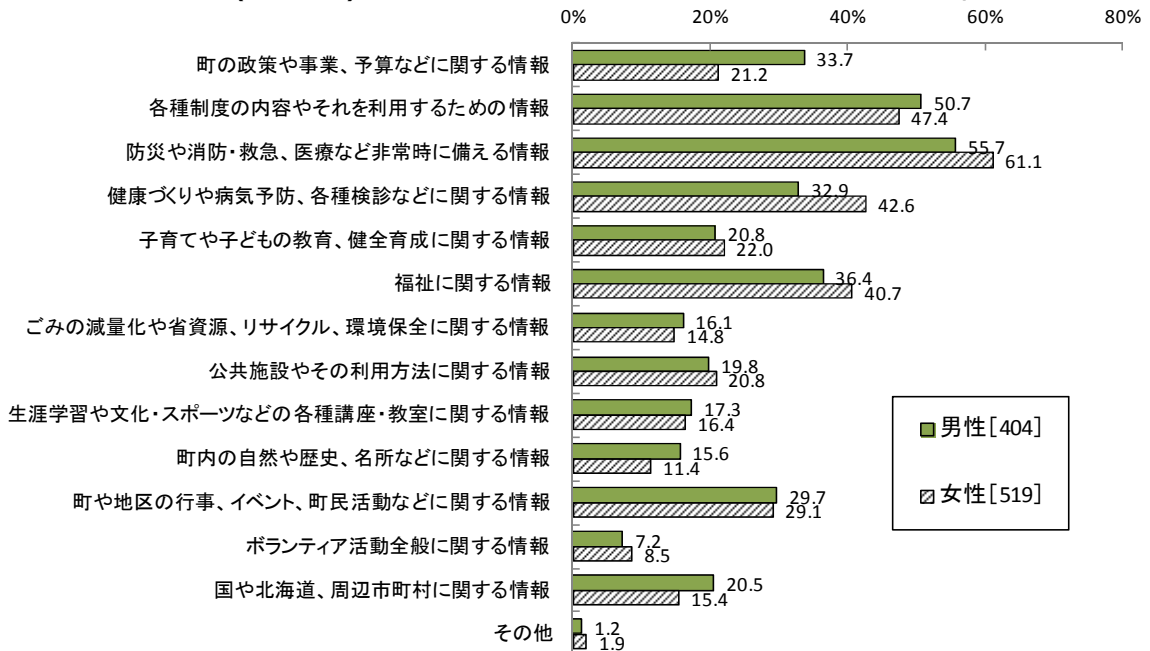


※「その他」の記載

過去の災害の情報、今後の対策 ハザードマップ 町の現状を客観的に見るための情報 産業振興、特に農・水産業の情報  
町として何を（政策）最優先と考えとりにくんでいるか 明るい情報 議員それぞれの働きぶりの評価  
役場職員の色と仕事内容等公報で紹介して下さい。町に戻って来ましたが全くわからなくなりました  
全家庭に防災無線が取り付けられているが、利用方法を検討し、地域情報を流す事は出来ないのか？  
情報を町民に伝わる方法を（全戸に情報誌が配布されていない）

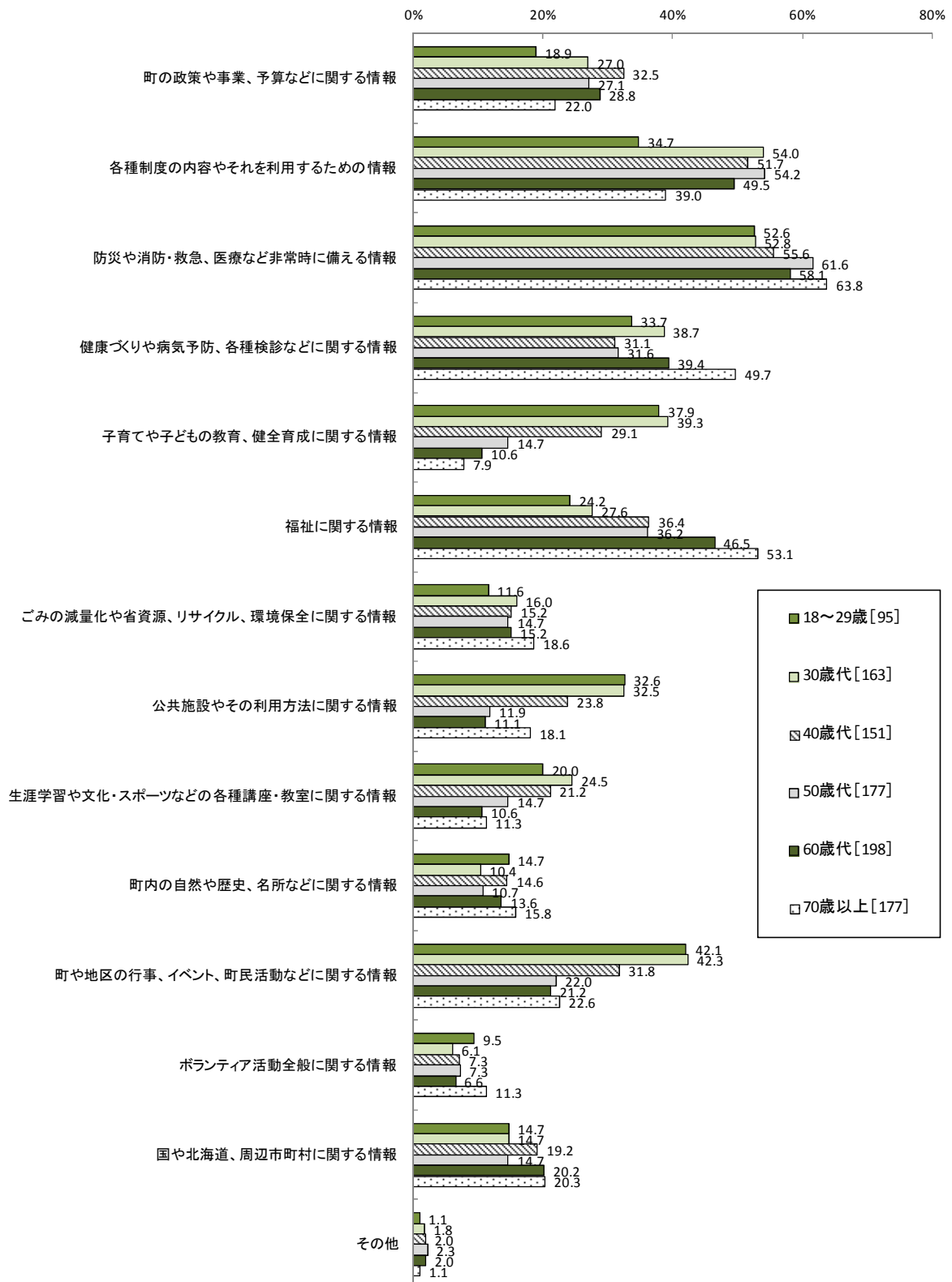
- 性別でみると、男女とも「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」が第1位ですが、女性の回答率が高くなっています。
- 「町の政策や事業、予算などに関する情報」は男性、「健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報」は女性の回答率が高く、男女の差がめだちます。

【問11】町政（まちづくり）や地域に関する情報で、欲しい内容（あてはまるものすべて選択/性別）



- 年齢別で見ると、30歳代のみ「各種制度の内容やそれを利用するための情報」が第1位で、その他の年齢は「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」です。
- 「福祉に関する情報」は年齢が高くなるほど回答率が高まる傾向にあります。「健康づくりや病気予防、各種検診などに関する情報」は70歳以上、「子育てや子どもの教育、健全育成に関する情報」「公共施設やその利用方法に関する情報」「町や地区の行事、イベント、町民活動などに関する情報」は40歳代以下の若い年齢の回答率が高く、他の年齢との差がめだちます。

【問11】町政(まちづくり)や地域に関する情報で、欲しい内容(あてはまるものすべて選択/年齢別)

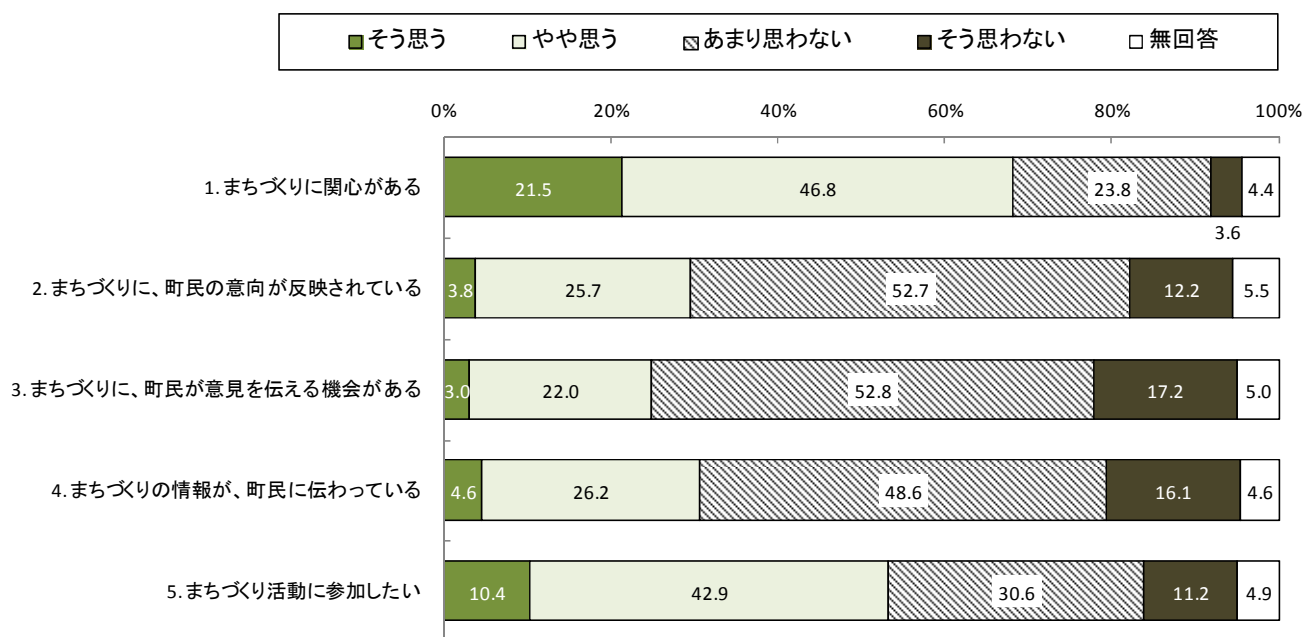


問 12 まちづくりへの関心、考え、参加意向

【問 12】 せたな町のまちづくりや町民参加について、どのようにお考えですか。1～5の設問ごとに、A～Dのどれかを1つずつ選んでください。

- 「そう思う」「やや思う」ともに高いのは「1.まちづくりに関心がある」で、合計すると68.3%です。次に「そう思う」「やや思う」ともに高いのは「5.まちづくり活動に参加したい」で合計すると53.3%です。この2項目のみ合計が過半数をこえます。
- 「2.まちづくりに、町民の意向が反映されている」「3.まちづくりに、町民が意見を伝える機会がある」「4.まちづくりの情報が、町民に伝わっている」の3つは、「あまり思わない」「そう思わない」が半数前後を占め、「そう思わない」との合計が過半数をこえます。

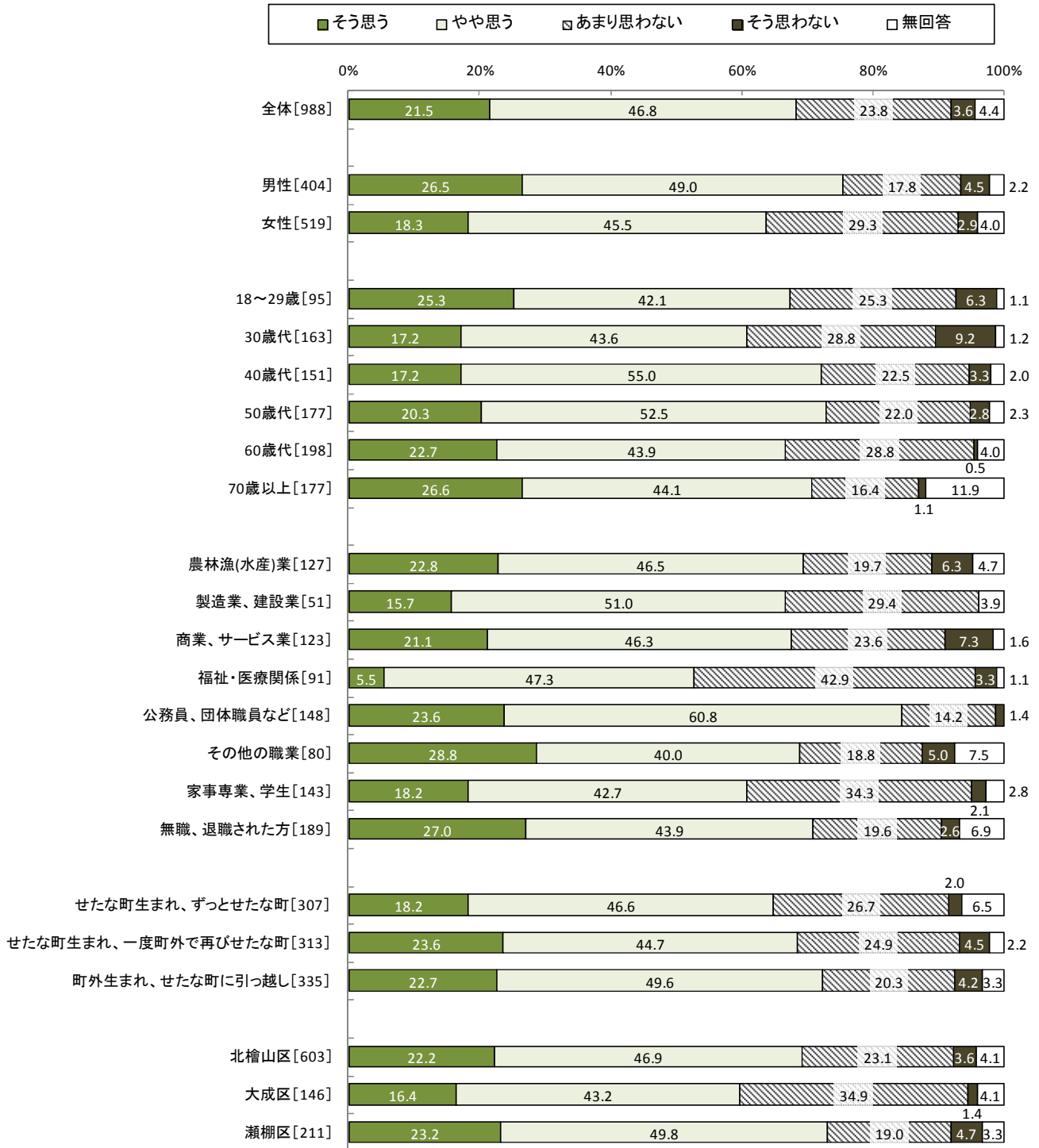
【問12】 せたな町のまちづくりや町民参加について [988]



## (1) まちづくりに関心がある

- 性別で見ると、「そう思う」「やや思う」ともに男性が高くなっています。
- 年齢別で見ると、「そう思う」が最も高いのは70歳以上で、18～29歳が続きます。40～50歳代は「やや思う」が過半数を占めています。一方、30歳代は「そう思わない」が1割近くを占めています。

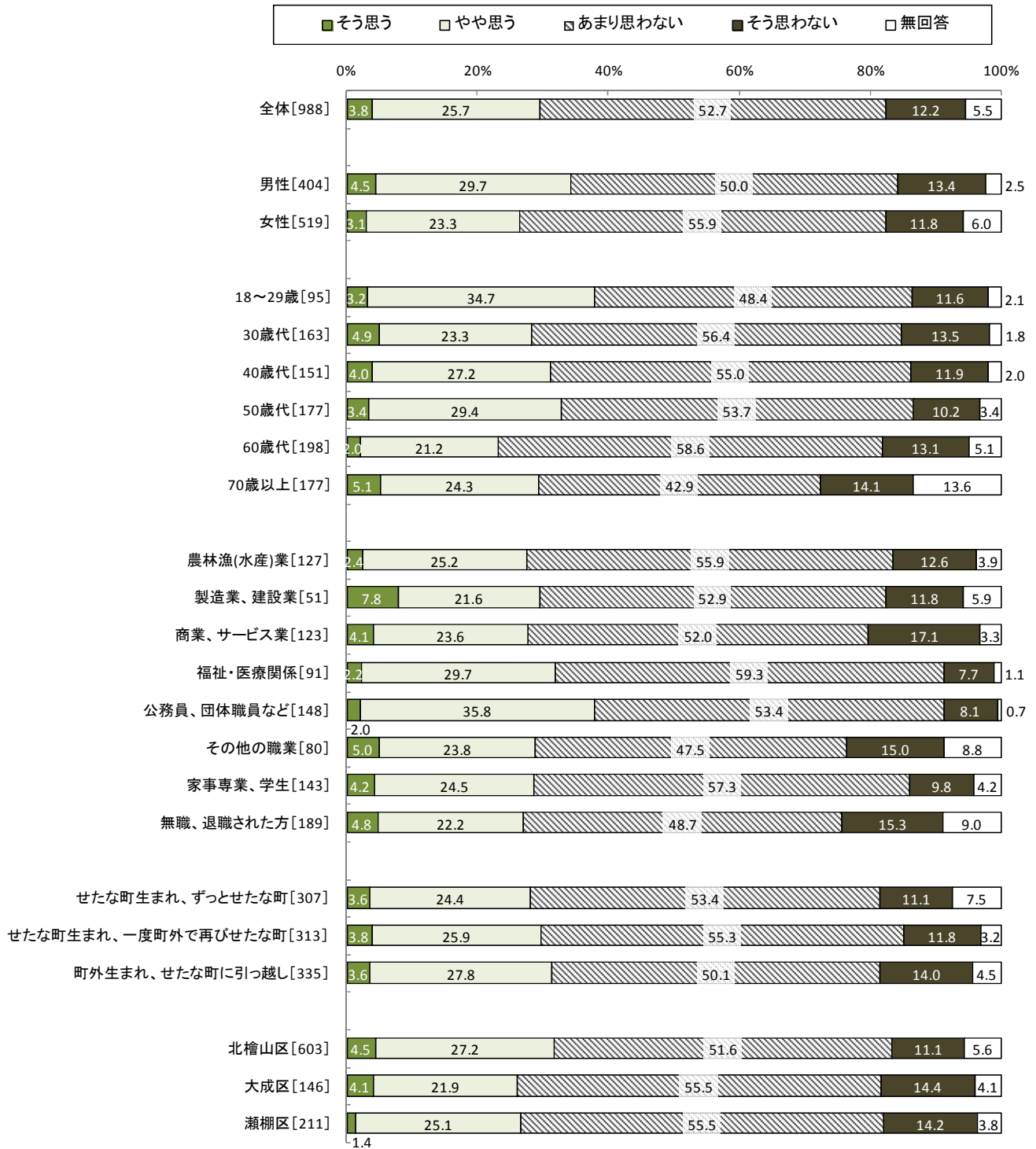
【問12】 1. まちづくりに関心がある（属性別）



## (2) まちづくりに、町民の意向が反映されている

- 性別で見ると、「そう思う」「やや思う」ともに男性が高くなっています。
- 年齢別で見ると、「そう思う」が最も高いのは70歳以上で、30歳代が続きます。「そう思う」と「やや思う」の合計が最も高いのは18～29歳です。

【問12】 2. まちづくりに、町民の意向が反映されている（属性別）

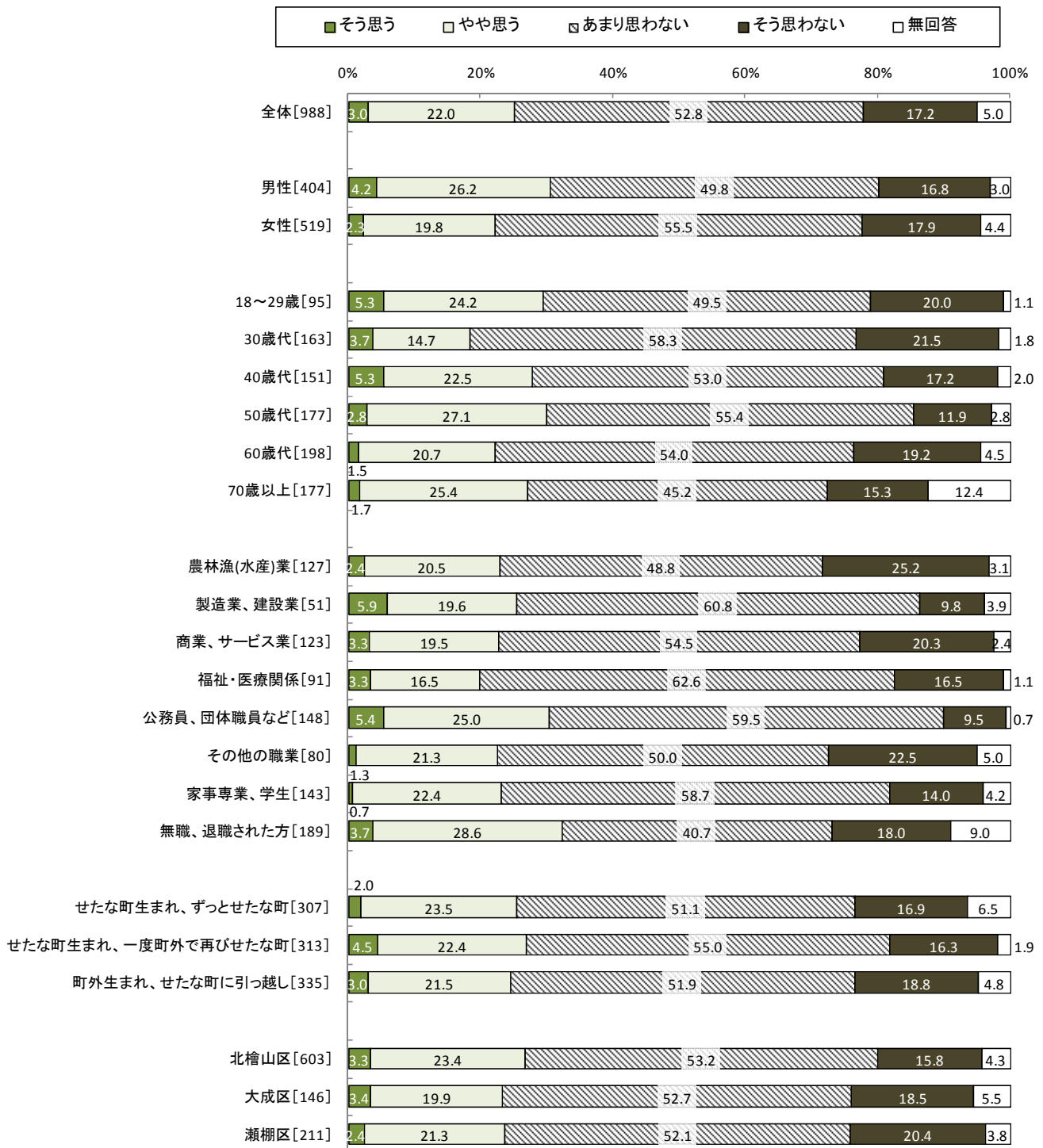




### (3) まちづくりに、町民が意見を伝える機会がある

- 性別で見ると、「そう思う」「やや思う」ともに男性が高くなっています。
- 年齢別で見ると、「そう思う」が最も高いのは18～29歳と40歳代です。一方、「そう思わない」は18～29歳と30歳代で2割以上を占めています。
- 職業別で見ると、「そう思わない」は「農林漁（水産）業」「商業、サービス業」「その他の職業」で2割以上を占めています。

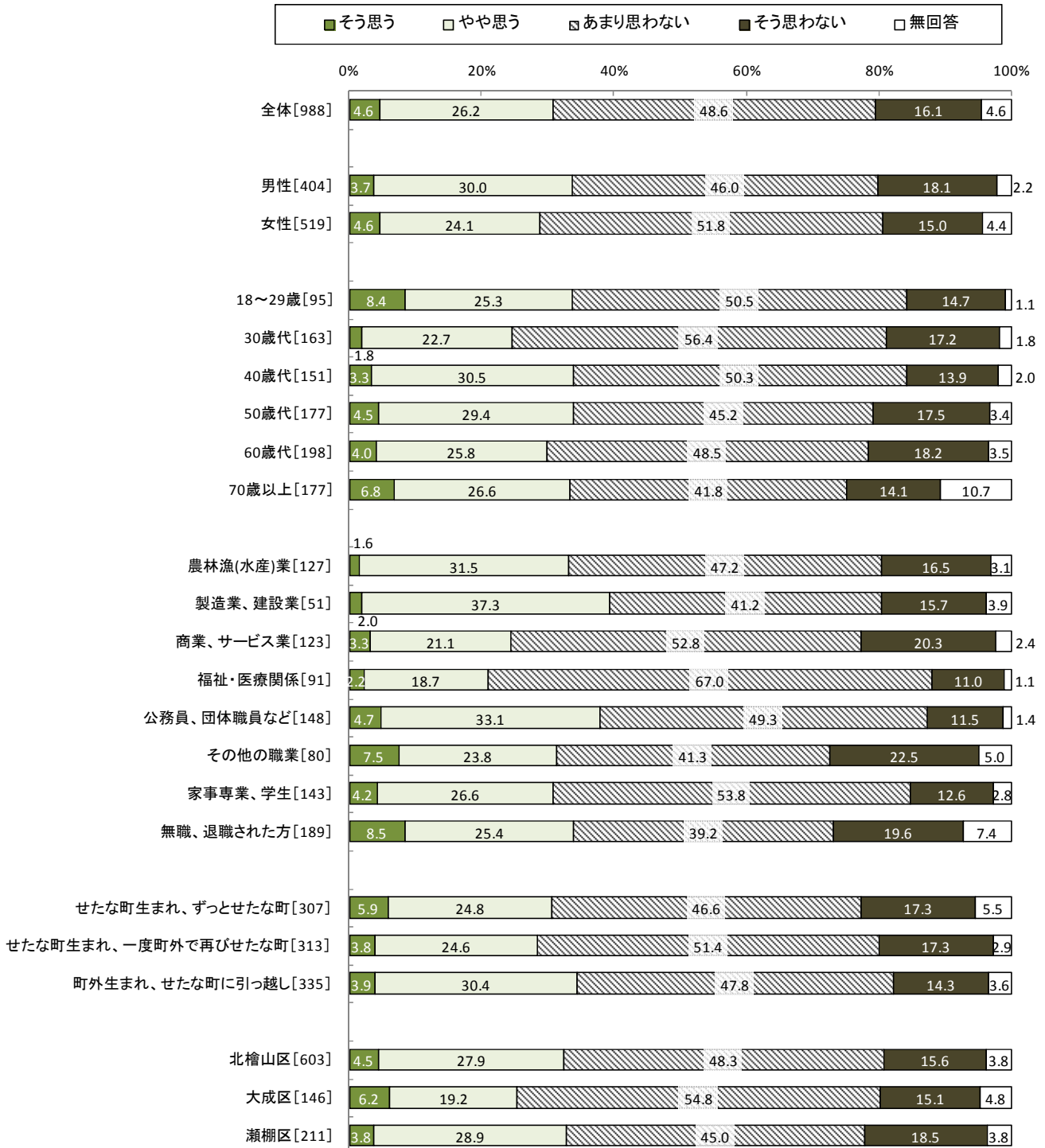
【問12】3. まちづくりに、町民が意見を伝える機会がある（属性別）



#### (4) まちづくりの情報が、町民に伝わっている

- 性別で見ると、「あまり思わない」は女性、「そう思わない」は男性が高くなっています。
- 年齢別で見ると、「そう思う」が最も高いのは18～29歳で、70歳以上が続きます。一方、40歳代までの若い年齢は「あまり思わない」が過半数を占めています。
- 職業別で見ると、「福祉・医療関係」で「あまり思わない」が6割以上を占め、「商業、サービス業」と「その他の職業」は「そう思わない」が2割以上を占めています。

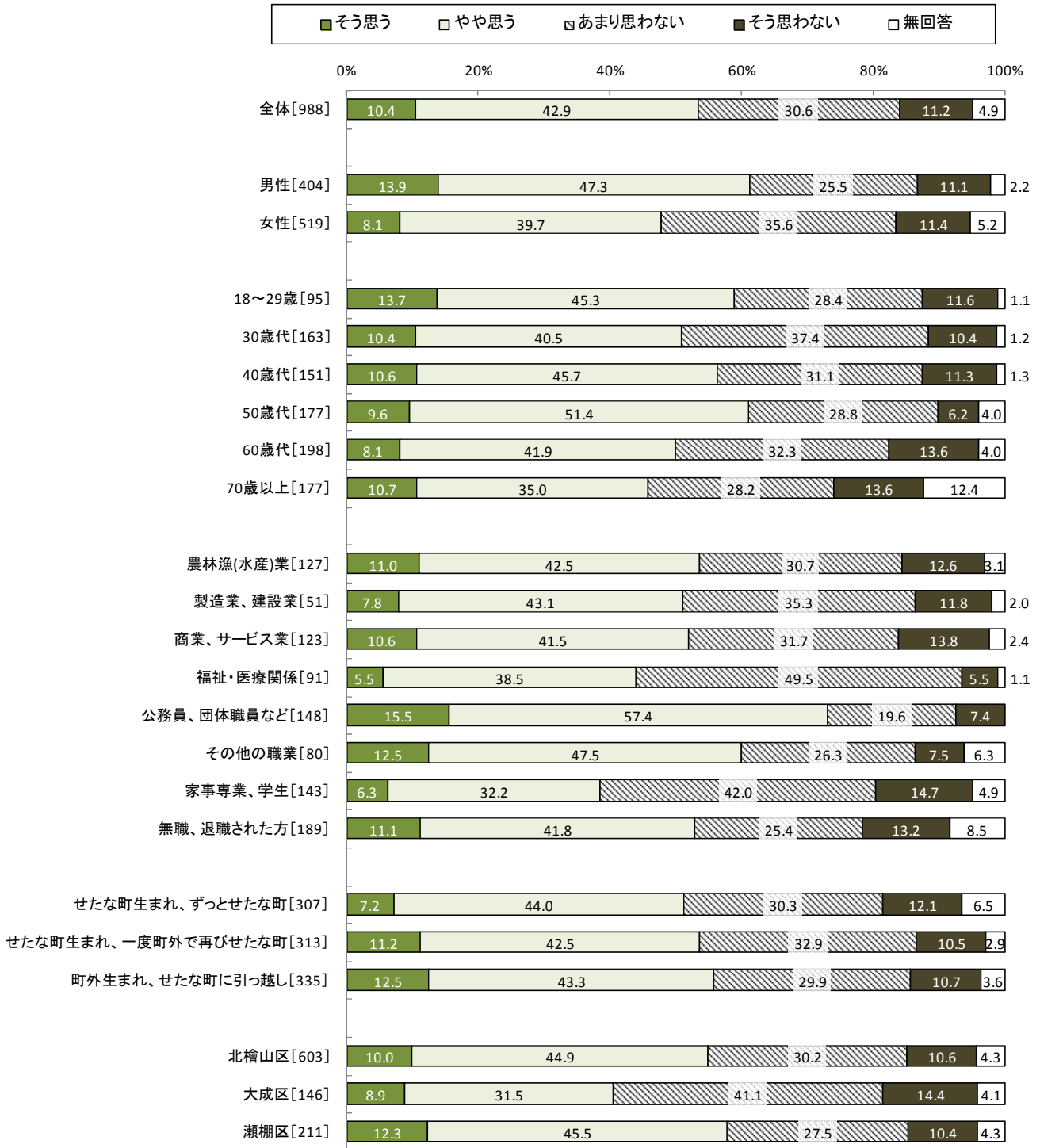
【問12】4. まちづくりの情報が、町民に伝わっている（属性別）



### (5) まちづくり活動に参加したい

- 性別で見ると、「そう思う」「やや思う」ともに男性が高くなっています。
- 年齢別で見ると、「そう思う」が最も高いのは 18～29 歳です。「そう思う」と「やや思う」の合計が最も高いのは 50 歳代です。
- 職業別で見ると、「福祉・医療関係」と「家事専業、学生」は「あまり思わない」が 4 割以上を占めています。

【問12】 5. まちづくり活動に参加したい（属性別）

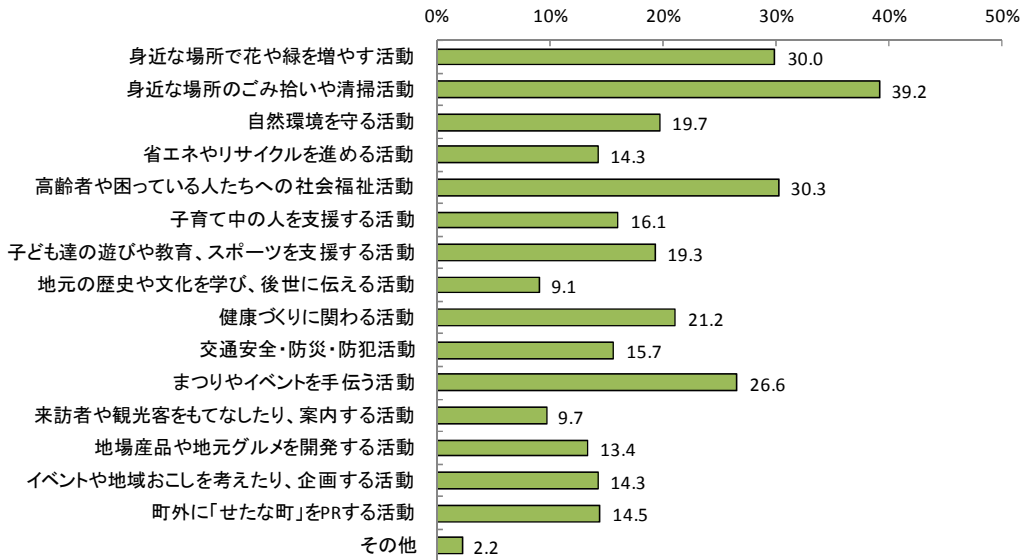


### 問 13 参加したい（している）活動

【問 13】まちづくり活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。すでに参加されているものも含め、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- 「身近な場所のごみ拾いや清掃活動」（39.2%）が最も高く、「高齢者や困っている人たちへの社会福祉活動」（30.3%）、「身近な場所で花や緑を増やす活動」（30.0%）、「まつりやイベントを手伝う活動」（26.6%）と続きます。

【問13】参加するとしたら、参加したいまちづくり活動（あてはまるものすべて選択） [988]

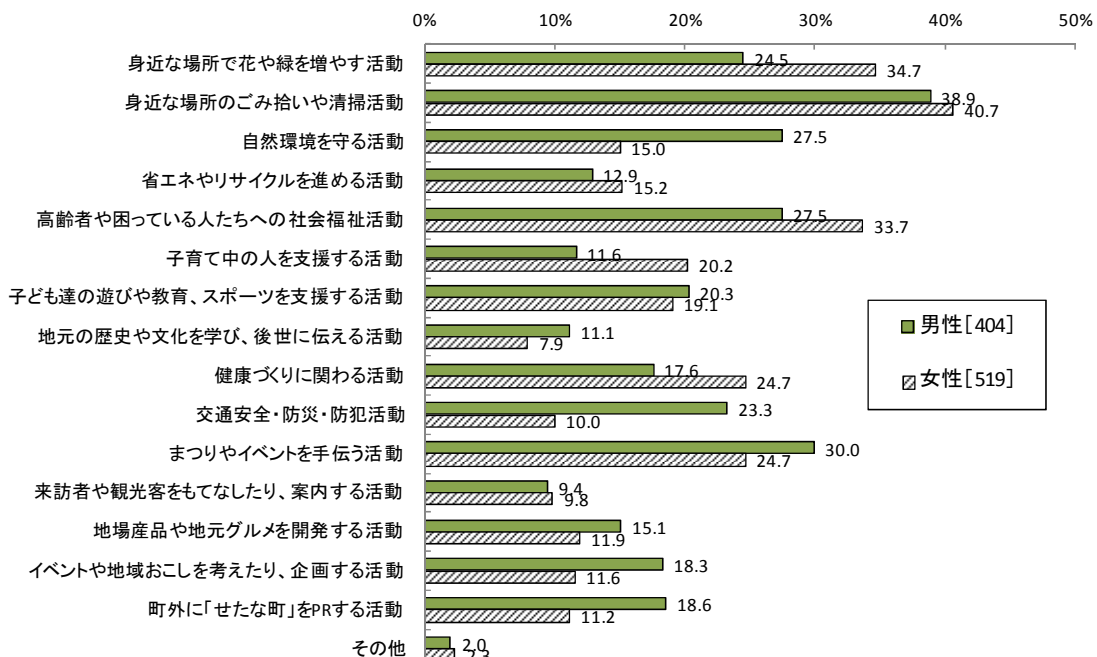


※「その他」の記載

過去の災害の情報、今後の対策 ハザードマップ 町の現状を客観的に見るための情報 産業振興、特に農・水産業の情報  
 企業誘致、定住 子ども達の思い出に残る様なイベントを行う有志の会の発足 障がい者（児）への理解と支援を深める活動  
 食育 古い町づくりを新たな広い範囲に造る 有害鳥獣駆除 強い働きかけが無いので、ついサボります  
 身体が不自由、高齢なので難しい（4） 参加したいと思うが、育児や仕事でヒマがない 介護や持病の為無理

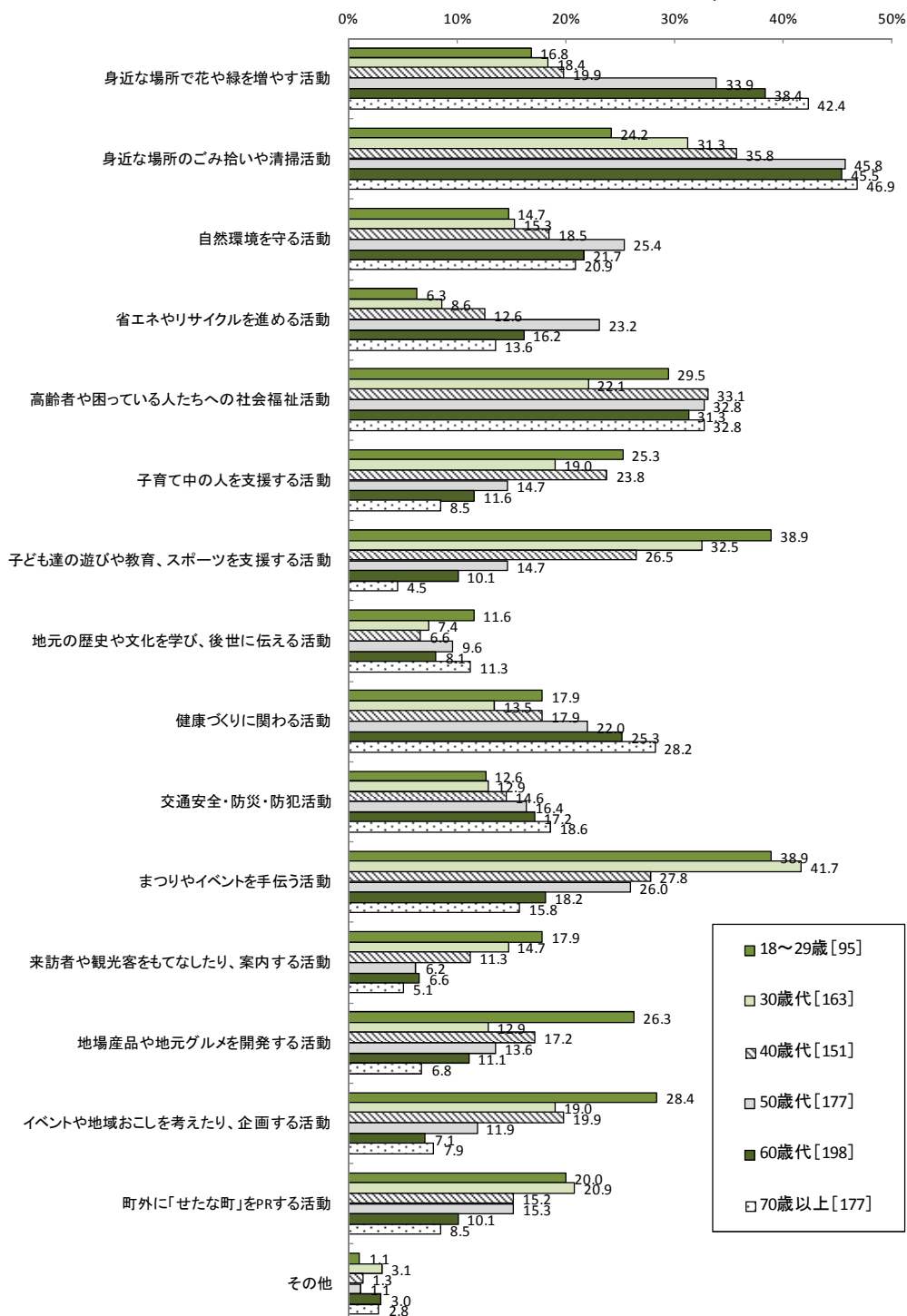
- 性別でみると、男女とも「身近な場所のごみ拾いや清掃活動」が第1位です。第2位には、男性は「まつりやイベントを手伝う活動」、女性は「身近な場所で花や緑を増やす活動」をあげています。
- 全体的に男女の差がめだち、中でも、「身近な場所で花や緑を増やす活動」は女性、「自然を守る活動」「交通安全・防災・防犯活動」は男性の回答率が高く、男女の差が特にめだちます。

【問13】参加するとしたら、参加したいまちづくり活動（あてはまるものすべて選択/性別）



- 年齢別でみると、18～29 歳は「子ども達の遊びや教育、スポーツを支援する活動」と「まつりやイベントを手伝う活動」（同率）、30 歳代は「まつりやイベントを手伝う活動」、40 歳代以上の年齢は「身近な場所のごみ拾いや清掃活動」が第 1 位です。
- 「身近な場所で花や緑を増やす活動」「身近な場所のごみ拾いや清掃活動」「健康づくりに関わる活動」「交通安全・防災・防犯活動」は年齢が高いほど、「子ども達の遊びや教育、スポーツを支援する活動」「まつりやイベントを手伝う活動」「来訪者や観光客をもてなしたり、案内する活動」「地場産品や地元グルメを開発する活動」「イベントや地域おこしを考えたり、企画する活動」「町外に「せたな町」を PR する活動」は年齢が低いほど回答率が高まる傾向にあります。
- 「省エネやリサイクルを進める活動」は 50 歳代、「地場産品や地元グルメを開発する活動」「イベントや地域おこしを考えたり、企画する活動」は 18～29 歳の回答率が高く、他の年齢との差がめだちます。

【問13】参加するとしたら、参加したいまちづくり活動（あてはまるものすべて選択/年齢別）

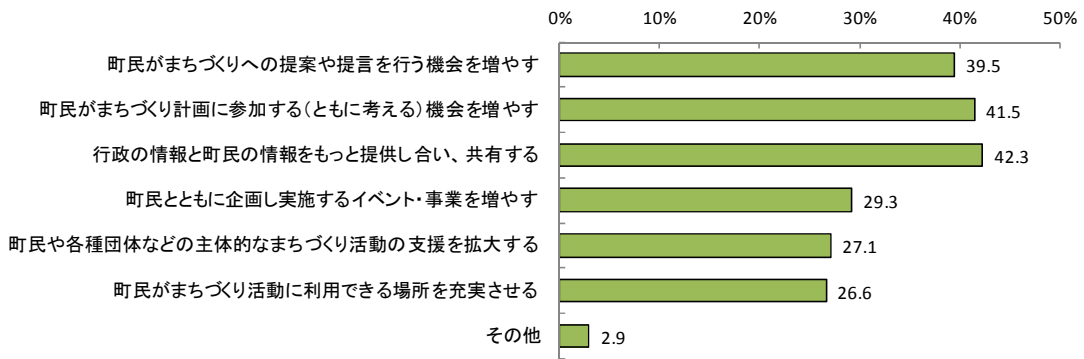


問 14 町の創意を発揮し、協働を深めていくために重要なこと

【問 14】町としての創意を発揮し、町民と町の協働を深めていくには、どのようなことが重要とお考えですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- 「行政の情報と町民の情報をもっと提供し合い、共有する」(42.3%) が最も高く、「町民がまちづくり計画に参加する(ともに考える)機会を増やす」(41.5%)、「町民がまちづくりへの提案や提言を行う機会を増やす」(39.5%) が僅差で続きます。

【問14】町の創意を発揮し、協働を深めていくために重要なこと(あてはまるものすべて選択) [988]

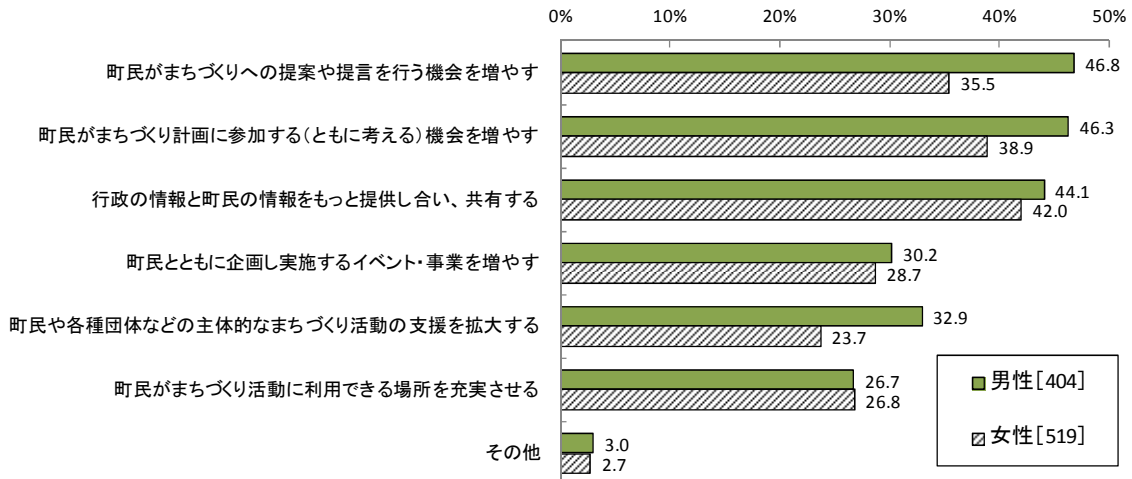


※「その他」の記載

外から人材を集める 町内の人材の発掘 幅広い人材から意見を聞いたり、共に考える。現在は特定一部の人のみが町政参加  
町がまちづくりに適した人物をピックアップし活用する 限られた人間が複数の役についているから発展がない  
有力者の声を聞きすぎ 一部の有力者(町の名士と呼ばれる方々)の好きにさせない  
町民や各種団体等が規制なく自由に利用出来る施設  
ボランティアなどの機会を増やし、町づくりを实践(実感)できる場を。体育館や図書館、イベントなどできることを手伝ってもら  
うしくみをつくる。町職員とその上で意見を交換し合い、よりよい事業を考えていけばよいと思う  
せたな大学の開設(地元を勉強する場) 町の方針と具体的な方策を知らせて周知させる  
町民が訪れたくなる役場。開かれた役場。働かれている方々の安全地帯では「勢い」がなくなってしまうのでは  
町主催の会議の場を、もっと自由闊達な意見を出し合えるようにする工夫が必要 役場が変わらないとむり  
一般住民にとっては、町民と町が結びつく機会がイメージできません イベントばかり増やしても一部の人は疲れているのでは  
おもてに出て気軽に意見などを言うと、すぐうわさになり発言しにくい。出て行きたくない。  
他人をアテにするせたな町民の気質が問題なので、やる気を出してもらおう取りくみが必要。私も含め協調性0だと思います

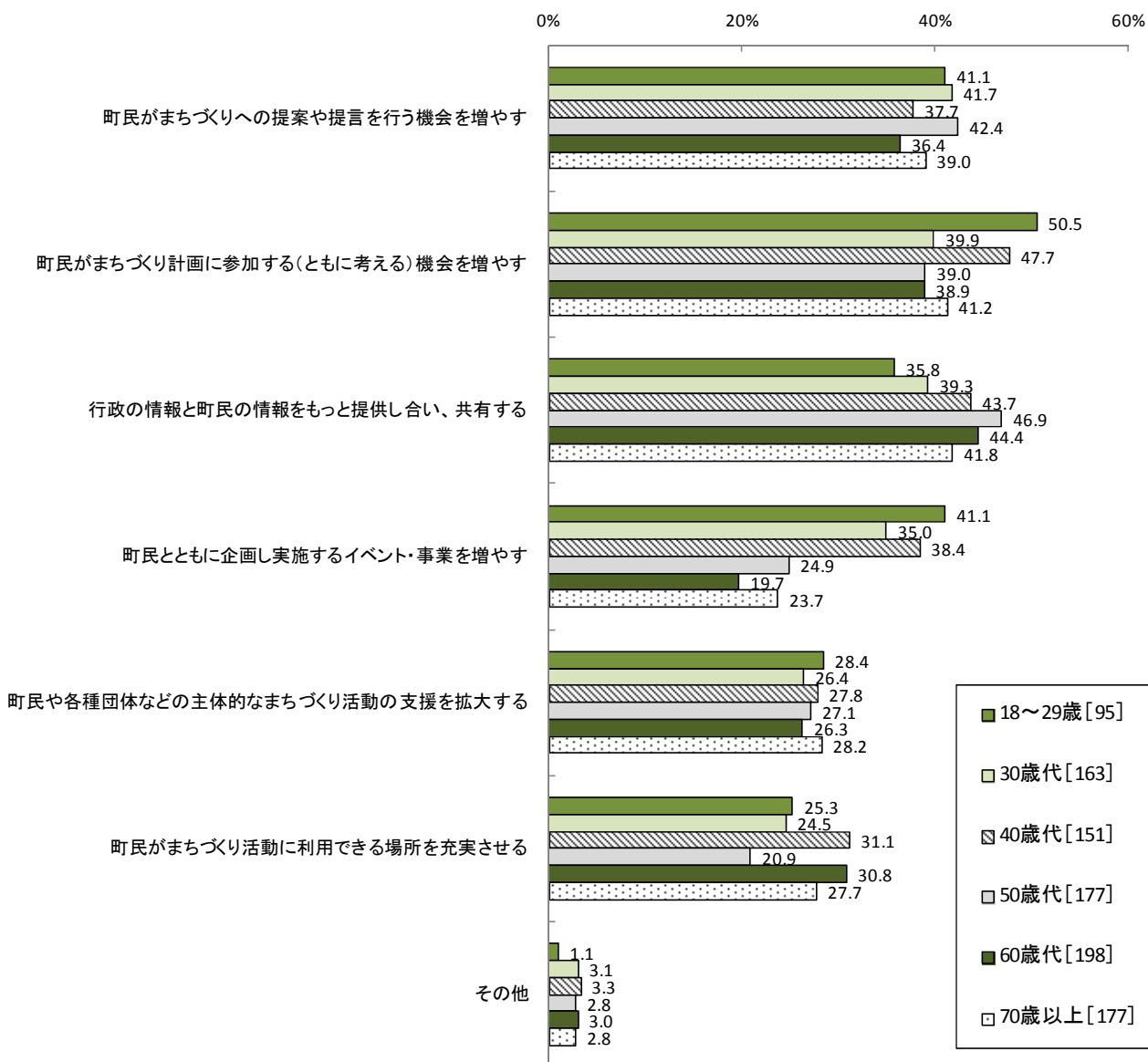
- 性別でみると、男性は「町民がまちづくりへの提案や提言を行う機会を増やす」、女性は「行政の情報と町民の情報をもっと提供し合い、共有する」が第1位です。
- 「町民がまちづくりへの提案や提言を行う機会を増やす」「町民がまちづくり計画に参加する(ともに考える)機会を増やす」「町民や各種団体などの主体的なまちづくり活動の支援を拡大する」は男性の回答率が高く、男女の差がめだちます。

【問14】町の創意を発揮し、協働を深めていくために重要なこと(あてはまるものすべて選択/性別)



- 年齢別で見ると、18～29歳と40歳代は「町民がまちづくり計画に参加する（ともに考える）機会を増やす」、30歳代は「町民がまちづくりへの提案や提言を行う機会を増やす」、50歳代以上の年齢は「行政の情報と町民の情報をもっと提供し合い、共有する」が第1位です。
- 「町民とともに企画し実施するイベント・事業を増やす」は40歳代までの若い年齢で高く、他の年齢との差がめだちます。

【問14】町の創意を発揮し、協働を深めていくために重要なこと（あてはまるものすべて選択/年齢別）



## 問 15 まちづくりに関する自由記載

【問 15】今後のまちづくりで新たに行うべきこと、重点的に行うべきこと、まちづくりへのアイデアやご提案などがあれば、お書きください。

○546 人から意見を頂戴しました。1人が複数記載されているものも多く、分野ごとに区分して示すと次のとおりです。(問2の項目の区分、順番を基本に掲載しています。)

### [自然環境]

- ・自然を第一に考え行う事。(男性・30歳代)
- ・北海道内でも自然が豊かで歴史もある町ですので、自然を生かした活動を希望します。(男性・30歳代)
- ・魚ののぼる川にして下さい。(女性・70歳以上)

### [景観]

- ・12月にイルミネーションが国道に出来たら良いと思います。(女性・50歳代)
- ・全体的には緑が映え、区画もよくのびのびとした町並み。商店街がシャッター街化しているのが、もの寂しい。景観的にもマイナスとなっている。(男性・50歳代)
- ・町の中はきれいだが、国道以外はゴミだらけです。(女性・70歳以上)
- ・沿道の町の花だんの件について。両サイドの花だんのスペースですが、右の方が車につぶされたり、左の方はややいらぬ風に思います。撤去する訳には出来ないのでしょうか。(女性・70歳以上)

### [自然エネルギー]

- ・自然エネルギー(太陽光、小型風力発電)をもっと取り入れ、外部から電力を買わなくても良い方法を考える等、長期の取り組みも必要なかと思います。(女性・40歳代)
- ・風力発電した(町内でつかえないの?)電力やバイオマス発電・暖房など、自然エネルギーをうまく使った街にする。(男性・18~29歳)

### [防災]

- ・過去に津波も経験しているせたな町、どこに行けば過去の資料がみられるの?今後23m級の津波がくると言われているせたな町だけど、シミュレーション等でどこまで津波がきて浸水するかなど、最悪な事を想定して、いざ来た時のために備えたいが、それができないのがこわい。情報がほしい。(ネット活用!!ホームページとかで対応してほしい。)どこまで浸水して、どこの道が使えるのか、高低等(川沿い等)、学校から学童までの距離があり不安。学校の敷地内に学童を入れられないのか…(今後)。消防(救急)、警察の啓蒙活動をもう少し増やしても良いのでは?と思う。防災無線、せたな町にきてはじめてみた。毎日かかるが情報がきけてとても良い。何かあったら呼びかかると安んずる。(女性・30歳代)
- ・人口が減少し、気候も変動し、地球2千年は変わり目に来ていると思います。地震が発生し、海が電磁波で海水が波打ち、魚が移動し、漁師も命がけの仕事です。九州で南海トラフ地震が発生し、外国でも起き、続いて東京で震度5、函館でも起きました。東京では関東大震災を経験しているだけに、震度5で終わらないという恐怖を抱いています。地球2千年は宇宙旅行ではなく、避難する為の準備だと思います。(60歳代)
- ・早急に防災マップを見直し、何時起きるかわからない災害に対処が必要です。(男性・70歳以上)
- ・防災関係の各種訓練がほとんどないことは、今後の生活が大変である。もっと、町自体が力を入れて防災対策に取り組むべきである。(男性・50歳代)
- ・防災への取り組みや救急体制が、瀬棚区は全くととのっているとは思えない。もっと重要視してもらわないと安心して生活できないので、よく地域の話聞いて改善してほしい。(男性・30歳代)
- ・台風時に、自宅前の木の根が少し浮いた感じで、もし、今度また台風が来たり、強風の時は倒されてしまいそうなので、そういう些細な事も、きちんと、見回りして頂き、修復して頂きたいと思います。(女性・40歳代)

### [交通安全]

- ・車の運転のマナーの悪さが目立ちます。他の町に行った時に通用しないマナーの悪さが多すぎます。それを改善する方が先だと思います。(男性・50歳代)

### [消防・救急]



- ・“いなか”には不便な部分や物足りない面もありますが、せたなは特に、自然に恵まれ、きれいな空気の中で生活できるという最高のメリットがあると思います。しかし、やはり“安心して暮らせる”ことが大切！！なのに、瀬棚区の救急体制にはとても不安です。日中の救急車常駐が実現されていない日が多いことを新聞で知りショックを受けました。これが約束通り実現されることを早急に望みますし、2年と言わず、ずっと常駐してほしいです。“命”にかかわることなので、簡単にすまされないとします。北檜山からの往復だと1時間近くかかってしまう地域もあります。ぜひお願いします！！高齢者の多いこの時代ですから、高齢の方々はなおさら不安だと思います。(女性・50歳代)
- ・安心、安全に生活するために、消防署の職員にはプライドをもって仕事をしてほしい。平成27年の春の火災では、火災を防げたのに全焼になってしまいました。町民はみんな見ています。しっかりしてください。人災ものです。(女性・18～29歳)
- ・瀬棚区の消防署の救急車配置は、経費削減を考え、必要ない様に思います。(女性・60歳代)
- ・防災への取り組みや救急体制が、瀬棚区は全くととのっているとは思えない。もっと重要視してもらわないと安心して生活できないので、よく地域の話聞いて改善してほしい。〈再掲〉(男性・30歳代)
- ・消防の技術向上・・・消防署の合併にともない、防災の観点から技術の向上(町民に見える形で)は必須ではないか。(男性・30歳代)

### [ごみ、リサイクル]

- ・空き缶、たばこの吸いがら、買い物袋のゴミなど、道路脇に捨てられているので、きれいなまちにしたい！(女性・50歳代)
- ・シニア1人暮らし又は2人暮らしの住宅の回りに置き去りにされているゴミ等を、持ち込み料金のみとかで片付けをしてあげる。(衛生センターへ持ち込み。)町として積極的取り組みをする。(声がけをする、のではなく。)(女性・60歳代)
- ・徳島の真駒内会館前のゴミを入れる箱が、台風の影響で壊れて、持って行ったまま設置されていないので、凄く困っています。早急に設置して欲しいです。(女性・40歳代)
- ・リサイクルできるものは無料で回収、または回収BOXをもうけると、もっとリサイクルに関心を持ち、ゴミの量を減らすことができると思う。自分も、リサイクルの分別をはじめやっていたが、たまるまでのゴミの置き場がなかったり、めんどうでやめてしまった。でも無料で引とれる場所があれば利用したいと思う。今は生協の段ボールや発泡トレーなどのサービスを利用している。(女性・40歳代)

### [道路]

- ・去年から新築物件が急増(北檜山市街地、豊岡新町)していますが、町道の整備、補修がかなり遅れていると感じます。町の景観を良くするうえで、道路の整備は必要です。(男性・50歳代)
- ・車で交差点付近、オンコの木や丈の高い草木で見通しが悪い。(女性・50歳代)
- ・瀬棚と北檜山間の道路が暗すぎます。街灯を設置して下さい。切に願います。(男性・30歳代)
- ・歩道と国道間の草をどうかしてほしい。(男性・60歳代)

### [除排雪]

- ・町内の国道ばかりでなく、太櫓方面や在の方に、冬は雪かきが大変なので除雪車を入れて下さい。車道もそうですが歩道も、1か月に1回でなく、2回とか入ってもらえないでしょうか？通勤する人もこまっています。自分(役場職員)たちはあたたかい所で仕事してお金をもらっているようですが、少し考えてください！！どこが町づくりなのでしょう？(女性・50歳代)
- ・冬期間の除雪をしっかり、してほしい。(男性・60歳代)
- ・冬の除雪をもっとしっかり行なってほしいです。特に土・日など。(女性・40歳代)
- ・防雪柵について。せたな区は工事中でうらやましく思いました。その他の末端の地区も「過疎(かそ)」で終わらせず大事にしてください。末端から壊死が始まります。(女性・40歳代)
- ・持ち家があるが、除排雪が大変で、今後年をとるにしたがい不安が大きいです。道路に雪をおいて行く除雪の仕方、体調をくずした時、出入がとて心配です。(女性・60歳代)
- ・雪投げの時、運ぶ場所が遠すぎますので、もう少し近くに投げて重機にて一寸の手間をかけてほしいです。(女性・70歳以上)
- ・除雪などの苦勞を少しでも減らしてほしい。(女性・50歳代)
- ・除排雪の対応。流雪溝の利用できる時間帯や凍結により、利用できない期間の対応について重点的に見直してほしい。高齢の方に投雪はムリです。若い人たちは、仕事時間中と重なり利用不可だったりします。(女性・30歳代)

### [公園]

- ・各公園の整備、遊具の整備。(女性・18～29歳)

- ・花壇について。役場近くの信号の所の花壇に黒ビニールを敷いていますが、雑草がはえないようにしているのか？ せっかくの花が美しく見えない。フラワー部会があるが、花を植えていない地域はあるのだろうか。例：太櫓の花壇は 24～25 コ立派なものがあるが虫がつく。他の理由で花を植えない。何か対策はないだろうか。町の景観として花植えを推進しているのしょうから、部員が自分たちの都合でやめるのはどうなのか考える。場所は特定できないが、町の花水仙をもっと沢山植えるべきでないかと思う。町の花「水仙」のパーツをポイントポイントに飾る。(女性・60 歳代)
- ・旧営林署跡地をイベント広場にしたい。(男性・60 歳代)
- ・公園の遊び具の点検を定期的に行ってほしい。(女性・30 歳代)
- ・公園の整備をしてほしいと思います。鮭公園や晩秋の森など、子ども達があそべる遊具が次々となくなり、鮭を見ることができた魚道は姿を消し、できた当時を知るものにとってはとてもさびしい気持ちになります。子どもが遊べる公園施設が少ない。それを整備することで、家族連れを呼ぶ観光スポットにもなりえるのでは？(40 歳代)
- ・公園の設備がとても悪く、子どもが遊ぶ場所がとても少ないです。大きい公園を作り、遊具もたくさん作って欲したら、町外からも子ども連れの人々がたくさん集まると思います。(八雲の公園がとても良い例)(男性・18～29 歳)
- ・真駒内神社～真駒内公園の整備をしてほしい。(女性・18～29 歳)
- ・街中に小公園などがなくて、色気のない街だと思ふ。→散歩しても小休止する場所もベンチなどもない。道路の花も、花が画一で面白くない。(女性・70 歳以上)
- ・八雲に行かなくても子供と一緒に楽しめる公園があれば、休日でも町内にいる事が多いと思いますが、ないのでどうしても八雲や札幌に出向いてしまう。他からも来客が見込める公園などの施設があればうれしいです。(男性・30 歳代)
- ・丹羽、玉川公園に水仙の寄付があったと聞きました。子供の時より、存在感のあった小金山、水仙を増やすことのみならず、これを機に整備をしたらどうか。道路側にある廃材の整理や、立木せん定をするなども合わせてやっていただきたい。水仙の町なのだから。(女性・60 歳代)
- ・函バスターミナル横に小公園を造ってほしい。冬以外には、バスの時間待ちに、ここに少しすわって待っても良い。買い物終えた人が少し休む場所にしても良い。近所の小さい子供連れの方が少し遊べる程度の規模。芝生、あじさい、水仙など花、緑もきれいに。庵、ベンチ等も。場所は特定できませんが(例：体育館駐車場あたりとか)、函バス横よりは広い、ちょっと散歩がてら寄って休めたり、小さい子も遊べたりするような公園(花のきれいな)がほしい。(女性・60 歳代)

## [住宅、宅地]

- ・空き住宅がなく、転入してくる時に住まい探しに苦労しました。空き物件があっても古さが目立ちます。“人口を増やす、子どもを増やす”がまちづくりの一環に入るのであれば、若者、子育て世代の住環境についても目を向けていただけたいと思います。(女性・30 歳代)
- ・親世代となる若い世代に、安い価格で住居を提供。(男性・18～29 歳)
- ・各住宅<団地>等の老朽化や整備されていない道路等が多くあり、町内としても住みにくい環境が目立つため、重点的に改善して欲しい。(男性・40 歳代)
- ・生保の方たちが多く住む住宅の建て替え。生保だから劣悪で仕方ないという考えでは、生活改善がされない。逆にシンプル、簡単で良いので、フロ付住宅にし、自分で生活向上していけるように促す意味の住宅整備をする。(願わくは生保と限らず、劣悪住宅全てを建て替え、町の中の景観を良くしてほしい。)(女性・60 歳代)
- ・単身者の住宅が不足しているとよく聞きます。アパートがあまりなく、賃料が高いと聞きます。町営住宅でも積極的に入居できるようにしたらどうでしょうか？(女性・40 歳代)
- ・都会のマンション暮らしは、商品を不必要にする。きれいなアパート暮らしを北檜山でしたい。アパートのたくさんならぶ地区の水田を壊してでも作って欲しい。水田は今金の方がいいから。北檜山より生活しやすい所は、日本にはない。(男性・40 歳代)
- ・他の町から来る人に対しての住宅の環境をしっかり確保すべきだと思います。町営住宅の金額が高すぎて住む気にもなれません。現在使用されていない住宅、一軒家を町で管理出来る環境を提供すれば、もっと住みたいと思う人がいると思います。あくまでも安価な設定で…。(男性・40 歳代)
- ・町内の公営住宅や空き家を活用して、町内遠隔地に暮らす交通手段を持たない方の入居を推進し、行政サービスの効率化を図る。(コンパクト化)(男性・60 歳代)

## [空き家]

- ・空き家対策。(男性・70 歳以上)
- ・空き家、公営の空き室を利用出来る様にする。自然が天然なので、他の方から一時的でも住まわした方が。(女性・60 歳代)
- ・それなりに年齢を重ねている身ですので、今後どうするかという質問にきちんと答える事ができませんけれど、空

き家の多いのがもったいないと思います。夏場だけでも、いなかの海に落ちて行く夕日を見に来る体験をしていたくことに利用できないものなのだろうかといつも思います。具体的で申し訳ないけれど、宮野の学校の空いているのを利用すれば、日帰り、1～2泊くらいの宿泊体験は出来るのにと、何の術ももたない身ですけれど思っております。(外にもう少し目をむけて行くのも今後の町の人達には必要な。)(女性・60歳代)

- ・どこの町でも頭を悩ませている問題ですが、居住者のいない家のしまつ。景観はもちろんです、台風などの時や、不審者、不審火、ノラ犬やノラ猫などの出入り…。近所の方々に不安と危険をあたえているのではと感じています。(女性・60歳代)
- ・町はきれいで良いと思いますが、「空き家」が多く目立ちます。対策を講じてはいかがでしょう。(男性・60歳代)
- ・過疎化に伴い、空き家が増えています。再活用の方法等、行政と町民との話し合い場を。(女性・70歳以上)

## [水道]

- ・雨が降ると水道ににがり水が多い。(男性・60歳代)
- ・北檜山の他の町内はわかりませんが、徳島の一部かも知れないのですが、水道の水が鉄サジ臭いし、とても気になります。水質が大丈夫なのか、本当に不安だし心配です。出来れば、水質を改善して欲しいです。(女性・40歳代)

## [路線バス]

- ・医療機関ですが、町内以外の通院などの交通の便も、今の乗合「たいせい号」も値上るとか…。高齢者にとっては大変ではと思います。それに変わるなにかがないか、考えてもらえないでしょうか？…(女性・60歳代)
- ・交通が不便。(町外の病院を受診)(男性・70歳以上)
- ・地域に商店がない、雪が多い、高齢のため数年後には車の運転ができなくなる…。この様な状態の人が多く、町で運行しているバスの通過する経路を一考していただきたい。(女性・70歳以上)
- ・病院、買物に行くのに、通院(交通)対策が必要だと思います。(女性・50歳代)
- ・病院に行くのに、交通の便利をよくしてもらいたいと思います。(女性・70歳以上)
- ・もっとバスなど交通の便をふやしてほしい。(男性・70歳以上)
- ・季節運行で、函館バス北檜山営業所から太櫓線と久遠線を一本化して(北檜山→太櫓→鵜泊→太田→大成→久遠→北檜山へ)、テレビ放映で有名な太田神社などへ行ける交通手段の確保(観光者等のための)の検討を求めます。(男性・50歳代)
- ・交通の充実。(女性・70歳以上)
- ・私は、せたな町に40年ぐらい住んで居ります。たいへん住みやすく、ありがたいと思って居ります。ずい分前から身体が弱く、ずーと20年間ほど病院、入院～通院を重ねて居りますが、ほとんど函館方面の病院なので、交通費やら病院代などがかかり、生きていても何の楽しみもなく…。また、今年は新幹線開業のためバスの時間が変わり、今年まで2ヶ所の病院に寄ることができたので助かりましたが、今年からは、1ヶ所の病院しか寄れず、交通費が2倍かかるようになり大変こまっています。2ヶ月に4ヶ所の病院通いですので、これからどうしようかと不安でねむれません。(年金は2ヶ月7万6千円ぐらいで暮らして居ります。函館方面の病院に2ヶ月に4ヶ所です。)(女性・70歳以上)
- ・高校生のバスの乗車のマナーが悪い。いくら人口の少ない場所だといえ、ひどすぎる。他の市町村では通用しない。(男性・50歳代)

## [子育て支援]

- ・休日に子供が屋内で遊べる場所があると良い。(パノラマパークのような感じ)。(30歳代)
- ・子育て支援。(男性・18～29歳)
- ・子育て世帯の経済負担を軽減してくれるような施策(オムツ代の補助など)を実施してほしい。(男性・30歳代)
- ・子育てで一番お金がかかるのは、高校～大学専門学校です。義務教育ではないとはいえ、実情ほとんどの人が進学します。親の収入によって、高校の授業料の免除にも差があります。給料が増えても(多かったとしても)、税金、年金で沢山とられ、子育てにも周りよりお金がかかる…という事に不公平感を感じます。奨学金もほとんどが地元に戻ってくる人限定ですし、使いにくいです。(女性・40歳代)
- ・子どもが安心して生活出来るような町を望む。保育所などの環境を整え、保育士を増やしてほしい。子どもや妊婦さんへの気くばりが全くないから、少子化へつながるのだと思います。(女性・30歳代)
- ・就学前の子供達が参加できるイベントを増やす。(就学すると、職に戻るお母さんがいたり、ある程度手も離れてしまうので、就学前の子供と向き合える時期と一緒に参加できるイベントがあると、産後、引きこもりがちなお母さんや、人見知りがちなお子をもつお母さんの助けになるのではないのでしょうか。)(女性・18～29歳)
- ・少子化対策として子供3人産みましたが、年が離れていて、保育所の3人目無料や小学校の給食費無料などが使えません。年齢制限のはばを広げて頂く等してもらえると助かったのと思います。(女性・30歳代)
- ・地域の特性を生かしたものの、木のおもちゃの施設などがあると嬉しいなアと思います。子どもを遊ばせることができる場所、“木育”にもなり、親子と一緒に楽しめる場所など、良いと思います。木のプールなんて、なかなか無いです。

(女性・40 歳代)

- ・低所得者への子育て支援をして下さい。(女性・70 歳以上)
- ・ボランティアで育児ヘルパー的な事をやってくれる人がいると助かるのですが。(女性・30 歳代)
- ・学童保育の定員増加、強化をお願いしたいです。(女性・18~29 歳)
- ・子育てに関しては、札幌などに比べると、医療費無料など充実しているので、これ以上は望まなくても、助かっています。(女性・30 歳代)
- ・子育ては、大きな町と同じ事をやってうまくいく訳ないです。田舎、小さいな町での子育てにはもっとたくさん違った良い所があると思います。子どもの心を育てるには最適な町だと思います！！(不明)
- ・乳幼児検診について、大成の住民が北桜山区まで移動は大変との声あり。(女性・70 歳以上)

#### [保健]

- ・大成区、瀬棚区、北桜山区の予防接種にそれぞれ差があるので、住んでいるところで全ての接種が受けられると助かります。乳幼児の検診も他町と比べると少ないため、充実してほしいです。眼科検診がすぐに定員が満杯になるため、回数を増やす、ないしは定員を増員してほしいです。(男性・30 歳代)

#### [医療]

- ・「患者バス」の名称を変更する。病人扱いしない。提案「セターナ号」。(他に、元気で明るいイメージの花の名など考えても良いのでは。) また、巡回バスを運行する。(→「セターナ号」がこの機能を持って良いと思う。) 帰りは、買い物、お風呂の荷物など大荷物を持って帰る。自宅まで届けてあげたい。『手荷物もお届けします』※函バス運行の縮小できますか。(女性・60 歳代)
- ・医者のみなさまもしっかりしてほしい。(女性・18~29 歳)
- ・医療機関の強化…今のままでは小児科等、子育てをしにくい…。町民の医療機関受診→町外が多く不便と言っている人が多い…。(女性・18~29 歳)
- ・医療での対応の悪さもあり、地方の方に移る方もいるのではないかと。(女性・50 歳代)
- ・医療に関して、ドクターヘリが運行されるようになったとはいえ、時間・天気などに左右され、札幌・函館などの大きな病院までの距離を考えると不安です。交通の便も悪く、高齢になってからは特に住みにくい場所と言えます。(女性・40 歳代)
- ・医療に関しては、本当に改善、質を高めるなどの対策をとって欲しい。安心して通えない。(女性・30 歳代)
- ・医療の充実。(女性・50 歳代)
- ・医療の充実。(男性・60 歳代)
- ・大成診療所の医師を変えてほしい。(女性・50 歳代)
- ・高齢化が進む町内で最も大切なものは、福祉、医療の充実だと思います。この点が変わらない町は、将来、若い方達もどんどんと他町へ流出してしまうのではないのでしょうか。総合的医療(病院施設)が整わない土地では、子供も老人も安心して生活はできないでしょう。私もその理由から、数年中には町外移住をと考えております。(女性・40 歳代)
- ・国保病院に精神科を作る。(男性・40 歳代)
- ・産婦人科や小児科がないので、子育てにとっても不安を感じます。何かあった時に、八雲町まで車で行かなくてはならないのも負担になっています。産婦人科は週1回・国保病院、小児科は週2回・今金の国保病院に出張医が来ているのは知っていますが、それだけでは足りないと感じています。(女性・18~29 歳)
- ・重点→医療の充実。当番医でなくても、急な体調不良はみていただきたいなど。(女性・50 歳代)
- ・住んでいる中で、医療体制に不安を感じている。診療科が少ない(小児科、産婦人科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科などがない)ので、医療体制を整えてもらいたい。(女性・30 歳代)
- ・瀬棚診療所について。週3、5日しか診療していない様ですが、患者バスの運行を増やして診療所を廃止しても良いと思います。(女性・60 歳代)
- ・せたな町に小児科を設置してほしい。通院が大変です。(男性・30 歳代)
- ・総合病院がほしい。ひふ科・小児科・眼科がいつでも受診できなくて不便です。子供がカゼをひくと仕事を休まざるをえません。(女性・30 歳代)
- ・知人にもせたな町に引越しをすすめたいが、子供の医療等(受診は無料ですがよく助かるけど小児科が…)を考えるとなかなかすすめにくい。(親の就職先等もあると思うが…)。(女性・30 歳代)
- ・町内の医療機関では限界があるので、対応できない病気や怪我の場合に町外の病院に行かなければならないのは、高齢者もそうですが、若い世代の人にとっても不安を感じる。また、親が高齢になり町外の病院に入院することになってしまうと、子どもは遠くの病院に通わなくてはならなくなり、経済的にも身体的にも負担が生じてしまうのが難点だ。病気になるのを防ぐことも必要ですが、身近なところで医療を受けられる体制が今以上に整うことを希望します。(女性・30 歳代)

- ・バスで病院の診察を終えたシニアが、バスの時間待ちのため、持参した昼食又はかんの歩いて行き、弁当を買い、病院の待合室の長イスで食べる。本当に不調の方は、長イスで横たわる。その光景は見えてられない。病院に、バス待ちのシニアの方向けに明るいテラスを建てる。昼食をとる。友人と会話する。お茶、コーヒー等（50 円）を自由に飲めたりできるようにする。オニギリ、パンなど販売する。ラジオ、BGM などをかけ、シニア向けのみならず、お見舞いの人や、調子の良い入院の方も利用できるようにする。外の一般の方も可能に。TV を見たい方は、待合室で。あえて明るくムードを変えたい。（女性・60 歳代）
- ・病院も、子どもが病氣しても小児科がなくて、とても不便だと感じます。（男性・18～29 歳）
- ・八雲や函館に行かなくてもいい病院を。（男性・18～29 歳）
- ・医療の充実。（女性・70 歳以上）
- ・国保病院の医師が、問題ありの寄せ集め。態度も良くない、町民も親しみを持ってない…。なので通わなくなり、今金、八雲へ行く人が多くなった。（看護師が、唯一まともな先生は…と言うのを聞いてから、信用出来なくなった。）（女性・40 歳代）
- ・町民が安心して暮らすため、保健、医療、福祉、介護の充実。特に、国保病院で小規模の手術が出来るようにしたり、産婦人科を新設するなどし、なんとか人口減少に歯止めをかけなければ、せたな町が益々衰退します。ありとあらゆる知恵を出して、せたな町を発展させましょう。（男性・60 歳代）
- ・町立国保病院に“MRI”がなく、八雲や函館まで検査を強いられるので、是非とも設置して欲しい。（女性・70 歳以上）

### [地域福祉]

- ・子ども達（保育園児含む）と高齢者のふれあいの場、交流の場を増やす。（女性・50 歳代）
- ・子供や要介護者の外出時に、安心して利用出来るトイレ（子供や要介護者のオムツ交換が出来る）の整備や、町立、民間の病院のトイレ利用も出来る様にして、子供連れや要介護者が安心して外出できる街にして欲しい。（男性・50 歳代）

### [高齢者福祉]

- ・あまり出歩けない高齢者に他との交流をしてもらう活動。（送迎つきで）（女性・30 歳代）
- ・海沿いに住んでいる老人への買い物などの支援。（女性・30 歳代）
- ・おとし寄りが気軽に立ちよれるカフェ的な場所があれば良いと思う。（老人クラブなどでなく、いつでも集まれる場所。）（女性・70 歳以上）
- ・お年寄りが大変多いせたな町。今後の事を考えますと、（福祉）施設等を増やしてはいかがでしょうか？働く所が無く若い人は町外へ出ざるをえませんが、施設等を建てる事により町外からも来ると思います。（男性・18～29 歳）
- ・お年寄りが元気な町が、町全体が元気だと思うので、安い賃金で、元気な高齢者が働ける場があればお互い助かる。仕事があるだけで元気が出ると思う。（女性・50 歳代）
- ・お年寄りが多いわりに、あまり優しい目線ではないです。そうした方が利用する施設以外（一般の施設）は、建物内にちょっとした手すりとかの設置があまり見られないように思います。（女性・60 歳代）
- ・高齢者が多くなって来ているので、支援関係者以外の方々の協力が必要となって来る。（女性・30 歳代）
- ・高齢者が増加すると考えられるので、高齢になっても安心して住めるまちづくりをお願いします。（女性・50 歳代）
- ・高齢者になっても、出来るたのしみをあたえ、豊かにする。（内職でも、一般の人達（一部じゃなく）が働ける場所を作る。）（女性・60 歳代）
- ・高齢の方が多いため、八雲総合病院への送迎もあると助かると思います。（専門的な診療だけでも。）（女性・30 歳代）
- ・せたな町の福祉のオリジナリティー。（女性・50 歳代）
- ・せたな町も 10 年後は高齢者が増えていると思うので、グループホームや一人暮らしの老人が身を寄せられる様な施設ができればいいな。（女性・30 歳代）
- ・地域で安心して住める様に、介護度 1・2 にも手厚い介護の見直し。（女性・70 歳以上）
- ・超高齢社会に対応した施設整備など、官民が一体となって取り組む事が重要。（男性・50 歳代）
- ・農、林、水の産業振興は第 1 ですが、高齢者、障害者の福祉に力を入れて、福祉村等が理想です。（女性・70 歳以上）
- ・ふれあいプラザの施設で、研修やイベント等の集会（他町からも）が多くなり、特に高齢者・障害者の参加も多く、エレベーターの設置を希望。（女性・70 歳以上）
- ・昔は、いこいの家（温泉）におやつや弁当を持って年寄りが集まり、朝から夕方まで友達と楽しめる場所がありました。誰でも集え、時間を気にせず過ごせる場所があるといいです。（女性・70 歳以上）
- ・老後、1 人暮らしは何かと不安とさびしさがあるので、病院などの周りで、（公営住宅的な）シニアハウスのような公営施設で生活ができるとうれしい。（女性・40 歳代）

## [障がい者（児）福祉]

- ・障害者でも働ける様な所を作ってほしい。(女性・30歳代)
- ・障害者と健常者が共に豊かに生活するため、障害者の雇用の確保や、障害者の更正施設の建設。(今金町の光の里学園、北斗市のふじの学園等を参考にしては。)(男性・60歳代)
- ・色々な障害がある人(その身内の人)が相談できる専門の人が、定期的に来てもらえると助かります。最近子供の発達障害も増えてきていて、接し方がわからずに困っている人(特に大人になってから発達障害だとわかった人)も多いと思います。ネットや本だけの情報ではよくわからない事もあります。函館まで行くとあるとは思いますが、なかなか行けない人もいるのでは?まわりにいる人も悩んでうつになってしまうかもしれない。(ネットや本が出ているのも知らない人もいるかもしれない。)子どもを対象とした相談はよくありますが、大人の相談はあるのですか?(大人の発達障害)(女性・30歳代)

## [生涯学習]

- ・今金では、体育館で百人一首や英語その他色々な活動をしているようです。週1で行くけど、常に人がたくさんいて、活気があるように見えます。外で気軽にテニスもしています。(女性・30歳代)
- ・いろいろな技術や知識をもった町民がいると思います。体験教室みたいのがあると趣味としてもおもしろいと思います。(このごろ少しずつ増えていると感じていますが・・・)“これだったら教えられます”という方を募集してみてもよいかも知れません。その中からピックアップするとか…(女性・30歳代)
- ・継続的にIT等の講習を実施する。(楽しみとしてではなく、実践的内容とする。)(女性・60歳代)

## [小中学校]

- ・学校給食を改善して欲しいと願っています。(女性・30歳代)
- ・北中の校庭(裏駐車場)は、外灯が暗い。グラウンド(野球場)の使用頻度は高めだと思いますが、何度か子どもとぶつかりそうになり、ヒヤッとすることがありました。環境整備に力を入れてもらいたいです。(女性・30歳代)
- ・子育ては、今はドラッグストアも出来たし、保育料も安い(安すぎて不満。自分の時はなんだったのかなって)。小学生、中学生が遠征に行く費用がかさむので、そこも見直して欲しい。他の学校の合宿で、町にお金はあまり落ちてないのでは?委員会バスがあればいいと思う。(女性・30歳代)
- ・小、中学生の学力向上。(男性・30歳代)
- ・小学生のプール授業を夏休み中にやってほしい(寒いので)。暑い間に泳げばいい。温水プールは、いらない。(女性・40歳代)
- ・都会では、進学塾に通う小中学生が大勢いるが、田舎ではそれが出来ないため、自然と学力の差が付いてしまう。中学校などで、進学教室などを設置してはどうかと思う。(男性・60歳代)

## [芸術文化活動]

- ・産業振興・健康福祉・生活基盤等に力を注ぐべきと思いますが、生涯学習や文化・スポーツなど各種公演・音楽鑑賞、町民が楽しめる場として、町民ホール(コンサートホール700~千人集客規模)の建設を、今後のせたな町まちづくりに配慮願えば幸いに思います。(男性・60歳代)
- ・スポーツには、どこの町も力を入れている。文化的な面にももっと力を入れてほしい気がします。新覚氏の絵画を定期的に入れかえたり、美術館作品の展示や町民向けの美術や音楽教室など。(男性・50歳代)
- ・せたな町の青年団の劇やコントの文化祭を望む。せたな町の人々の将棋麻雀囲碁の大会を望む。美しい風景の写真のコンテストをやってほしい。日本歌謡界の一流の歌手のコンサートを聞きたい。日本の芸能界、スポーツ界の一流の人の話を聞きたい。(男性・50歳代)
- ・洗練された文化的施設が1つでもあると良いと思います。ふれあいプラザ大ホールのみでは、田舎くさく、イベントのイメージも残念な気がします。何かせめて中の雰囲気のリフォームするなどの工夫ができないものでしょうか。(女性・60歳代)
- ・文化施設ですが、講演や音楽系やら同一施設を利用となりますが、観客席が、階段式の最後列からも同様に、前のステージを観られる椅子の設置が有るといいなとも思います。(可動式でも)(女性・60歳代)

## [歴史、文化財]

- ・せたな町の小学校・中学校の学び舎の歴史、歩みを伝える事。(男性・50歳代)

## [スポーツ]

- ・新しいプールができるとも聞いていたのですが、それも未定のままです。(40歳代)
- ・子どもが参加できるイベント(水泳教室、スキー教室、ダンス)などを増やしてほしい。都会のように習いごとを選べないので、体を動かす機会が増えれば良いと思う。(女性・30歳代)
- ・子どもたちの教育について。北檜山は野球とサッカーが盛んで、それは良いことと思いますが、他にもスポーツは

あり、様々な団体が等しく扱われるべきかと思います。あまりに施設が少ないです。町の繁栄は芸術・文化・スポーツに現れるかと思います。学校の勉強以外にがんばっている子供たちがいて、それを親たちも必死で支えています。表彰して下さるのはありがたいですが、将来オリンピック選手（今金にはいます）を生み出したいとかなら町も後押しすべきだと思います。個人ががんばるには限界があります。（女性・40歳代）

- ・スポーツの松山大会、全道大会、全国大会に出る人を育てる。走る事。せたな町の若者のソフトボール、卓球大会を見たい。日本のオリンピック選手のメダルの体験を教えてもらいたい。（男性・50歳代）
- ・瀬棚区社会人スポーツクラブを復活して欲しいです。（女性・30歳代）
- ・せたな町町民体育館の利用状況をホームページでも知りたい。（女性・30歳代）
- ・体育館の設備の充実化。（不明）
- ・町民が健康的に、生きがいを持って生活するための一つの場として、温水プールを是非作っていただきたいと思います。水中運動（水泳）は、年齢問わず楽しめるスポーツであり、寒い季節の運動不足解消にもつながります。また、教育委員会に、水泳指導ができる方もいらっしゃるごことから、幼児からお年寄りの方まで、各年齢層に合わせ、充実した活動が可能かと思えます。温水プールを作る案が示されているようですので、是非実現していただくと、ありがたいです。（女性・40歳代）
- ・温水プールの計画が着工目前に白紙となったようだが、今後の高齢化や子供たちにとって、運動（ウォーキング）などをする施設は重要だと思う。まちが住みやすい環境、子育てがしやすい環境でなければ、今後町外から転入してくる人は少ないと思う。人口が減少してきている今、人口増加をめざすには、そういった施設環境を整えるべきであると思う。まずは、計画に合った温水プールを着工すべきだと思う。（女性・30歳代）
- ・もっと利用しやすいスポーツ施設を。（男性・18～29歳）
- ・高齢者が利用出来るプールなどがあるといいのですが。（女性・70歳以上）
- ・子供たちの教育施設の整備をしっかりとる。サッカー、プール、野球場、丹羽スキー場の整備もしくは廃止、他の場所検討。町体トレーニングルームをもっと開かれたものに。町の発展には大変大切なポイントだと思っている。勉強実力向上合わせてもっと考え、良いものを提供できることを強く願います。（女性・60歳代）

## [産業全般]

- ・「せたな町トップマネジメントチーム」を作る。（企業マネジメントの手法を用い、マーケティング→イノベーションを行う）（男性・30歳代）
- ・一次産業が良くなると、町全体の活気が良くなるかと思えます。（女性・60歳代）
- ・一次産業従事者の高齢化が進み過ぎると、町に活力がなくなる。同問題の早急な解決が急務と思う。（男性・50歳代）
- ・今後さらに高齢化が進み、町民全体での働き方を考える必要があると思う。知識や技能が継承されず、気がつけば無知な大人が増え、生活全体に多大な影響をあたえる感がある。（男性・40歳代）
- ・今後せたな町は、第1次産業と観光が重要になると思う。農林業・水産業の担い手が少なくなる事はしょうがないと思うので、効率化を計る事がいいと思う。一人一人の規模を大きくして経営する方が今後の第1次産業の形になると思うし、そうなると思う。そのためには、行政のフォローなくては大変です。そしてもう一つは観光。町民だけで町のお金をうるおすのは無理です。外部からのお金の流れを作る事によって、町が動くと思えます。そのためにも、交通のインフラ、PR活動も今後継続していった方がいいと思えます。（男性・18～29歳）
- ・せたな町の今後について考える。北松山区を例に取ると、元々農業が基本にあり町が成り立っていた。しかし、国の減反政策により、米が自由に作れなくなり、現状のような有さまになっている。今後を考えると、農、林、魚業の振興の為の委員会を作り、特産品や特産物、又これらを高く売る方法などを考えたらよいと思う。町が先に立って考え、行動をおこさなければ、ますます人口が減少し、せたな町に未来はないように思われる。（男性・60歳代）
- ・地産地消…おいしい食べ物がたくさんあるから活用して！！（女性・30歳代）
- ・農、漁、観、それぞれ重点事業を決めて、5年程度の中で、予算を含め集中的に行うことで効果の有無がわかり、中期的な事業として続けていく判断材料とすべきと思う。（男性・70歳以上）
- ・風力発電と電力自由化での企業誘致、農業、林業、漁業、各業種（町内にある職）の事をほとんど知らない若者、人がいる（農家などは多いが、それ以外はほぼ知らない、考えた事もない）。各業種が町内で、どう活動しているか知らせる、触れる、体感させる、思考してくれる機会を増やす。（男性・30歳代）
- ・まちづくりの基本は産業振興で、実現には垣根を越えた地域ぐるみでの統合・総合ブランド強化について検討する機会又は機関設置の必要性を感じます。各区で従来から頑張ってきた「地域ブランド」に取り組んでいる皆さんの集合体を「せたな町ブランド（異業種）」として、まずは行政主導で協働体制の構築を検討しては？（男性・60歳代）
- ・漁業・農業をする人を今後町職員にして、町が農業・漁業を守ってはどうか。とにかく今のせたな町は、「稼げて、ご飯が食べられて、家庭が持てる」…そんな希望を若者が持てて、安心して住める町ではないと思えます。一次産業が衰退しないように、皆で守ってほしいです。（女性・50歳代）
- ・漁業や農業をしているのが年配の人が多く気がして…。若い子育て世代の人が、少しの時間パートで働いたり関わられたら良いと思う。興味がある人が出てくるかもしれない。仕事内容が大変なのに、収入が合っていないように見

える。なので、若い人はやりたがらないと思う。子育て世代の人達は、短い時間でパートが出来ればやりたいと思っている人も多いです。(もうあるのかもしれませんが、情報が入ってこない。) こういう人達から漁業、農業の良い所を知れたら良いかと思って。(女性・30歳代)

- ・跡取り問題の改革。農・林・漁業者の支援。(男性・30歳代)
- ・地域のいろいろな職種が関わり、補助金を出すとか。(女性・30歳代)

#### [特産品、土産品]

- ・帰省の際に、土産品がなかなかない。せたな産の物が少ない。セターナちゃんのお菓子やグッズがあればと思う。(女性・30歳代)
- ・帰省のときに、お土産の選択肢が少なく困っている。地元の特産物をつかった商品の開発を進める。(学校・町民にアイデアを聞いてみるのも手かと…) セターナちゃんお菓子。(男性・18~29歳)
- ・個人的な事ですが、町外の家にご挨拶する時、手土産を持って行くのですが、本当は「うちの町の銘菓です」とお菓子を渡したいのです。でも、北松山区のお菓子と言ったら“カリンバ”しか無く、言いにくいですが、正直若い人はあんまり食べませんし受けが悪いです。結局瀬棚区の某店で買ってしまうのですが、北松山区にもお菓子屋さんあるのにもったいない気がしています。何か出来ませんかー。セターナちゃんこの町の農産物コラボのお菓子があると便利と思います。でも、お菓子に出来る農産物を知らないの、いいアイデアが出てこないです…。手取り早いのは、ただのクッキーやおまんじゅうにセターナちゃんを焼印したり包装するとか。ぜひお願いします。温泉があるのでセターナちゃん温泉まんじゅう、いいと思います。(女性・18~29歳)
- ・せたな町独自の特産品がない。官民一体となり、土産物となる特産品を作るべきだと思う。(男性・60歳代)
- ・せたな町の特産を使ったスイーツの開発。(岩シューなども有名ですが、せっかくなら、せたなの特産を使ってあるものがあつたらいいかなと思います。)(女性・18~29歳)
- ・例えば銘菓。土産として気軽に手に入れたり、購入することが難しいので、結局、他町で購入してしまう。あちこちで、よく声を聞きます。せたな銘菓がいくつかあると町民は助かり、他町へお金を出費することなく、町内で出費できる。(女性・40歳代)
- ・第1次産業を生かしたブランドをせたなにも多くとり入れ、特産品などの販売などにつなげて、買い物が楽しくなることで、活性化につなげることもいいですね。(女性・50歳代)
- ・松山北高・今金町と連れいした特産品作りや観光PR。(男性・30歳代)

#### [農林業]

- ・空いた農地がとても目立ちます。新規の就労者が入りやすいようなサポートを町ぐるみではどうか。農業体験の為に宿泊する家を整備してあるのは知っているのですが、ほとんど空き状態…。何か別のサポートのしかたはないでしょうか…。(40歳代)
- ・今金男しゃくよりおいしいじゃがいもがあるのに、有名にならないのは何故？もう少し、農産物を売りにするイベントがあつても良いと思う。(女性・30歳代)
- ・継続的な農作物の生産。将来的な収入を見起した活動。(男性・18~29歳)
- ・今後の町づくりとして、若者の定住が必要不可欠である。これを進めるためには、1次産業に力を入れるべきである。(男性・50歳代)
- ・重点的に行うべきは、新規就農の制度の改革。親の後継だけを優遇しては、農地を引継ぐ人材が足りなすぎる。始める時だけでなく、就農してからの補助をもっとしていくべき。(男性・30歳代)
- ・少子高齢化、人口減少が急速に進行しているなかにあつて、何としても人口減少率を下げなければなりません。その対策として、当町の基幹産業である農業・漁業の振興をめざす担い手の確保対策が重要。農業センターを研修施設に改修し、全国から農業に興味のある方を募集し、10名程度を受け入れて2年程度勉強していただいて、せたな町で営農又は農業に従事していただく。(男性・60歳代)
- ・何を切口に町づくりをするか。グリーンツーリズムにも適しているし、農業の企業化というのもいいと思う。(男性・50歳代)
- ・農家への補助。(稲わらをもやすのをダメとかじゃなく、農協と協力してどうにかして下さい。今までずっとやってきて、今さら一方的にダメっておかしいと思う。町でも北松山ブランドで米を出していくなら農家に協力すべきだと思う。)(女性・30歳代)
- ・農業者の高齢化に伴い、耕作地の放棄地が増えるのではないか。その対策はどの様にして行くのか？(男性・60歳代)
- ・農業女性の一部が加工品を製作しているが、町内販売などはどの様になっているか、PRしているのか？(男性・60歳代)
- ・農業については、慣行農法ではなく、安心、安全を売りにする有機野菜等を前面に出した作物作りを選択する等、他とは異なる方法で進め、国内のみならず国外への販売、PRをすべきと思います。(女性・40歳代)
- ・主幹産業でもある農業の担い手確保には、力を注いで欲しい。他市町村においても有効な取り組みをしているので、



情報を積極的に入手して、参考にすべきだと思う。(男性・40歳代)

### [害獣対策]

- ・クマが地元で目撃されているため、安全対策を充実してほしいです。(男性・30歳代)
- ・この頃、熊の出没が多く聞かれますが、ハンターの人を増やすとか、ハンターの後継者を育成するとかして頂き、安心して住める町にしてほしいと願います。(女性・50歳代)
- ・鹿、熊、タヌキなどの害獣が多すぎるので駆除してほしい。(男性・30歳代)
- ・町づくりとは町民が住みやすい環境になることで、現在自分が一番困っていることをあげさせていただくと、「熊」の被害です。生活そのものが怖くて、いつ熊に出会うかわかりません。こんなに「熊」が沢山居る状況は「普通」なんのでしょうか。ここまで増えてしまって、逆に「熊」自体も困っているのでは。「保護」と「放置」は違うと思います。自宅周辺も散歩できないのは、かつてない状況です。(女性・40歳代)

### [漁業、水産業]

- ・後継者(漁業)づくりをして、小さいころから漁業(魚)を食べる食育。(60歳代)
- ・水産物の流通販売の改善。(エビ、黒毛和牛等が販売されていない)(男性・50歳代)
- ・瀬棚の活性化、今やらなければならない事は、品物を作って売る事。この事については、農業関係では以前より販売高が上がっているが、漁業に於いてはさっぱりだめ。やはり、漁業に於いても、農業の様に育てて取る、養殖を本格的やらないとだめだろう。農業者にしたら、ただ海遊して来る物を取ると言う事は考へられない。海は波が荒ければ障があるだろう。とにかく水産物を増やしていかないと瀬棚の活性化にはならない。農業、漁業の売り上げが増えると、商業も自動的に良くなると思う。(男性・70歳以上)
- ・養殖事業、産直事業、魚センターなど、組合と連合して産業を作る事を考える。(男性・60歳代)

### [商業]

- ・うきうきカードのポイントアップは、年末だけでなく定期的に行ってほしい。(不明)
- ・大型商業店舗(サッポロドラッグ・ニコット)など、これ以上増えることはないと思いますが、撤退だけは避けて下さい。北松山区の(大型)商店は2店舗、コンビニも2店舗、こちらの方も私は心配しています。(男性・60歳代)
- ・買い物をする店が限られているので、企業に参入してもらって、大きなスーパーがぜひできて欲しい!(女性・30歳代)
- ・越してきて不便を感じる事が、ショッピングについてです。電気屋、衣服、くつ、本屋、日用品など、八雲や伊達方面まで行かないと揃えられないというのが非常に不便です。CDやDVDショップについては函館か札幌まで…。どこへ行くにも遠い。冬になるとかんたんに遠くへいけず…本当に不便を感じています。道南地方というか松山渡島地方に、大型ショッピングモールがあってもいいのでは…と思います。若い人がどんどん外へ出て行ってしまって、過疎化が進む一方だと思ふ。(女性・40歳代)
- ・しまむらとか衣類の店がないから、八雲や函館への買い物が多くなる。食品の商店が町に2軒しかないから、なんとかして。(女性・40歳代)
- ・シャッター通りをうまく活用出来ないか。(女性・70歳以上)
- ・商店街の活性、リニューアル。ブックカフェ、コーヒーショップ、ファーストフード的若者向け、甘物店(休憩所的)。町で企画し、募集をかけるなどする。愛想の良くない(申しわけないですが)店々に影響を与えることができるように、明るい店の雰囲気。(女性・60歳代)
- ・商店街の活性化。空き店舗の利活用を検討してはどうか。例えば、2軒続けて空き店舗があれば、1軒は店にして、もう1軒は緑地帯とか駐車場にして利用するとか。(男性・60歳代)
- ・商店通がパットしないので、空店舗のシャッターに色をぬり(ペンキ、絵)、通りを明るくする。(男性・60歳代)
- ・すし屋が非常にがっかりした。地元の魚をもっと食べられるかと思っていた。外食先が限られている。チェーン店「牛どん、ハンバーガー等」の普及を。(男性・18~29歳)
- ・生活するのに不便さを多々感じるので、生活環境を整えて欲しい。例えば、買い物に行く場所がないので、スーパーを誘致して欲しい。既存の商店も経営努力し、切磋琢磨して共存できれば良いと思う。スーパーだけでなく、外食チェーン店なども誘致して、住みやすい町にしていてもらいたい。(女性・30歳代)
- ・瀬棚区の町に、一軒で品揃えの買物が出来る商店が欲しい。(男性・70歳以上)
- ・せたな町百円ショップがオープンすると良いと思います。(女性・30歳代)
- ・セブンイレブンを作ってほしい。(男性・40歳代)
- ・大成区に、もっとコンビニやカラオケなど遊ぶ所を増やしてほしいです。(女性・30歳代)
- ・他町村で行われている事業見学・情報収集を行い、その中で提案がし合えるとイメージもつきやすく、実現もしやすいと思います。他町村では「トラック市」を開催しており、手作りのものを来店したり、フリーマーケット等町民

が参加しやすい内容になっていました。また、会場で、ビンゴ等で盛り上がるイベントを加えることで、より町民が集まると思います。(女性・30歳代)

- ・町民を中心に、人が集まる場所が一か所あればいいと思う。例えば、ショッピングモールや道の駅の様な感じのもので、地元で採れた農水産物や加工品をそこで販売すればいいと思う。また、一般の食料品や日用品を販売するコーナーやブース等を作り、そこに行けばある程度の生活必需品が揃う様にしたらいいと思う。出来れば、役場の出張所において各種手続きも気軽にできたり、ちょっとしたイベントスペースを作ってイベントを開催すれば、便利で楽しい場所になると思う。商店街や町の機能を一か所に凝縮したような施設があれば、広い町内をあちこち走りまわる事もなく用事が済ませられ、特にお年寄りや体力の無い人達に喜ばれると思う。町内の各店や起業を考えている人達にブースやスペースを開放すれば、産業の活性化につながり、イベント等で楽しい所にすれば町外からも人が集まると思う。(男性・40歳代)
- ・年寄りの多い町で、商店等は減っていく一方である。活気がない。(女性・50歳代)
- ・鶏が先か卵が先かの議論になろうとは思いますが、10年後のまちづくりも大切な事でしょうが、それ以前に“今”を見る事も必要なのでは？特に、北檜山区の商店街、店を閉じている方、店を開けていても商業をなされていない方、シャッターを完全に下ろしている方が約8割近くになってしまい、さびれはじめている町となってしまいました。個人商店もいままでとは違う、専門化された個性ある店舗経営、この店でなければ買えない、スーパー等に負けない、そんな個性あふれた店に変わっていかなければ、経営が出来ない時代を知るべきでは…。また、町としても、その購買力になんらかの“地方券”みたいなものも考えて行くべきでは。まずは、今、目の前にある現実をどう対策するのか？このことが10年後の町づくりのはじまりなのでは。(男性・70歳以上)
- ・農(林)水産物を、もっと手軽に買えるような施設があるとよい。イベントの時だけではなく、恒常的に。(男性・18~29歳)
- ・広い年齢層が、気軽に入れる喫茶店がほしい。(女性・40歳代)
- ・服、くつ等を買うとこがない。(男性・18~29歳)
- ・普段、人の姿がほとんど見られない町が、イベントがあると、北檜山にこんなに人がいたのかとびっくりします。でも、人を集めるための無料配布、本当にこれでいいのかと…。ふれあい市場のチラシも気になっています。売り手の目線で書かれているのが…。買う方の身になって、イベントはしてほしいような気がします。観光客を呼ぶことに力を入れる前に、その地に住んでいる人のために行政することが、町にとって大切なのではと思っています。(女性・60歳代)
- ・ふれあい市場について。過去に1度だけ行ったことがあります。混雑していて、ギューギュー詰めの中での買い物は大変楽しくありませんでした。建物の前方に土地の余裕もありそうですから、テラスを建てたら良いと思います。朝市も開催し、ホテル宿泊客にも利用してもらえるようにしたらどうでしょうか。(女性・60歳代)
- ・町づくりに当てはまるかはわかりませんが、子供が大きくなるうえで、衣、食、住においてお店に不便さがあります。今はネット時代で、通販でも買い物ができる時代ですが、やはりお店にじかに買い物に行き、自分の目で見て買い物ができる生活がしたいと思います。わざわざ町外、八雲や森のしまむらまで、函館までガソリンを使ってまでベビー服、子供服、おもちゃなどを買いに行くのはとても不便です。自家用車がある方はいいですが、車で行く事が出来ない人もいます。食料品は手軽に新鮮な物が手に入りますし、とても安くて品質のいい食べ物でいいと思います。(女性・50歳代)
- ・町の中(商店街)、どんどんお店がなくなるのが淋しいです。(女性・30歳代)
- ・道の駅のような、地元の物を気軽に購入できる場所があればよいと思います。(女性・40歳代)
- ・道の駅を作ってみる。海産物や米やお酒、ふれんどさんのパンやしいたけとか、町内の人でも買いやすい場所の提供。(女性・30歳代)
- ・ラルズマートなど大きいスーパーを建てる。コンビニを増やす。自動写真機を設置する。(男性・40歳代)
- ・ラルズマートやしまむらなどを建てる。コンビニを増やす。自動写真機を設置する。(女性・70歳以上)
- ・今は、昔とくらべ、町は大変さびれ、活気がない、明るさがない。何十年も前と同じところで合併して、どんどんさびれていく。町の商店街をもっと地域に大きく広げ、北海道以外から企業と人々をよぶ。北檜山地区商業はもう遠い昔…。八雲方面に向かって、函館に行く。若松を新たな経済発展にして、身近に人々を近づける。いろんな発想を考えて、ほとんどは、南に向かって行く楽しみがある。(60歳代)
- ・農・漁業の町と云うが、地場産の野菜、魚など町民にも安く提供。(女性・70歳以上)
- ・買い物不便。農協が復活して！！服や下着も買えるお店が欲しい。(女性・30歳代)

## [観光]

- ・地元の特産品を増やし、町外にアピールして、観光客を呼び寄せ、また来たくなる観光スポットも考えたら良いのでは…(女性・50歳代)
- ・せたな町は、ツーリング、釣り客、フェリー客などが多く訪れます。(女性・30歳代)
- ・町内、区内の住民だけ集っても進歩はない。名所、観光スポットを、また看板があるだけで、何の企画も存在しない。例：①スタンプやスタンプラリーで町内外にPRする。(月1回または年1回)②チョット暮らしやロングステイ→特典をもうける。③海水浴客に対する特典→ゴミの持ちかえりに何かの特典を。④景観をもっとPR。例え

ば、共和の高台からの景観はどこにも負けない。早朝の雲海は最高。また夕陽も同様。要は、町外からの人を呼び込まないと盛りあがりはない。⑤宝くじ売場や競馬の場外発売場があってもよい（静内のように）。パチンコ店よりも、まして。 (男性・60歳代)

- ・役場の方々が、町のために、町外へのPR活動をして下さっている事は、いろいろなかたちで知っていますし、たいへんな事だと思っています。その活動が、無駄とも思いませんし、無駄なものには、したくはありません。ただ、商工業を行っている私からお願いしたい事は、町外へのPRは大事な事だと思っていますが、PRでせたま町や、せたま町で作っている物を知ってもらえる事ができたとしても、ただその事だけで、せたま町に来てくれるのでしょうか？せたま町には、おいしいたべものがたくさんあります。ただ、そのものが、おいしいものと知ってくれた方々が、たとえばカレーを作る時に、わざわざせたま産のいもをさがして買ってくれるのか疑問に思います。新幹線が通ったとはいえ、何人の人が、なにもないせたま町へ来てくれるのでしょうか。せたま町のイベントなどでも、夏の漁火まつり、秋のおまつりなど、来たらみんな楽しくできる事もある気がします。漁火まつりにしても、規模や変わらない内容など書ききれません。町民だけでイベントを行う規模の町ではない“いなか”です。町と町民とが、イベントやPR内容を考えていける場をつくってほしいです。(男性・30歳代)

## (観光資源、観光スポット)

- ・「横滝」等のスポットが閉ざされている。改善してほしい。(男性・18~29歳)
- ・三本杉岩をもっともっと宣伝、PRしたほうが良いと思います。町外から来た人には、とてもすばらしい景色だと思います。町外には無い珍しい岩だと思っています。(女性・70歳以上)
- ・15年後には、北海道新幹線が札幌まで延伸します。途中駅に新八雲駅(仮称)、長万部駅が設置されますが、これを千載一遇のチャンスと捕らえ、せたま町に観光客をどのように呼び込むか、観光資源の開発又は既存の観光資源を最大限有効活用する。交通アクセスの課題解決策として、新幹線新函館北斗~札幌間の開通までに、高規格道路をせたま町まで開通させるため、近隣町と連携し強力に国土交通省に働きかける。(男性・60歳代)
- ・観光するにも、選択肢がない。太田神社やら三本杉岩やらあるけど、年寄りを楽しめるものが少ない。道の駅を強化したり、体験型の観光(自然はいっぱいあるから、気軽に自然体験できるよう今あるものを充実、公園整備とか)をしてもよいかと。(男性・18~29歳)
- ・休日になると、街から人の姿が消える印象です。逆に休日だからこそ、にぎわい、活気ある街づくりが必要ではないかと思っています。そのために、せたま町にぜひ行ってみたい、立ち寄って、おいしいものをゲットしたい、味わってみたい、自然体験したい(山登り、酪農・漁業体験など)と思ってもらえる魅力づくりをしなければと思います。新しく何かを建てるとかではなく、今あるものの有効活用がむしろいいと思う。しっかりした立派な建物、たとえば閉校した学校をそのままにしておくのは、もったいないと思います。(女性・40歳代)
- ・今後の街づくりで新たに行うべきこととして私が思うのは、北海道(せたま町は海あり山あり大自然あり)という地域を生かしたほうが良いと思います。スリーシーズンにかけて、全国から北海道(二輪乗りにとっての聖地)へ旅をしています。毎年何台のバイクがこのせたま町をただただ通過した事でしょうか…？それを今まで何十年も見逃していたと思います。内地の二輪ライダーが北海道に対して求めるものは色々ありますが、人の温もり、自然環境、(ポイ捨てされているゴミがないこと)、安心・安全(熊の心配)に無料でテントを張れるキャンプ場の提供。二輪乗りを歓迎している街の雰囲気づくり(せたま町発行の一路安全祈願フラッグなど)、白別温泉の料金はそのまま、もう少し衛生面をしっかりと整備管理したほうが良いと思います。北檜山温泉、白別温泉、ねとい温泉、ほか公営温泉などなどの一日共通券を発行し(値段は500円くらい)、あっちこっちの温泉に入っていただくことで、たとえば飲み物の売上が上がる、あっちこっちの温泉に行き、今日はもう時間的に遅くなってしまったので、せたま町に泊まるかなどなど、付加の部分で色んな売り上げが上がると思います。町営の道の駅を景色の良い場所に作り、横の土地に芝生を整備し、熊対策を行い無料でテントを張れるキャンプ場を作り、それが道の駅の売り上げにもつながります。長居したくなるような雰囲気になればなるほど、売り上げがあがり、それが口コミになり全国から旅するライダーを呼ぶことになります。もちろん、バイク乗りだけがその口コミを見ているわけではないので、他の観光客を呼ぶことにもなると思います。「二輪乗り歓迎ムード」としては、突然の雨に雨宿りに入ってきたライダーにはタオルを差し出し、屋根付きの駐輪所へバイクを止めてもらえるようにする。施設の中は薪ストーブを設置し、体を温まれるように行う。年配の方が住みやすい街づくりもいいですが、それでは、何十年かすればせたま町は町としては成り立たなくなると思います。若者が職につけて、子育てができる街になるよう、内地からも人が移住したい町になるよう街づくりをしていかないと、消えゆく町にしない為に踏ん張らないとダメだと思います！ここでは書ききれないアピール方法はありますが、方向性としては観光地として存続していく街づくりが良いと思います。(男性・40歳代)
- ・自然環境が豊かで、農林水産業等の体験もできる所があるので、そういう所を有効に活用していければと思います。函館の人と話していても、海は「瀬棚」がいいって聞きます。(女性・50歳代)
- ・せたま町の海は、釣人に「メッカ」として認知されている。この魅力を使い、釣りをした事の無い人に味あわせ、滞在型施設で料理させて食べさせる等の体験型の観光振興は、札幌等の都会人に興味がある人もいると思う。また、この取り組みは子供に対して「食育」にもつながり、スーパーで買う魚とは全く別であるため、勉強になると思う。自分で釣った魚を食べてせたま町に滞在出来れば、充分せたまの魅力伝えることが出来ると思う。(男性・40歳代)
- ・せたま町の自然を売りに、きれいな景色をめぐる場所を確保すれば、大きなイベントや施設は必要ないと思う。交

通が不便だからこそ、守られている環境や山や海を中心に、どこにでもある食物ではなく付加価値のあるもの、無農薬や無添加のものでないと、どこにでもあるのでわざわざ来ない。町全体が自然を大切にしているというようなイメージで、環境・教育・食育を進め、観光、移住の地としての魅力的な場所に変えてほしい。(男性・30歳代)

- ・せたな町は、美しい自然のある街とのイメージがある。自然をアピールした観光開発を進めてはどうかと考える。狩場山の登山施設を充実させる。三本杉海水浴場の施設充実等はどうか？三本杉海水浴場のバリアフリー化等は、新たな観光客の呼び込みに良い試みと感じる。(男性・50歳代)
- ・閉鎖的な印象がせたな町にはあるような気がしたので、もっとオープンな感じの観光をめざしてほしい。今度玉川公園に水仙増えるようですが、桜と水仙が終わった後も楽しめる何かがあればいいですね。冬も何か出来ればいいですね。観光目的として・・・(漁火まつりに、かりゆしが来てくれると嬉しいです)(女性・50歳代)
- ・夕日はとてもきれいです。重要な観光資源だと思います。(男性・18～29歳)
- ・海や山など、キレイな景観があるので、町外の人が来やすいように整備し、もっとアピールすると思う。(女性・18～29歳)
- ・観光では、短い期間のものがある(玉川公園、海)。もう少し長く楽しめる工夫をして欲しい。(女性・50歳代)
- ・観光に力を入れる観点から、景観を損ねる建物(旧浜口水産及びひやま漁協加工場、住人のいない住宅、廃墟など)を撤去・整理する。(男性・60歳代)
- ・太櫓という地域は、町の観光スポットにできるのではないと思う。海があること、景観の美しさがある。大成区へつながるトンネルもでき、途中の道路の改善も合わせて検討したら良いと思う。太櫓へつながる新道路にできた橋に、イルミネーションをつける。何年か前に「鳴き砂」があるとあったが、今1度観光物として検討したらどうかと思う。太櫓に入る道路が変わったが、わかりにくくて慣れない。曲り角に何か植物、木、それとも何か目印になるものが欲しい。(女性・60歳代)
- ・丹羽の玉川公園、愛知の浮島公園、瀬棚の三本杉、岩漁火祭りをアピール。(男性・50歳代)
- ・大成は漁業の町で、漁がないと船も人もいなくなる(他の漁場に行く)。製造業(地場のもの)又、現在ある観光(温泉等)などに力を入れてはどうでしょうか。温泉がなくなるのでは？とか、漁協をしめるなどと聞くと、不安な事ばかりです。アイデアもなくよろしく願います。(女性・70歳以上)
- ・今後、人口増加は無理なので、町外から人を呼び込むことを考える。その為にはグラウンドの整備、宿泊施設を利用する為に合宿の誘致など、どのようにしたら呼び込めるのかを考えては。道東の方では、廃校を利用して宿泊施設を作り、グラウンドを人工芝に張り替え合宿を呼んで成功した例があるようですよ。スポーツ少年団の大会なども行い、とにかく1度町に来てもらうことだと思います。(男性・50歳代)
- ・マリンスポーツをもっと充実させたほうがいい。(男性・18～29歳)
- ・夏の海水浴で、ウニや貝を小額の金で取らせる場所をつくる。(男性・70歳以上)
- ・海のロケーションが見える温泉があればいいと思う。(男性・18～29歳)
- ・海水浴シーズン中、子供達がウニ、アワビ、魚などとふれあえる機会を作ってあげる事により、大人がせたな町に来町しやすくする。あまりにも密漁に対してうさすぎる。場所や時間を決め、子供達が安全に海遊び出来る場所があれば良いと思う。(男性・60歳代)
- ・海水浴場の整備。キャンプ場にたくさん花など植える。料金のみなおし。入村料が高い。小学生は無料でもいいのでは。キャンプ場のトイレを改修してほしい。今はきたない、虫が多い。(男性・60歳代)
- ・宿泊施設の充実。これだけの自然環境をムダにできない。第2の公営施設又は民間企業を招待できないものか。(男性・60歳代)
- ・私は温泉も観光の一環だと思いますが、日帰り入浴(ことに町民の)、温泉ホテルに於ける利用環境が余り好ましくない状況を目にします。自分も他町の温泉ホテルに宿泊した時などは、ゆったりとした入浴気分を味わいたいと願って居ります。経営上の都合などでいい温泉を無くし、温泉ホテルに合併した今、宿泊客に対する町民の“おもてなし”の心を提唱してはいかがでしょうか？(女性・70歳以上)

## (道の駅など)

- ・せっかく農産物があるのに道の駅などもなく、PRの本拠地となる場所が欲しい。(男性・50歳代)
- ・「道の駅」を充実させる。折角、「せたな町」となり、海の幸、山の幸が豊富なのに、町外の人にアピール出来る販売網が無い。「ふれあい市場」は町内の人達は来るが、アピール的には弱い。例えばだが、むかわ町の道の駅「むかわ四季の館」、これがすごく良いと思った。地場の食材を使ったレストラン、温泉、農産物、海産物の販売、そして広い駐車スペースに、車中泊をしながらの車旅行者への配慮(これが一番重要だと思う)。今の時代に合致している。ちなみにここは、車中泊している人の為に、早朝も数時間、温泉を営業する。今一つパツとしない日本海側の道の駅なので、せたな町で何とか出来ないか？大成区にある道の駅を北松山区に移動して…。(男性・50歳代)
- ・北松山区内に道の駅があるといいですね！各区にほしいと思います。新しく作るのではなく、今ある建物を利用すると思うと思います。(男性・50歳代)
- ・大成の道の駅の拡大化・改善はできないものではないでしょうか。全道の道の駅を周りましたが、もっと特産物を置いたり、フードコーナーなどがあるといいなと思います。もしくは、北檜山温泉、わかかけ、玉川公園のどこかに新しい道

の駅を建設するなど。登録の関係で難しいとは思いますが（予算も）。北海道新幹線開通の効果は太平洋側で、沿線から遠いので、バスや近隣の町と連携して観光しやすいような環境を整えてほしい。道外で、もっとせたなの景色や夏場の釣りスポット・BBQ・海水浴場などのPRを、インターネット等を駆使して行ってほしいです。（女性・18～29歳）

- ・道内を旅していると、道の駅に多くの人が集まっている。また、そこがその地方（町）の産物を知ることができる場になっている。道の駅を、北檜山温泉に隣接して作る事ができればいいと思う。「道の駅+温泉」は、非常に魅力的で、集客のポイントになっている事実が道内を見るとよくわかる。道の駅で、町内の産物やものづくりの品物などを訪れた人たちに紹介することもできるし、町民の集まる場としても活用できる。北檜山であれば、瀬棚、大成、今金へのキーステーションになれると思います。（男性・50歳代）
- ・始めから大きな事業を考えるのではなく、小さな事から大きなプロジェクトを展開して行く方が町の財政負担にもならず、成功する率が高いと思う。例えば、わかかけの隣か近くに、かわいい道の駅を作る。ただ売るのではなく、せたなならではの“これは”と思う商品を開発し、芸能人からも評価のある物や、バスが10台以上止まれるくらい場所に美味しい物を、毎日、海鮮なべや、新米おにぎり、野菜を上手に売る。どこでもやっている道の駅ではなく、せたなだけにしかない事を常に考え、今金や大成からも町のアピールを全国展開して行く。TV局やラジオで取り上げられて、他町村からの財政収入を狙い、過疎地でも若い人を町から出さない方法を取ってほしいです。（女性・50歳代）
- ・道の駅は、人口の多いところにおきたいです。町民も観光客も使えるようにしたいですよね。大成では人があつまれませんか！（女性・50歳代）
- ・道の駅を充実させ、道南からも後志からも集客できる魅力的な道の駅を作っていたら観光客は見込める。中途半端なものであると来客は見込めない。（ただでさえ場所が良いわけではない為。）買い物も出来、充実したものができるとありがたいです。（男性・30歳代）
- ・道の駅をめぐるのが好きですが、旅の途中で、軽く、気軽につまめて、安価な軽食（フライドポテトとか、ソフトとか）があり、清潔なトイレがあり、尚かつ必ず、産直があるとつい寄って楽しめます。特に桧山北部にないので、温泉ホテルが道の駅ならいいのになとも思っています。ホテル横に、夏なら子どもがちょっと水遊びできるとか、少し遊べる所があれば、もっといいのになと思います。（女性・50歳代）
- ・道の駅をもっと人が集まれる場所にすると良い。（女性・30歳代）
- ・道の駅を分かりやすいようにすべき。（他町の人は、せたな町の道の駅を知らない人が多いです。）PRが足りないのでは？厚沢部町の道の駅は、いつ通っても人がたくさんいます。私も寄るのが楽しみです。（女性・50歳代）
- ・道の駅があると観光客が増えるのでは？せたな町へ立ち寄る機会ができるので、北檜山にあるといい。（北檜山、丹羽）（女性・18～29歳）

#### （グルメ、イベント、ツアー）

- ・B-1グランプリみたいな、ご当地グルメイベントとかやってほしい。（女性・18～29歳）
- ・ご当地グルメがパツとしない。てゆーかわからない。（男性・18～29歳）
- ・世界で一番長いポークマンフランクを作って、ギネスに挑戦してほしい。（不明）
- ・漁火まつりに、若い世代が知っている人を呼ぶ。例えば、かりゆし58とか…。（女性・18～29歳）
- ・こまこましたことばかりではなく、大きなイベント等やって、あちこちから集まってくるような事をすれば良いと思います。（女性・40歳代）
- ・せたなライドはすごく良いイベントだから、町からきちんと支援すべき。（女性・18～29歳）
- ・著名人をイベントに呼ぶ。ゆるキャラ「せたなちゃん」を町外のイベントに参加させる。大成区太田山のグッツを作り、観光客に買ってもらう（お守り、御札のキーホルダーなど）。太田山の階段の整備・維持の為の入場料などのお金を観光客に払ってもらう。観光客が来て、お金を入れてくれる（収入）イベントを作る（人が来ても収入がなければ町は廃れる）。（女性・50歳代）
- ・函館、札幌、東京でも、通行止めしてロードバイクレース、マラソンができるくらいだから、マラソンをやれば人は集まると思う。それと、祭りなどの日程を同じにするなど。でも、それを手伝いたいとは思わない。（不明）
- ・毎年行うイベントの他に、新たに何かを考えるべき。（せたな町・今金町の2町で大きなイベントを行う）（男性・30歳代）
- ・毎年各市町村で行っているロックフェスを行い、町外から人を集めて町をPRするとともに、来町してくれた人々に町をまわってもらう。知ってもらう。※莫大な経費はかかると思うが、それ以上の経済効果は必ずある。（男性・30歳代）
- ・毎年行事をやる様に決めて、お客さんが楽しみにする様なイベントを続ける事を希望します。（男性・60歳代）
- ・祭り後の、秋と冬にイベントがあるといいのかなと感じています。（交通の便などが関わって来るとは思いますが…）（男性・30歳代）
- ・イベントが各区ごとで盛り上がっているイメージがある。（女性・30歳代）
- ・イベンにト参加したいが、いつも農忙期で参加した事がない。（女性・30歳代）

- ・区ごとでもいいので、子供から年寄りまで楽しめるイベント or 行事をやってほしい。(昔話、キャンドルナイト、もちつき、田植え体験など) (女性・18~29 歳)
- ・町民参加が秋祭り、温泉祭り？くらいしか行事が思いつかない…。そんなに沢山やることもないと思うが、町民が丸になったり、せたな町、地元大好きとなるような催し物があってもいいかも…？！ (女性・18~29 歳)
- ・土、日に、イベントが重なる事は多々ありますが、私達が主催イベントを役場におさえられた事があります。同じ町民がやるのだから、権力や金もちに関係なく、役場は、うまく両方イベントできるようにしてほしいものですね。役場に友達を作るのがいいのかしらね？笑 (女性・50 歳代)
- ・どこの町でも夏祭りをやっているのだから、北松山町でもやってほしい。(会場で普段会えない人に逢えるのが楽しみなので…都会から帰って来た人。) (女性・60 歳代)
- ・夏に行なわれている漁火祭、年々すたれて行く気がします。ゲストさんも、若い子達でもわかり、一緒に盛り上げられる方をよぶとか、ステージイベントも2日目も行きたくなるようなイベントを開くようにして行ったほうがいいのではないかと思います。また、ビンゴの景品も、カードにけっこうなお金を出しているのに、しっそで、年々淋しさを感じます。昔みたいに、参加している人達がワクワクするような物を出してあげたらいいと思います。最近のせたな町は淋しさを感じます。季節、休日をもう少し活用して町民が参加したいと思うようなイベントなどをもう少し取り入れてもいいのではないかと思います。(女性・40 歳代)
- ・町のイベント等は、日曜日にやってほしい。日曜日しか休みの無い人は、参加が大変です。みんなが参加出来るのを、期待します。(男性・60 歳代)
- ・祭りの時は、お笑い芸人とかも呼んだほうがいい。(男性・18~29 歳)
- ・夏まつりカラオケ大会やのど自慢大会を望む。勇者達の綱引き大会に御輿かつぎ大会を望む。せたな町の農民運動会をもう一度再び期待をする。(男性・50 歳代)
- ・色々な行事があるが、3区で同じようなことをしているように思います。1つの開催にして、その分、新たな行事を企画することも活性化につながると思う。(女性・40 歳代)
- ・真駒内神社例大祭の太鼓合戦での紙吹雪の復活。町外の方から、紙吹雪がなくなってからおもしろさがなくなったとよく言われる。(男性・30 歳代)
- ・町内の有名なスポットを巡るハイヤーやバスのツアーがあれば良いと思う。(定額で) (夕日絶景スポットや奇岩巡りとか、菓子店巡りとか) (女性・30 歳代)
- ・道内外の大学等と連携して、短期間でも若者を町内に招く機会を増やせたら、にぎやかになるのではないかと思います。せっかく農林水産業がさかんな町なので、うまく活用できないものかなーと思っています。また、サマー・ウインタースポーツにも向いた地域ですので、その辺りも混えて考えると楽しいイベントが生まれ出せると思います。(女性・18~29 歳)
- ・若い世代の方は、あまりせたな町のことを知らなく、道内の大きな都市に住んでいる人で、せたな町が道内のどこにあるのか知らない人が多くいると思います。せたな町は日本海側に所在し、主要道路の国道5号に所在する八雲町・長万部町は、函館や札幌に行く道中、立ち寄ることが出来る利点から、せたな町より集客が多く思います。そういった町と連携し、民間の旅行代理店を利用したバスツアーなどで、せたな町を含めた近隣の町による宿泊ツアープランを多く設けてみてはどうか。現在すでにそういった活動は行っていると思うが、機会を増やして客を増やすことが出来れば、よりせたな町の知名度があがり、観光客をより増やして町の活性化に繋がるものと考えます。(男性・30 歳代)
- ・私はせたな町で生まれ育ち、外へ出た事はありません。…が、まだまだ地域で知らない事が沢山あります。町民対象のいろいろな参加型の体験があればと思います。(農業、漁業、等)。地元のすばらしさを知ってこそ、他の土地から来た方へのキャンペーンもできると思います。“私の住んでいるまちには、こんなすてきな場所があります！こんな美しいものがあります！！”と伝える事ができるなら、まちもひと元気になるのでは、と思います。行政の方のがんばりに期待しております！！ (女性・30 歳代)

## (PR)

- ・以前のせたな町を広めたポスターの様に、インパクトのある新たな宣伝活動を考え、展開する。(男性・60 歳代)
- ・観光客には、もっとわかりやすく良い所をアピールしたり、観光客の参加型イベントを作るなどしてアピールしていったらいいと思います。北檜山の魅力をもっとたくさんの人に知ってもらえると良いですね！！ (女性・18~29 歳)
- ・観光ポスターなど特に思うのですが、いろいろな取り組みについて、沢山の人の考えを取り入れるべき。(特に中・高生) (男性・18~29 歳)
- ・せたな町として新たな観光を推進するため、萌えキャラなどをアイデアに加えた方が活性化するのではないかと思います。北海道では、北乃カムイフランチエスカなどご当地アイドルとして活躍しているので、せたな町も取り入れてみてはどうでしょうか。ご当地萌えキャラは全国的な広がりも見せており、観光としても十分に成り立つと思います。(男性・40 歳代)
- ・せたな町は、大変美しく魅力ある所です。ただし、その良さを十分PRできていない所もあるように感じます。来た人に、入りやすいお店の紹介など(営業中なのか？わからない)、少しの工夫が必要かもしれません。おまつ

りも、大変良いのですが、勝手がわからないと、どこに行けば何を見られるのか、全くわかりません。すくなくとも、何時にどこに行けば、太鼓合戦が見られるのか？ぐらいは、観光客向けにPRした方が良いのではと思います。（移住して来た者にも、良くわかりませんでした。何かあるのかも！）（女性・40歳代）

- ・せたな町の自然の美しさや人の優しさを、他の観光資源（食など）とともに、これからも大切にしながら、もっとPRしていけないかと思えます。北海道新幹線が長万部まで延伸される前に、今金・せたな両町をセットにして、観光PRをしていくことが大切だと思います。そのためにも、交通網の整備が欠かせません。（男性・50歳代）
- ・せたな町に観光客が増えるように、芸能人に講演会やPRをしてもらいたいです。土曜日午前11時に放送されているUHBのEXILETRIBE男旅では、各市町村にEXILEメンバーが訪れ、町のキャラクターと一緒に盛り上げたり、特産品などを紹介しPRしてくれます。せたな町にEXILEメンバーが来れば、若い観光客などもたくさん増えます。ぜひ、応募してください！！（女性・18～29歳）
- ・せたな町の花産物や農産物にセターナちゃんを使用する。観光客さんが休ケイする所（あるの？）にセターナちゃんの顔ハメ作って写真サツエイスポットにする。せたな町が一瞬でもTVに出る時、事前に町内報送で宣伝する（スリコミで町内愛upするかも）。道の駅作り直して観光の拠点にする。（女性・18～29歳）
- ・町民一人ひとりが観光客をもてなしたり、案内する活動を増やしてみる。（女性・30歳代）
- ・私のような転勤族や町外から来る観光客には、町の情報が少なすぎる。ホームページもお店や観光スポットの情報も少ないし、パンフレットなどもあまりない。フリーペーパーとまではいかないが、親しみのもてる情報グッズ、アイテムが欲しい。（女性・30歳代）

### [企業誘致]

- ・1番の問題点は、地元出身の若い人がいないことだと思う。なぜ？働き口が少ない。男女の出会いも少ない。地元が好きでも町外に出る人が多いため…。どうする？やはり、外部からの企業を誘致することが手っ取り早いのでは？（女性・18～29歳）
- ・新たに行くべきこと→企業誘致（女性・50歳代）
- ・この町の10年後、20年後の明るい未来が全く想像できない。見えるのは年寄りしかいない、シャッターの閉まった暗い個人商店があるだけの暗い街並み。町民だけの力には限界があるので、大企業にでも参入してもらわないと、もう救い様がない町でしょう。（女性・30歳代）
- ・町内だけの企画では、今後の町づくりに反映されない。つまり、町外からの企業あるいは行政関係機関を取り入れることにより、より一層の町づくりが出来る。（男性・50歳代）
- ・働く場所が少なく、かつ限られていることが、町の活気に影響していると思う。企業の工場などを誘致して、工場のラインなどで雇用が確保されると人も集まり、町の発展につながると思う。（女性・40歳代）
- ・大学の誘致、企業誘致。（男性・60歳代）

### [働く場、雇用]

- ・“若者を呼び込む”という話を聞いた事があるが、何処をどう見たら若者が来るのか…。まず仕事がない。あってもだいたいが決まった職種。選べない。もう少し幅広くあってほしいものです。（女性・30歳代）
- ・安定した雇用の確保、創出。（男性・50歳代）
- ・高校卒業後、職業がないため若い男女が離れてしまい、若い者がいなくなり老人ばかりの町となりそうです。人口が減り、若い者が減って、未婚の男女の結婚の出あいがなくさみしい町ですね！働く所をふやしてほしい。（女性・40歳代）
- ・産業がない町内で、若い人が働く場所がなくては人口減少に歯止めがかからない。若い人が働く事業所（産業）が少ない。（男性・60歳代）
- ・残念ながら、収入源が安定して得られなければ、生活することも、生きる希望を見出すこともできません。ハローワークの求人は、いつも出している職場環境に問題のある企業の求人や、高度な資格習得者の求人ばかりで、自分という存在が不要と言われてるようにしか感じられません。この現在の雇用、労働環境では、間違いなく人口減少を食い止めることはできないでしょう。（男性・30歳代）
- ・仕事がある町にする。（男性・40歳代）
- ・仕事があれば人は増えます。仕事場の確保だと思います。（女性・50歳代）
- ・仕事があれば若い人もこの町で暮らせるけれど、仕事がないし、将来的に不安になる町に、自分の子供にこの町で暮らしてとは言えません。子供達は、ちがう町へ行き、年寄りだけが残る。これは、しかたない事なのでしょうか？中年の自分も、先の見えない仕事をしているより、都会へ行った方が良いかと考えてしまう。大成の小学校、中学校の人数をみていると、将来が見えていく気がします。（不明）
- ・地元で安定した仕事に就きたい。（女性・30歳代）
- ・若年者就労改革。（男性・30歳代）
- ・将来、子供達がせたな町で働きたいと思えるような町にしてほしい。今のせたな町は仕事がなく、町外に出ないと就職出来ない状況。（女性・50歳代）

- ・せたな町自体の特産品等を生かした地場産業を確立し、青年層の就職口を増やす事により、人口の減少も多少緩和できるのではないかと考えます。地方に出て行く町民が、又せたな町に住もうと思える、そんなまちづくりが大切。(男性・30歳代)
- ・町内で働ける場所を作ってもらいたいです。(女性・60歳代)
- ・働くことのできる企業を増やす。(男性・18~29歳)
- ・働くところがない…という理由で、町外から帰ってきたくても来られない人もいますので、働き口は必要かなと思います。(女性・30歳代)
- ・働く場所を作してほしい。(女性・70歳以上)
- ・働く場所を増やして欲しい。若者の働く場所がない。(男性・60歳代)
- ・働ける場所を、もっとふやしてほしい。(男性・60歳代)
- ・もうすこし私たちにも働ける所がほしいです。(女性・60歳代)
- ・若い人が働く場所の確保。(女性・40歳代)
- ・若い人の働く場所がなく、どんどん都会の方に出て行く。(一時仕事があっても、会社等が撤退し若い人の次の仕事がない。)(女性・50歳代)
- ・若者が地元で働ける仕事…。大成町は年寄りが多いので、町づくりといってもむずかしいと思います。若い人が落着いて出来る仕事(事業)を考えてほしいと思います。(女性・70歳以上)
- ・若者の仕事先確保。(女性・50歳代)

### [コミュニティ]

- ・高齢化が進み、町内会での葬儀手伝いなどが、負担になっている声が多いです…。(どうしようもないですね…)(女性・18~29歳)
- ・色々あるが、昔と違って近所付き合いがうすれ、となり同士でも挨拶がない変な都会流になっている。(不明)
- ・北檜山に引っ越してきて、もうすぐ2年になります。未だに思うのが、この町は観光客や転勤族には優しくない町だと思います…。今はパートをさせて頂いているので知り合いが増え、楽しい日々を送っていますが、パートをする前は、地域のイベント行事などの情報を全く入手する事ができず、なかなか町にとけこむ事ができませんでした。私のように感じている転勤族や観光客もいると思いますので、もっとイベントのアピールや告知、地域の人達のコミュニケーションの場などを作ると、住みやすい町になると思います。(女性・18~29歳)
- ・他の市町村からせたな町へ結婚を機に来た人たちは、家族以外の知り合いを作る機会が少なく、家にいることが多いので、同じ立場の方との交流の場などがあると良いと思う。(前にそう言っていた人がいたので。)働いたり子どもがいると増えるが、来たばかりは知り合いが少なく、相談相手もないので。(女性・40歳代)
- ・各地区の開拓の歴史や町村合併のメリット・デメリットを整合し、人材育成や交流の輪の拡大が必要。(男性・70歳以上)

### [ボランティア]

- ・各種ボランティア、催物等、ご活躍の方々には心から感謝致します。しかしながら、それ以外の人達には、普段の生活などで仲間外れのような態度をとられる事があります。せつかく出した足や気持を引っ込めてしまうことが多々。温かい心を、よろしくお願ひ致します。(女性・70歳以上)

### [町民参加]

- ・例えば「町づくり」、一般町民に参加してもらう形にはなっているが、いつも特定の人が…という感じがする。「役場で声を掛けやすい人」、町職員OBなどばかりそろえても、建設的意見など出るはずもない。頭数合わせれば良しではなく、「耳の痛い意見も欲しい」と考えれば、もう少し幅広い人選ができるはず。(男性・60歳代)
- ・中高生のまちづくりの参加。まちに愛着を持ち、定住につながる。(男性・30歳代)
- ・町外からの移住者(転勤も含む)は、他の市町村とせたな町を比較することにより、良い部分や悪い部分について気がつきやすい。そういう人たちの意見を大いに活用すべきである。(男性・50歳代)
- ・町内の若者が相互に集まって意見交換できる場や機会があってもいいと思う。他業種や男女が一緒にあつまる事ができて、町に提言するとかできれば、地域の活性化や婚活にもつながり、地域おこしの土壌が醸成されると考える。(男性・50歳代)
- ・町民1人でも多くまちづくりに関心を持ってくれる事が、重要だと思います。(男性・40歳代)
- ・町民が、町外でたくさんお金を使用している。このような現状では、町が潤うとは思えないです。だからと言って、町内だけで満足して生活している人は少ないと思います。町外の人達がせたな町に移り住み、発展の為に色々なアイデアや提案を頂く事も大切なのかもしれませんが、一生をせたな町で暮らそうとしている町民1人1人の意識を高める事も大切だと思います。(女性・30歳代)
- ・町民も町政に頼るだけではなく、自分達でやれることも工夫してみても？人口減にともない町職員も減っているの



ですから。(男性・50歳代)

- ・老若男女がそれぞれに楽しみや発見ができる場所やイベントを、様々な視点や分野からさらに増やし、また、積極的にそのような町づくりに参加できない人の意見や意向を組み取れる受容の体制の気持でいられることが求められると思います。いずれにしても、発信する側の連携と、そこから町民への連携とを繋げることで、受け取る町民も意欲的に町づくりに参加していきたいという気持が生まれるのかもしれないと思いました。(女性・30歳代)
- ・イベントでも実行委員以外の人も計画に参加したり、新しい企画を立てたりして手伝いの活動をして、町民の交流を深めていく。(女性・30歳代)

## [広報、情報提供]

- ・新たに住民になった人に、町の施設がどこにあってどう利用するのか、店の紹介とか、町のことを知ることができるハンドブックみたいなものがあればいい。(女性・40歳代)
- ・いつも思いますが、毎日流れる放送の伝え方の工夫をお願いしたいです。端的に内容を繰り返して放送していただけると、聞きもらすことがないと思います。主婦は特に家事をしながら聞くので、イベント等の聞きもらしが多いと思います。(女性・30歳代)
- ・子どもたちの習い事が、今、町内でどのようなものがあるのかいまいちわからないので、一覧みたいのがあるといいなと感じることがあります。(女性・30歳代)
- ・この町に住んでいて、「こんなイベント・祭り・直売所があるのか!」と知らない事がまだまだ多いです。丹羽の豆腐屋さん、いつやっていてどうやって買うの?とか、いつの間に牛肉の予約販売やっていたの?とか。せたな町の公式サイトで、町内のマイナーなイベントも掲示してくれるブログやフェイスブックやってくれれば嬉しいです。セターナちゃんと巡るせたな町、的な、ふわっと可愛い内容でせたな町全域を紹介して回るとか。町民への宣伝にもなるし、活気付くんじゃないかなーと思います。(寿団地で、焼鳥販売したりお祭りしていたの気付かなかったなー、マイナーだなー。)(女性・18~29歳)
- ・地元のことなのに分からないことがある。(女性・30歳代)
- ・せっかくある、HPの情報が古い!イベントも、3大祭り以外は終わったあとにHPに載るしまつ。行事カレンダーも瀬棚区ばかり??町外から人を呼びたいのであれば、もっとHPに力を入れるべき。町民ですら知らない状態。(男性・40歳代)
- ・外から来た人間への地元情報が少ない。広報誌での、(観光協会のチラシ?)イベント案内が遅すぎる。イベントが終わってから、手元にチラシが来た。(男性・18~29歳)
- ・パソコンやスマホをもたない人への防災や町のサービス情報が、もう少しわしくあった方がよいと思います。(女性・40歳代)
- ・フェイスブックや町内の回覧板でのイベントの告知が遅い。行こうと思ったら翌日だったり、終わっていたりする。(女性・30歳代)
- ・ホームページのカレンダーが瀬棚区メインに掲載されているので、他の区の予定が分かるようにしてほしい。(女性・30歳代)
- ・まだまだ町民の一体感が感じられない(「薄れてきている」のが正しい表現)ので、各区の情報共有化及び相互理解のため、広報せたなの「各区行事予定表」を「せたな町行事予定表」に変更したり、広報せたなの無線放送も同様な取り扱いが出来ないか検討をお願いします。(男性・60歳代)
- ・町外で生まれ育ったので、町のまつり、イベントなどについて、くわしく知らせてほしい。例えば、まつりの回礼と言う制度を知らず、当日の朝、困った。(女性・30歳代)

## [役場の窓口]

- ・役場、総合支所ともに、窓口対応(挨拶、用件の処理等)が悪い。(男性・70歳以上)
- ・役場の方、対応で笑顔が多くてすてきでした。(女性・30歳代)
- ・役場は、行政はサービスなのだという意識を持ってほしい。少なからず意識の低い人がいる。対応が良なくてガッカリする。(男性・30歳代)
- ・町職員の能力向上、スキルアップの徹底。この町の出身者が多いせいか、言葉遣いがタメ口であり、対応態度が悪い。能力に基だ劣る者も多く見受けられる。(男性・60歳代)
- ・役場へ行った際、戸籍係の窓口の男性の方の対応が無愛想で、もうこの町に住みたくないと思いました。役場全体の雰囲気も悪く、挨拶しても返事がなく最悪でした。まず先に、役場職員の方の意識をかえなければ、アンケートする意味もないと思いました。(女性・18~29歳)

## [行財政運営]

- ・(役場に)要望などをすると、金がない、出来ないとの返事のみ。職員としてやる気、知恵を出し、町民のため、地域のために働いている様子が見えないのが残念です。職員は、上司の顔色ばかりを伺っているように見えます。正しいと思ったことは堂々といいあい、お互い意見交換をして、よりよい町づくりをしていただきたい。(男性・70歳以上)

- ・3町合併以前に活発だった各町（現〔区〕）の文化、体育面の活動や、農水産、特に水産養殖、製造関係が見えなくなっている。今後のまちづくりに新しさを追求するのではなく、過去のアイデアを見つめ直して、それぞれの担当職員が責任を負うと云うのではなく、重点的な行政のサービス指導が必要ではないかと思ひます。何れにしても、担当職員が庁舎内あるいは各分区に配置変えされても、続けて相談、アドバイスできるようなづくりを願ひたいものです。（男性・70歳以上）
- ・新しい課での実績作りだけのアンケートにならないか不安。アンケートを取っただけで、反映されない町だと思ひている。お役所仕事のなあなあで済ますせたな町のままなのか、アンケートを生かすのか、信用できる町になるのか…。今の町はとて暮らしくくて、町民の意見は「聞くだけ」でしかない。（女性・18～29歳）
- ・大成地区が合理化の対象となっている現状を、地区住民はガマンと諦めの気持ちで町政を見ている。（切捨ての論理！！）この現状をしっかりと役場はとらえて欲しい。（男性・60歳代）
- ・合併の町として、合併10年の機会に合併協定等の内容を十分に精査し、その主旨に戻って考えてほしい。特に①総合支所方式が→本庁方式化し、本庁外の瀬棚区、大成区が弱体化している②保健、医療、福祉、介護行政の連携が機能していない。特に、中学校区に1つとされている地域包括支援センターが支所で機能していない。（男性・70歳以上）
- ・近隣町と比べると、せたな町は補助金を活用した事業が少ないと思ひます。どんどん活用し、町民雇用や経済の活性化につなげるべきと思ひます。合併していらい、今金、乙部、厚沢部町は、経済力もあるかもしれませんが、色々事業展開していますね。せたな町も頑張りましょう。～町民みんなで企画行動のみ！（男性・40歳代）
- ・今後の“まちづくり”で最も重要な事は、せたな町の未来像を明確にすることです。何を基盤とし、どのようなまちにするのが明確でなければ、行動の起こしようがありません。そのためには、ロジックツリーを作成することです。（別紙ご参照）更に各課題・目標を統括する指揮者（指導者）が必要と考へます。（男性・50歳代）
- ・財源が少なくなる一方で、町の運営がまかなえるように、今ある産業の更なる充実と新たな産業に力を入れ、自立可能な財源のある町にしなければ何もできないと思ひます。結局、せたなは一次産業と福祉（高齢者を補助する）産業が要になるのではないかと思ひます。（女性・40歳代）
- ・事業予算は年度当初に決まっていますと思ひます。予算のともなう事については、当初に半分、終了後1ヶ月位いで全額支払をした方が良くと思ひます。（男性・60歳代）
- ・支所へ行っても、本庁へ電話して聞いたりしている職員の対応を見ていると、支所は必要ない様に思ふ。（女性・60歳代）
- ・弱者にやさしい考へが中心になると、衰退を招く、発展しないと聞きます。補助金等を手厚くすることが、すごいやすい町になるための一番の方法と思わない。元気になり、できるだけ長生きしてもらいたいと思ふから。シニアの方も自分で努力する部分がなければ元気になろうと思わない。逆効果現象（補助金等…）（女性・60歳代）
- ・税金が高い。町民がいての役場ですよ。（男性・60歳代）
- ・せたな町のみでは限界がある（アイデア、お金、時間）。そのためには強いリーダーが必要+活発な町政①反対意見はもちろんある：商店街バランスが崩れる、地元愛が強い人は特に障壁に？②行動実行力の強さ：人口がどんどん減っている状態で行えるのか？やるからには早急にやるべきと思ふ。（女性・18～29歳）
- ・町財政改革。（男性・30歳代）
- ・町政のマンネリ化をなくす。町長・町議の任期を決める。（男性・50歳代）
- ・町長さんの顔が余り見えない。町民には少し淋しいし、もう少しがんばって欲しい。優しいだけではダメですよ！！（女性・60歳代）
- ・町民がやる気を出さないと、何を計画しても無意味です。まずは、そのやる気を、せたな町という町の仕事をしている人達（職員）にみせてもらいたいです。本当に町の事を考へているようには見えないです。困っている人はたくさんいます。直接言う人は少ないと思ひますが、役場の評判とても悪いです。そんな人達に誰も協力はしないと聞きます。（女性・30歳代）
- ・当町は、3町合併後、依然として財政難が続いていますが、町民の方々から提案された名案につきましては、財政難を理由に一蹴することなく、創意工夫しながら、皆さんと協議して実現して頂くことを願っております。今後は、人口の減少、そして高齢者の増で、町としても大変ですが、町民の皆さん、町職員の皆さん、議会議員の皆さん、当町が住みよい町になりますように、真剣に取り組んで行かれるよう望みます。（男性・70歳以上）
- ・何かひとつに特化した町（例えば有機農業とか、子育て世代に優しい取り組みが多いとか、福祉が充実しているとか…）になったらなあと思ひます。町が増えて欲しい人、世代に注目し、あれもこれもでなく、せたなといえばこういう魅力の町！とわかりやすく。それで成功している他の自治体も少なくないのでは？（女性・30歳代）
- ・文化的、スポーツ的事業は、行政はお金とノウハウを中心に援助し、人員（町の）を効率的に活用できるようにする。（女性・60歳代）
- ・毎年170～200人、人口減となっていることから、5年、10年後を考へたまちづくりを考へるのが大切だと思ひます。身の丈に合ったまちづくりをしなくては、町の未来は無いと思ひます。（男性・50歳代）
- ・町職員の人数を減らす事ができるなら、その分、町のお金が増えて、力を入れたい所に費用を使うか、町のお金の貯金ができるのでは？（女性・30歳代）
- ・みんな一生懸命やっけていて、相当疲れているのに、満足感が少ないという状況をなんとかしてほしい。「うちの町、

こんなに事業をやっている、こんなにいいものがあるいい町ですよ。頑張っていますよ。」的なアピールを総合的にすればいいのと思う。誉めるって大事だと思う。(女性・40歳代)

- ・役場職員はもっと柔軟な考えを持って欲しいし、それを許す上司であって欲しい。(男性・18~29歳)
- ・金が無ければ知恵を出せ、汗を流せよ。町民に理解してもらって、皆なで頑張ればと思う。(60歳代)
- ・現計画は、合併間もない新町「せたな町」10年間の新しいまちづくりの基本計画書で、手探り状態で各区の均衡ある発展と融合を主に進められてきたのだと思います。今般の第2次総合計画については、合併後10年経過し、「せたな町」の将来像、まちづくりを、腰を据えて計画・実行しなければならない本当の正念場を向えます。従って、計画策定にあたり、現計画の成果及び目標達成状況に関してしっかりと分析する必要があると考えます。(男性・60歳代)

### [広聴、町民の意向把握]

- ・新たに行う事に関する情報交換の場をふやすべきだと思います。このようなアンケートもとても大事な事で、皆さんの意見を知る事が第一歩ではないでしょうか。(男性・30歳代)
- ・アンケートのみではなく、もっと町民の中に役場の方々が入り話をきく方が、より多くの町民の思いをくめるのではないかと思います。町政に参加できるよう、若い方々にも接し、つながりを持ってほしいと思います。(女性・40歳代)
- ・70才以上の人に今後の町づくりがどうあるべきかと問われても、過去の反省より出てこない。多くの若い人にアンケートすべきと思うが？(男性・70歳以上)
- ・今、せたな町で何をしようとしているか、また将来展望はどのようなものか…。町民のほとんどは知りません、又、何を見たらを分るのかも…。分かりません。色々な団体に対してそれらを説明する機会等があれば参加してみたいと思います、例えば、町内会の婦人部とか、農協女性部とか。前向きな人は沢山いると思います、女性の力と意見は貴重だと思いますよ。頭の固いオッサンばかり集まった〇会よりも、もっとザン新な意見が聞けると思います、そこから何かヒントが見えて来るかも知れません。(女性・60歳代)
- ・こういうアンケートの協力が来ないと、言う機会がありませんでした。直接行って言おうとまでは思っていないので。こういうアンケートは良いと思いました。(女性・30歳代)
- ・ただ単に事業としてお金を出すのではなく、役場と町民の意思疎通がもっと密に。子育て支援もお金の問題ではないと、自分がその世代ながらに感じています。新しい事業(風車建設など)を取り入れる時、事前にもっとしっかりと説明があっても…。説明ではなく、町民の意見を聞き取る機会があってもと思います。役場側の意志があって、それにもっていくべく説明する…という感じを受けてなりません。(女性・30歳代)
- ・町民の意見を聞き、反映させるべきだと思います。(女性・18~29歳)
- ・まちづくりの会合に出席することができない人もいるので、このようなアンケートや書面などで意見を出す方法もあるのではないのでしょうか？(女性・60歳代)
- ・有識者などという同じ人間の集まりだけでは、町の将来は無い。色々な階層、年齢層の人間の意見を大切にしたい。(男性・60歳代)
- ・若者の意見も聞く機会を設ける。(女性・30歳代)
- ・町議会議員の方は、顔を見るのは選挙の時だけで、もう少し町民の声を聞く場所を持ったり、地区懇談会に顔を出し、町民の声を聞くべきです。(女性・50歳代)

### [若者定住]

- ・今はどこの町も高齢化の時代となっておりますが、それでは町は良くなって行かないと思います。これからは、若い人達に頑張っていただかないとならないと思います。それには、いかに若い人達が住み良い町として作り上げて、お子さんをたくさん産んでもらい、何と言っても町の人口が増えないと、どんな商売もなり立って行きません。今のままでは、この町も先が不安でいっぱいです。みんなで力を合わせて頑張りましょう。(女性・70歳以上)
- ・今後のまちづくりを考えますと、若者が定着する事が出来ない町で、増々高齢化が進んで、いずれ町が崩壊の状況しか浮んで参りません。商店街もサビたシャッターを閉じたまま。歳老いて我が身の処理も出来ず、この世を去っていかねばならない状況が今、そこにあると思います。早急に考えなければならぬのではと考えております。若者を育てる、若者を定着させる事の出来る状況を(若者の仕事場の確保)考えるべきです。町の農業を支えている中心的年代が私達70才代とうかがいますと、ビックリです。もう私達は現状維持が精一杯なので、今町の事を考え、実施出来る年代の方々にがんばって頂く様お願い致しますしかありません。町の発展を心から念じております。(男性・70歳以上)
- ・町内への移住を進めるには多額の費用がかかりすぎるので、せたな町で産まれた子たちが成人しても、町内に住みつけられるような方向をさぐるべき。(男性・18~29歳)
- ・働ける場所が増えることを考えてほしい。特に若者が帰って来られる町に！(女性・50歳代)
- ・町の活性化に必要な事は、人口が増加すること。しかし、現在の状況では少しずつ減少していく一方です。まずは、若者が定住できるように雇用機会の充実、また、新生活を始めるにあたっての支援などを考えたらよいと思います。そのためにも、今ある1次産業の6次産業化を促進し、その為の加工場等を設置するなど具体的に動きがないと、

なかなか改善にはむすびつかないと考えます。(男性・30歳代)

- ・町を創るのは人です。人口が減少し続ける要因は、若者が生活する環境が悪いからである。教育・生活の環境を良くし、若者が居住出来る様にしていかなければ、この町の未来は真っ暗です。(男性・40歳代)
- ・若い人が働ける場所がない。とにかく若い人達が地元に残りたくなるような町づくりが大事かと思う。(女性・50歳代)

#### [人口減少対策]

- ・10年後、限界集落になります。どうかしてください。(男性・60歳代)
- ・今現在、北檜山・瀬棚・大成と三町合わせて65才以上の方が40%以上とされています。このままでは、街自体の継続もままならない状態です。そして、毎年人口が200人ほど減り続けている状態です。なにか早く手を打たないといけない時期にきております。町職の人々、役場関係の人々も考えていると思いますが、早く手を打って下さい。このままではセタナ町もなくなります。(60歳代)
- ・過疎化をとめるために、町外からの移住者を募ると共に、若者を町外に出さないように就労場所をつくる。(仕事の選択肢を増やす)(男性・30歳代)
- ・基本的に、人が町内に留まる様な魅力が無いので全体的にサビれている。その雰囲気は伝わり、定住したいと思わせる事が出来ない。本来ならばそうなる前に町づくりを見直さなければならぬが、手遅れ感がある。深く沈んでからの上昇は並大抵ではない。高校以下の子供達に、定住したいか聞いてみてほしい。観光で人を増やせたとしても、土台である町民や、移住してきてくれた他地域、他県民の人々の力はかならず必要となる時があるので、派手さは無くとも「住みたい」と思う様な気持ちの動きを奮い起す活動、町政を望みます。(男性・30歳代)
- ・就職率の悪さが目立つ！！もっと若者や主婦の人達でも働きやすい環境づくりをしてほしい。資格を持っていてもなんの役にもたたない…。若者が町から出て行くのが当たり前になっている今(その中の一人)。どの様に今居る人達にせつな町(地元)に住んで貰えるかを今一番に重視し、働きやすい、住やすい環境が大切だと思う。今、若者よりも高齢者が目立ち、将来的に町から“村”に変わってしまうのではと考えてしまう。そのためにどうすべきか…。今後の事を視野に、色んな意味で考えて行くべき！！高齢者が多いなか、税金も増えそれが私達の負担にもなっているのでは…。とにかくせつな町と云う町は、住みやすい町・働きやすい町・子育てしやすい町を重点に考えて行けば移住などが増え、地元に住んでも良いと考える若い人達も増えるのではと思う。全てに対しての環境づくりが一番大切だと思う。(女性・40歳代)
- ・少子化対策、子育て、就職先があれば、町も活性化し、人口も増えて、働く所も確保でき、町づくりの第一歩になるのでは？(女性・60歳代)
- ・少子化に対する具体的な政策が必要。(男性・50歳代)
- ・人口が増えるようなまちづくり。仕事がある、住む所がある、ちゃんとした病院がある、若い人にとって魅力がある…(男性・30歳代)
- ・人口の減少、高齢社会が一番の問題だと思います。子供の数や、若者が働ける環境が圧倒的に足りていない様に感じます。(男性・18~29歳)
- ・人口の減少に歯止めをかけるのは難しいと思いますが、子どもを生んで育てやすい環境、若い人が仕事をしに戻ってこられる環境が少しでも整って行ってくればと思います。(女性・50歳代)
- ・人口の増加。(男性・30歳代)
- ・せつな町の魅力を全国に発信し、移住していただく。その為の思い切った施策として、宅地を100坪10,000円で販売、5年の間に住宅を建築していただく。2泊3日の体験型農業などを実施する。(男性・60歳代)
- ・せつなの人口を増すために、①土地や建物の無償提供②0歳児~高校生まで医療の無償提供。(男性・70歳以上)
- ・町外からの人を呼び込まなければ、衰退する。町内の地場産業の構築、働く場所を増やすことにより、人を呼び込む。町外(本州など)から人を呼べるような住居対策(安い、きれい、働く場所あり)をしなくてはダメ。閉鎖的な考え方を捨てること。(町民全体)(男性・40歳代)
- ・とにかく子供(人口)を増やす環境を作る。町の事はそれからでも良い。(男性・60歳代)
- ・農漁業の町だから、後継者すくない中、早急に対策を考えないと大変な人口減になる。そうでなくても10年2000人減、町長はなにを考えているのか。農業は会社組織にして、漁業は養殖事業(国からの助成金)など、まだまだいろいろな考え方があると思う。とにかく人口減の対策をしないと大変な町になってしまう！！(70歳以上)
- ・人が増える事を重点的に行うべきだと思います。出来れば若い人…子供が増える。若しくは、リタイヤした人が第2の人生を田舎で…の様な事。パソコン、インターネットを使い、離れた所でも仕事出来る様な人達や会社を探す等。住まいは「せつな」で時々出社する様な、又、別荘地化(空き家を使用)等。(女性・60歳代)
- ・若い人が増える事は働く場所があり、保育環境を充実することによって、移住、定住の人が増えるのでは？いずれにしても、普通の考えで街づくりを進めるのではなく、他町に類のない斬新的な発想も悪くないと思う。(男性・70歳以上)
- ・町の人口の減少について。自然減少も含まれて居りますが、年々減少傾向が続いて居ります。その対策として様々

示されておりますが、いずれも漠然としたものである様に思います。もう少し具体的な対策を検討し、現実味のある、実現の可能性のあるものとしていただきたい。(男性・70歳以上)

- ・若い人に魅力ある町作りをし、人口減少(対策)に力を入れてほしい。(女性・70歳以上)
- ・私も町の地区懇談会に出席した事がありますが、あと20年後には、町民が「4000人を切る」と言っていました。私は、婚活を進めるより、新規で人を入れた方が良いと思います。私が若い人に協力をお願いに行っても、パットしない!メリットがないとか、やる気がないとか、忙しいとか言われた事がある。俺らの若い頃は縦社会だったのに、ここ数年でおかしくなった。若い人をもっと町の中に入れるようなスタイルにするといいと思います。(男性・30歳代)
- ・今後、人口減少に歯止めがかからねば、町全体が衰退していくと思う。いかに若者にとって働きやすい、子育てしやすい、過ごしやすい町にするかが喫緊の課題である。(男性・40歳代)
- ・人口は減少しているが、首都等では、働く事も出来ず無益に生活している者も少なくない。そのような人達の再出発の場としてアピールするのもいいのでは…。(男性・50歳代)
- ・町民の人口を現状維持する為には、どうしたらいいのかを考える事が大事であり、それにより、色々と付随して考えられるもの、行うものが出てくると思われる。(男性・60歳代)

### [婚活、男女の出会い]

- ・町が発展していく一番の課題は、人が増える事だと思います。(高齢者ではなく若い人です。)問9の1にある質問(未婚の男女の出会い)をどのように充実させるか?ここがポイントだと思う。(男性・70歳以上)
- ・世間では子育て…と言われていたが、実際、地域には子供がいないです。未婚の人達が、どうすべきか…の方がいいと思います。(女性・60歳代)
- ・町外から女性を呼ばない町コン。(町内の女性が不利だし、町内で結婚したい人もいると思う。)(女性・30歳代)
- ・未婚の男女が出会う機会を、増やしていったらいいと思います!(女性・60歳代)
- ・独身者が多い気がする。はずかしがらずに月1回でも出会いの会を開催して、町外からもまねく。例え町外同志で結婚しても、「せたな町」は思い出に残るでしょう。(女性・50歳代)

### [町の情報発信]

- ・面白いせたな町の、ちょっとふざけたPRを。(男性・60歳代)
- ・最近ではTV等でせたな町のPRを見かけることが多いです。まちづくり頑張って下さい。(女性・18~29歳)
- ・札幌から移住した私としては、せたな町は、たくさんおいしい食べ物があるという事。今でも、あたり前の様に食している食材は地元の人々から。とてもうらやましがられています。かなり有名にもなってきましたが、もっともっと、たくさんの人達に知ってもらえたらと思いますね。やはり、生きる事は食べる事!!もったいないです!特に都会の人達からは、田舎の海、町はとてもとても魅力的なのです。もっともっと知って欲しいですね。(女性・40歳代)
- ・せたな町のPRに、マスコットの活用(町外イベントへの参加)。せたな町のモニュメント。せたな町の出入口国道に鳥居。たとえば、せたな町によろこそ、せたな町は交通安全をスイセンします。(男性・30歳代)
- ・せたな町のTシャツがほしいです。(女性・18~29歳)
- ・せたな町にしかないものを全国へPRして、町の活性化につなげる。(男性・18~29歳)
- ・せたなを知ってもらう機会を増やすのは、どうですか?(※せたなどこにあるの?と、聞かれます)(女性・30歳代)
- ・せっかくセターナちゃんってカワイイキャラを作ったのですから、もっとアピールしないともったいないです。セターナちゃんグッズを作ってはどうでしょう。ぬいぐるみ・エコバッグ・タオル・ストラップ・ボールペン・クリアファイル・ラインスタンプ(欲しい…!)など、ちょっとした所でせたな町をアピール出来ると思います。(女性・18~29歳)
- ・町長さんが、もっとせたな町をアピールして欲しい。(女性・60歳代)
- ・テレビ、ラジオでのPR(物産)(男性・40歳代)
- ・特産物のアピール(他町他市)強化。せたな町ならではのをもっと強くPRできる品の開発など…。セターナちゃんにもっと活躍の機会を。(女性・18~29歳)
- ・特産物の売り出しを町民にだけではなく、町外にもPRするようにする。規格外でも安い物が手に入る事は、口コミで町外に広がり、せたなをもっと知ってもらおう。(女性・50歳代)
- ・マスコットキャラクター「セターナちゃん」のグッズを作り、町全体に一体感を持たせる。(女性・30歳代)
- ・まち全体が閉鎖的なイメージがある。移住者の感想を集めた冊子をつくるとか、パンフレット、フリーペーパーを充実させるとかしたらどうか。まず、近場の函館でPRして、来る人を増やしたらいいのではない?(男性・18~29歳)
- ・町のPRポスターは、毎年楽しく拝見しています。町外のイベントで、もっとセターナちゃんといっしょに宣伝できるといいですね。(女性・60歳代)

- ・町の情報を流し、多くの人に町の良さを知ってもらおう！！（男性・30歳代）
- ・ラジオCMとか、SNSでの町紹介動画を作成する等、町のPRをして欲しい。（ブログのこまめな更新も…）（女性・40歳代）

## [人材]

- ・「まちづくり」とは、「町をつくる」？ということでしょうか…。町を作るには、環境や産業など、もちろん大切になっていきますが、それらを良くするも、悪くするも、まずは、「人」だと思います。福祉を充実させるのもそうです。「人」を育てあげなければ、何も始まらないと思います。もっともっと「教育」を重要視し、町民の意見を生かして働ける人間の育成をしていかなければ、そして、魅力ある町でいなければ、衰退していくのが想像できちゃいます。故郷を愛する心の教育、親や育った環境に感謝の気持を持って生きていけるような教育など、もっともっと質の高い教育者をよびよせることの大切さを今一度、考えていただきたいと思います。それからの「まちづくり」だと思います。（女性・40歳代）
- ・子どもを産み育て、教育を受ける環境の整備を考えるべきだと思います。そして、ここで教育を受け、一旦地元を離れても、数年後には地元に戻って地域のために活躍できる人材の育成が必要です。その教育を受けた者が戻れる就業場所も確保する必要があります。1次産業を守っていくことも大切ですが、外に出て教育を受けて来た者が活躍できる場所を作ることで循環ができるのではないのでしょうか。（不明）
- ・この町は北海道の中でも比較的温暖ですし、自然災害もさほどおこらない、暮らすには良いところと思っています。しかし、町づくりは人づくりです。まずは、人間形成に力を入れる事が大事だと思います。それぞれの立場でご努力をしてられると思いますが、町が何か投げかけても響かない…。これからの若い人たちは、特にIT社会で育ってきていますから、人と会話をするよりスマホ頼り。そんな大人が増えていく時代ですが、最終的には人の中で生きていく事になると思っています。人の中で知性を高め、人と関わり鍛えていく、そんな社会、町が望ましいと思います。これからは、町内会ですらなかなか成り立たない時が来ます。みんなが無関心になり、不寛容になる、そんな時代を生きていく若い人達に、少し立ち止まって考えて欲しいと思っています。老婆心ながら…（女性・50歳代）
- ・小学生のうちに、海や山にみんなで行く機会が欲しい。せっかく田舎に住んでいるのだから、自然体験の機会をもっと作ってあげたい。でも、子どもも親もなんだか忙しい（泣）。家の立地もあるが、こんなに近場でいろいろな習い事や教室に通えるなんてなかなか無い。都会の親戚からうらやましがられます。（女性・40歳代）
- ・地域の若手人材の人的交流の場の創設（3区内業種は問わず）。（男性・30歳代）
- ・町民全体のモラルの向上と町への愛着を高め、将来への投資を行うとともに、個人の意識改革や、採用者の高密度化（世を知っている）を図らなければ、町民全体（役場、企業、各団体）の脆弱化は加速する一方である気がする。企業や町の大半は“3代目”か“4代目”グループが「飽和状態化」し、活気の無い地域になる前に、各自で手を打つ必要があるのでは？「動気付け」は己から。（男性・40歳代）
- ・どんな環境の中でもやる気さえあれば、という考えもありますが、せっかく磨けばグングン伸びる可能性のある子供たちのために環境整備してやることも、またとても大切な考えだと思います。田舎だから仕方ないと、あきらめて欲しくない。どうかシニアのバックアップも大切でしょうけど、同じかそれ以上に子供たち、若者たちへのバックアップを考える町であってほしいのです。せつな町の未来を考えるなら、勤勉に努力し、成功する子供たちのために投資すべきだと思います。きっとその子供たちが、将来、故郷せつなのために力を発揮してくれると信じるからです。例えたった1人だとしても、ものすごく大きい結果を出すかもしれません。（女性・60歳代）
- ・まちづくりは人づくり。様々な分野のキーパーソンの発掘、又は育成とネットワーク化。（男性・30歳代）
- ・町づくりは人づくりだと思います。人材の育成に十分予算を配分して下さい。（男性・60歳代）
- ・将来町を担う人材・リーダーを育成する。（男性・30歳代）

## [まちづくり全般]

- ・「まちづくり」の根本は、住んでいる町民が生活する上で「楽しい」「幸せだ」と思える町をつくるということだと思う。まずは、育児する親や子ども達にとって住みよい町であること、学校や保育への支援や、働く人たちの充実、仕事と楽しみの両立などに、町としてもっと力を入れるべきだと思います。町民の使う場所、たとえば公園や町体などに、もっと便利さがほしいし、きれいに整備されてほしい。（女性・50歳代）
- ・3町合併後、まとまりがない。2区の我がまま多い。本町（北檜山区）が中心に経済が回らないと絶対だめ！！バラバラではせつな町は終り？（70歳以上）
- ・笑顔のまちづくり。一人が笑う、二人が笑う、みんなが笑う、まちが笑う。笑うのがいい。笑顔があふれる町にしたいです。（女性・50歳代）
- ・活気ある町づくりの実現に期待しています。（女性・70歳以上）
- ・合併10年をすぎた町づくりは、各区統一できる物は統一（各区が主張するばかりでなく、良いものは取り入れ、無駄なものは取りやめる）していくべきと思う。（男性・70歳以上）
- ・旧瀬棚町に産まれ育ったものとして、「なんでもあるせつな町」なのに、「何にもないせつな町」になっていくよう

で、歯がゆく思っています。産業従事者と、役場と、商工観光が三つ巴となって、夢を形に出来る「スローガン」、実践として取り組める「スローガン」、今後 10 年間の「合言葉」が、総知の下で提示されることを期待しております。(女性・60 歳代)

- ・子育てと高齢者の住みよい町として、あらゆる方法を使つての充実した町づくりは、せたなのよいアピールになるのではないのでしょうか。(女性・40 歳代)
- ・子供達が、自分の住んでいる町を大好きでいられるよう、誇りに思ってもらえるようないい町にしたい。(女性・40 歳代)
- ・せたな町・今金町には、素晴らしい食と観光の資源がたくさんあります。それを教育と福祉の分野と結びつけながら、町づくりに生かしていけたら、さらに将来への展望が広がると思います。(男性・50 歳代)
- ・町民ひとりひとりが、それぞれの特性を生かし、笑顔で活動し、働けるよう。それぞれが、生きがいをもって暮らせるよう。職員の方々も、生き生きと笑顔で働けるよう。そういう町づくりをのぞみます。がんばって下さい。(女性・50 歳代)
- ・町民 1 人 1 人が笑顔になれる事でしょうか。生活の安定が 1 番大切だと思います。新たに何かをする事も大事なのかもせれません。(女性・40 歳代)
- ・どの町でも、少子高齢化が進むにつれて、小さなサービスが必要になる様に思います。これだけは、どの町よりも負けないと云う様な物があればと思います。(女性・60 歳代)
- ・魅力ある町造りに、瀬棚と云ったらすぐイメージが湧くようなキャッチフレーズが必要だと思う。例えば、①自然エネルギーの町、②有機農業の町、③自然豊かな町(河川を利用花一杯)、④菜の花やひまわりを広める、⑤大成区が主催するような自然観察やマラソン他運動(体力作り等)を瀬棚区・北檜山区でも行い、全町的催しにしていく等。町民全体が楽しめる催しを企画し活気ある町造りをして行く。(男性・70 歳以上)

## [その他]

- ・今金町の動きを参考にしたり、ノウハウを聞くなりしたらいいのでは？(男性・30 歳代)
- ・今はパートで働いているので何も考えていませんが、仕事を終った時にどうするか、今から考えていきたいです。気軽に、今迄自分が身につけた事を生かせる所があればいいなあと思っています。(女、73 歳)(女性・70 歳以上)
- ・いろいろな手段や手法があると思いますが、まずは、町民一人一人(町職員も含む、また職業問わず)が、こんな「せたな町にしたい!!」という理念を持つことが、せたな町というまちをつくるうえで、まず第一歩に!!大切な事と思っています。そして、こんな町にしたい!!と思うには、せたな町に対する愛がなければ、思いは沸いてこないと思います。町に対する愛とは、職場の人間関係だったり、サークル仲間だったり、飲み仲間だったり、近所付き合いだったりの中から、生まれてくるものと思います。と思っているので、「まちづくりへのアイデアや提案」となると、そういった仲間活動を更に活気づかせるような支援をし、町を愛する人達の意識を高め、その高まった意識の中から産まれる理念をたくさん集められる仕組みを創ること、が、「新たに行くべき」一つの方法かな?と思います。(男性・40 歳代)
- ・各温泉施設の清潔さと、よりおいしく、また食べなくなる食事。施設内の職員の教育、接客サービスの勉強など。(女性・30 歳代)
- ・旧 3 町間の不公平感の解消。(男性・50 歳代)
- ・古いこいの家跡地に、余暇を過ごせる体験教室のできる施設(町内の各サークルの方々の協力をいただき)、及び室内焼肉施設(地元の豚肉・サフォーク等を販売して)などを建設してはどうか。(男性・60 歳代)
- ・漁村部に比して、農村部の閉鎖性があり、今後の課題と思う。(男性・70 歳以上)
- ・グリーンパレス(高齢者センター)の利用状況は充実したものなのかどうか不明です。各団体等の会議など、ふれあいプラザ 2 Fだと不便を感じるので、積極的にグリーンパレスを利用する方向づけをしたらどうでしょうか。(女性・60 歳代)
- ・札幌から来て約 10 年たちましたが、町内の老人の一般的なマナーの悪さにびっくりしています。いい町づくりをしたいのなら、このマナーの悪さをなんとかした方がいいと思います。(男性・50 歳代)
- ・住民の方の多くは、最初は人見知りな人が多いですが、慣れるととても親切で、親しくしてくれる人が多く、住みやすい町だと思います。もっと多くの方がせたな町を訪れたり、住んだりしたら良いと思います。(女性・40 歳代)
- ・大成区を半独立させる(地域自治区)。(女性・60 歳代)
- ・確かに高齢者だらけで占められている地域ですから、(福祉)施設や病院などの設置や確保が優先されるのは分かります。私も中年と言われる世代ですから、十数年後には、そちらの心配をしなければならぬのでしょうか。しかし、若い世代にとっては、せたな町というのはどうでしょうか。都会やよそへは出ずに残って頑張っている人達には、ちょっとした御褒美的なものがないと、やってられない状態になるのではないかと思います。働いて税金払って、将来への夢を持ってないようでは未来はない。人間がいきっていくには、希望のある明日があると思える世の中じゃないか…と思うのは、私の勝手な意見でしょうか。若者世代の為の何かを。(男性・40 歳代)
- ・町内医療機関の特殊性から、長期入院、終末期入院者が多いためか、ご命終される方も多く、なかには遺族が遠方に在住しているため、遺体の引き受けに時間を要します。病院からは、ご遺体早期引き受けを求められる場合があ

- ります。実際、霊安室での長時間保管がなされず困難をきたします。町として、1泊~2泊定度遺体を安置する、霊安施設をつくれないうものかと思えます。是非一考を願いたいものです。(女性・70歳以上)
- ・天体望遠鏡の活用を希望します。(瀬棚小学校内に展示?) (女性・50歳代)
  - ・隔年で町民総会を開催する(議会にかかわって行うものではない)。(女性・60歳代)
  - ・北海道の西端の地理的な事も、まちづくりとして何かできたらと思っています。(男性・30歳代)
  - ・まちづくりと言うか、まず働く所がないので、人口増加は期待できないと思います。一番お金を必要とする、働き盛り、20代~40代後継者としても、町としての支援はあまりないので動きにくい。まちの事を考えるより、自分達の経営を安定させるのに必死だと思えます。農業・漁業が盛んな土地なら、新規でも後継でも、夢をもって働いている世代に支援をすれば町はもっと元気になると思えます。自然は豊かで、食べ物もおいしいのに、それを支えている人達に対して冷たい町だと思えます。(不明)
  - ・無職の若い人がとても多いと感じています。親の保護のあるうちは良いのだろうけど、それが無くなった時は生活保護を受けるのだろうか?と見えています。町で雇用する(短期)、仕事を紹介するなどの取り組みが必要ではないか?無職者が近所にいる為、子供を一人に出来ないと話す人を何人も知っています。トラブルが起きる前に対策して下さい。生活保護者にも、月に数回のボランティア活動に参加させるなど出来ないでしょうか?毎日町を徘徊しているほど元気なら、有効活用しては?(全員がそうではないでしょうけど。)(女性・40歳代)
  - ・八雲町に行くための日進の田舎さは怖い。都市化すべきだ。自然はそこまで必要ないと思うからです。(男性・40歳代)
  - ・私は夫の転勤の関係でせたな町に来ました。その際、特に説明や歓迎する様子がなく、冷たい印象を受けました。そして、縁があつてせたな町で入籍したにもかかわらず、永住できないという理由で待遇されず、残念でした。待遇を受けたかったわけではありません。しかし、余りにも非永住者(転勤族など)に対して閉鎖的であり、受け入れてもらえないような気がしてなりません。せたな町に転勤してこられた方々に対し、もっとこの町を好きになってもらえるよう、良い所をアピールするべきではないでしょうか。町外からきた方にも協力してもらえるような、魅力あふれるまちづくりをしていかなければならないと思います。(女性・18~29歳)
  - ・アンケートを途中まで書いている内に、無性に悲しく腹立しく感じ…。この町は災害が少なくでのんびりした所で、私はこの町は好きですが、住んで居る人間味が無く、妬みが強くて、町づくりより人間づくりから始められたらと思われれます。親類が多く五十年以上住んでいても、悪口云われる時は、余所者呼ばわり。それ程仲が良くなくても、弱者をいじめる時はみんな仲間になる…そんな感じの町、井の中の蛙ですね。(女性・70歳以上)
  - ・大成地区の住民に対して、充実した環境が整っていない。市町村合併をしなかった方が良かったと思います。暮らしばらく活気がない。次期の町長選挙には、大成地区の事を理解できる方へ、と考えます。もっと地区ごとの発展のため、地元のために頑張ってもらえる方に働いてほしいです。地区が寂れて行く事に、不安があります。(女性・50歳代)
  - ・高齢者ですが、2人暮しです。国政も自治体も同じ。余り信用出来ず、選挙で出た議員は当選したら自己本意者で、余り相談しても信用出来ず残念よ。言葉は良いが、場当たり答弁で信用出来ず、金が無い、予算が無いと強調するばかりで、国会答弁と同じ。選挙の時だけ一生懸命と言うがネ、町議当選したら隣町で住む人も居ると云うが泣けてくる?(60歳代)
  - ・今後の発展に期待しています。(男性・18~29歳)
  - ・社会主義ではなく、経済力のための資本主義を大事にして欲しい。法律も資本主義へのアシストだと、中小企業診断士という仕事があることから、思う。(男性・40歳代)
  - ・生活保護を受けて、パチンコしてもいいのかな。税金をまじめに払っているのに!!(男性・60歳代)
  - ・税金の数が多すぎて、年金では払って行くのが大変です。もう少し、町政、道政、国政の人数は少なくして、各辺地の方々もたのしくらせる町民で居たいです。町民、道民、国民の総数がへっても、職員や議員がへらないのは何故か。職員がへった分、各議員も少なくなるような国政作りをお願いしたいです。よろしく願いまして、町民も少なからず手伝いたい町にしたいです。(男性・70歳以上)
  - ・せたなに住んで1年半が経過しました。思っていたよりも住みやすい町で、転勤がなければ、長く住んでも良いと思っています。(他にも理由があつて、長く住めないかもしれないですが…) (男性・30歳代)
  - ・町村合併10年を振り返ってみると、1つの町「せたな町」として住み分けが十分でないと思う。(男性・70歳以上)
  - ・特に当町は、自らが提案したり行動を起こすことには消極的である。地域の特性がそうさせているのかも知れませんが、閉鎖的である。学習することも嫌う。この様な実情も克服しなければ、まちづくりもなかなか進まないだろう。しかし、町民の意識はそう簡単に変わるものではないし、待っていても「だめ」である。とにかくできること(ところ)からやりましょう。大きいこと、小さいこと、自分の力でできることはぜひ協力したいといつも思っている。自分の住んでいる町を、町外に出た時「じまん」したい。(不明)
  - ・町職員のみなさん、その他関係機関・団体が努力されている事は、理解しているつもりです。応援していますので、よろしく願います。(男性・40歳代)
  - ・まちづくりが活性化することを期待しています。(女性・18~29歳)



- ・若い人は、年配者をどう見ているのか?年配者は、若い人を見てどう思うか?高齢者の運転が怖いだとか、若い人は歩きスマホをしているとか、どう思うのか? (男性・30歳代)
- ・希望を書いてもどうにもならないと思います。この町はこのまま終るでしょうね。残念ですが…。皆様も感じているでしょうか?議員さん達も、必ずこうしますと言っても何も変わらず。町民としても何も希望の持てない、毎日何も変わらない。昔のままの町、若者が毎年他町へ流れて行く、住む事のできない「ふるさと」ですね。残念ですが? (不明)
- ・今回、今後の10年間の総合計画の策定に向け、3000人ものアンケートを集約、反映させようという趣旨は、意義があると思います。調査票のはじめにある(ア)性別、(イ)年齢別、(ウ)職業別、(エ)居住歴別、(オ)居住区別の詳細な分析が出る事を楽しみにしております。(女性・60歳代)
- ・今回のアンケートは18歳以上が対象となっているので、小学生・中学生・高校生がせきたな町に対してどのように思っているのか興味があります。(男性・40歳代)
- ・アンケート、町民に対しての思いが感じられて、多くの方が返信できる事を願っています。(男性・30歳代)
- ・アンケートを何年か事に町で出しているが、本当に町政が政策を立てているかがギモンである。(女性・60歳代)
- ・最近、飲んだり食べたりする会が多すぎるネ。理解出来ず。全国的に何か変な事が多いぞ。言いたい事は大変あるが、全戸回って理解求めたら?そんな事夢見て暮す高齢者さ。(60歳代)
- ・老人にはわかりにくいアンケートでした。(男性・70歳以上)
- ・住所の紙、アンケート用紙の番号記載はいかがなものか!! (女性・50歳代)
- ・三人家族ですが、三人ともアンケートが来ました。無作為とはいえ…。氏名の記載がなくても、ナンバーが打っていると回答しづらいですね。(女性・50歳代)
- ・このページ下のナンバリングが気になります。あて名先の印字と同じなので、個人が特定されるのはおかしいのではないのでしょうか。封筒に記載されていることと矛盾しているようにも思えます。(男性・30歳代)
- ・台風直後忙しいのに、一部しか壊れなかった我が家にも来ていただきカンシャしています。いつもお疲れ様です。ありがとうございました。(女性・18~29歳)
- ・まちづくり推進課の皆さん頑張ってください。期待しております。(男性・70歳以上)

## IV 調査票

# まちづくりアンケートにご協力願います



日ごろより、町政へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

町では、今年度より、平成 30 年度から平成 39 年度までの 10 年間で進めるまちづくり計画「第 2 次せたな町総合計画」の策定をスタートしました。まちづくりの大きな方向とともに、各分野で取り組む内容を示すものです。せたな町のまちづくりにとって大変重要な計画であり、みなさまのお考えやご意見を反映させていただくため、アンケートをさせて頂くこととなりました。

お答えいただいた内容は、計画策定以外の目的で利用することはなく、ご回答いただいた方を特定するような公表は行いません。回答結果は、町のホームページや広報などでお知らせします。

お忙しい時期にお手数をおかけし、申し訳ありませんが、できるだけ多くのご回答をいただけると幸いです。ご協力よろしくお願い申し上げます。

平成 28 年 10 月

せたな町長 高橋 貞光

対象者	<p>○このアンケートは、18歳以上の町民の方3,000人を、無作為に選ばせていただきました。</p> <p>○封筒に記載されているお名前の方がご回答ください。もし、その方が回答できない場合は、ご家族の方（18歳以上）が回答して下さると幸いです。その場合、回答された方ご自身の性別・年齢などに○をつけてください。</p>
ご提出の方法	<p>○アンケート記入後、同封の「返信用封筒」に入れて、郵便ポストに投函してください。切手はいりません。</p> <p>○せたな町役場 2 階まちづくり推進課、瀬棚総合支所、大成総合支所に直接お持ちいただいても構いません。</p>
締め切り	平成 28 年 10 月 27 日（木曜日）
問合せ先	<p>○ご不明な点がありましたら、こちらにご連絡ください。</p> <p>せたな町役場 まちづくり推進課（担当：吉田、竹内）</p> <p>電話：0137-84-5111（代表）</p>

## 調 査 票

はじめに、回答される方についてお尋ねします。次の（ア）から（オ）について、あてはまるものをそれぞれ1つだけ選んで、番号に○をつけてください。

（ア）性別	1. 男性 2. 女性
（イ）年齢	1. 18～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳 4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上
（ウ）職業 ※アルバイト・パートの方は業種で選んでください。	1. 農業・林業・漁業（水産業） 2. 製造業、建設業 3. 商業、サービス業（飲食、宿泊、理美容、運輸、金融、保険など） 4. 福祉・医療関係 5. 公務員、団体職員など 6. その他の職業 7. 家事専業、学生 8. 無職、退職された方
（エ）居住歴	1. せたな町で生まれ、ずっとせたな町に住んでいる 2. せたな町で生まれ、一度町外で暮らして再びせたな町に住んでいる 3. せたな町以外で生まれ、せたな町に引っ越してきた
（オ）居住区	1. 北檜山区 2. 大成区 3. 瀬棚区

【問1】せたな町での暮らしについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」を評価してください。具体的な内容は示していませんが、全般としての評価をお願いします。

<p>「①満足度」と「②重要度」のそれぞれについて、番号に○をつけてください。</p> <p>《例》1. 自然環境のよさ、保全の状況</p>	①現在の「満足度」						②今後の「重要度」					
	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	6 分からない	1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要ではない	5 重要ではない	6 分からない
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

■ 環境等について

1. 自然環境のよさ、保全の状況	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
2. 海や山の景観の美しさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
3. まちなかの景観、美しさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
4. 自然エネルギーへの取組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

■ 生活の安全・安心について

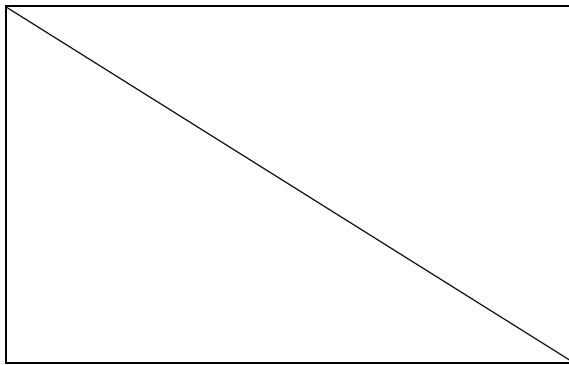
5. 自然災害など防災への取組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
6. 交通安全に対する取組み	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
7. 消防・救急体制	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
8. 犯罪の防止、取り締まり	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

■ 生活基盤について

9. ごみの収集・リサイクル	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
10. 道路や歩道の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
11. 除排雪の対応	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
12. 公園の整備	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
13. 公営住宅、宅地の供給	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
14. 水道の整備、水質	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
15. 生活排水処理	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
16. 路線バスの利用しやすさ	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

■ 健康・子育て・福祉について

17. 子育て支援（保育所、幼稚園含む）	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
18. 健康づくりや病気の予防対策	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
19. 病院などの医療環境	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6



①現在の「満足度」					
1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満	6 分からない

②今後の「重要度」					
1 重要	2 やや重要	3 普通	4 あまり重要ではない	5 重要ではない	6 分からない

■健康・子育て・福祉について

20. 高齢者への理解・支援
21. 障がい者（児）への理解・支援

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

■教育・スポーツ・文化などについて

22. 公共施設での講座、教室など
23. 小学校、中学校の教育
24. 芸術文化活動の推進
25. 文化財や史跡、郷土芸能等の伝承保存
26. スポーツ活動の推進

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

■産業の振興について

27. 農林業の振興
28. 漁業（水産業）の振興
29. 商業の振興（買い物の便利さ）
30. 観光の振興
31. 企業誘致や新たな事業への支援

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

■地域での活動、まちづくりについて

32. 町内会などの地域活動
33. ボランティア活動（機会・内容）
34. 町民のまちづくりへの参加
35. 役場からの広報・情報提供
36. 役場の窓口対応やサービス

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6
1	2	3	4	5	6

【問1-1】上記の項目（1～36番）の中で、今後のまちづくりで特に重要と思うものを5つまで選んで、下の枠に番号をお書きください。

--	--	--	--	--









【問7】水産業（漁業、水産物加工・販売など）について、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 漁場を保全する
2. 漁港など基盤整備を進める
3. 養殖や栽培漁業など「育てる漁業」を推進する
4. 出荷調整などにより、生産価格を安定させる
5. 担い手の確保（後継者、新規就労）
6. 労働力の確保（従業員、繁忙期のパート労働など）
7. 水産物の流通・販売を改善する
8. せたな町としてのブランドの強化、イメージアップ
9. 水産物を使った加工業の推進
10. 観光・体験型漁業の推進
11. 町民や来訪者が、町内で水産物を買ったり食べたりしやすいようにする
12. 漁業への関心や理解を町内で高める（食育の推進など）
13. その他（ )

【問8】観光・交流を振興するには、特にどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。次の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 観光資源になっている自然環境を保護する
2. 今ある観光（立ち寄り）スポットの魅力を高める
3. 地域の資源を活かして、新たな切り口で観光を進める
4. 町内でせたな町の「食」が楽しめる場所や特産品を増やす
5. 観光客も参加しやすいまつりやイベントを充実させる
6. 町外への宣伝やPRを充実させる
7. 町内に来た人への観光案内やサービスを充実させる
8. 観光以外の産業や分野と連携を深め、観光振興に取り組む
9. 周辺の市町村と連携し、広域的な視点で観光客を呼び込む
10. その他（ )





**【問13】まちづくり活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいですか。すでに参加されているものも含め、あてはまる番号すべてに○をつけてください。**

1. 身近な場所で花や緑を増やす活動
2. 身近な場所のごみ拾いや清掃活動
3. 自然環境を守る活動
4. 省エネやリサイクルを進める活動
5. 高齢者や困っている人たちへの社会福祉活動
6. 子育て中の人を支援する活動
7. 子ども達の遊びや教育、スポーツを支援する活動
8. 地元の歴史や文化を学び、後世に伝える活動
9. 健康づくりに関わる活動
10. 交通安全・防災・防犯活動
11. まつりやイベントを手伝う活動
12. 来訪者や観光客をもてなしたり、案内する活動
13. 地場産品や地元グルメを開発する活動
14. イベントや地域おこしを考えたり、企画する活動
15. 町外に「せたな町」をPRする活動
16. その他（ )

**【問14】町としての創意を発揮し、町民と町の協働を深めていくには、どのようなことが重要とお考えですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。**

1. 町民がまちづくりへの提案や提言を行う機会を増やす
2. 町民がまちづくり計画に参加する（ともに考える）機会を増やす
3. 行政の情報と町民の情報をもっと提供し合い、共有する
4. 町民とともに企画し実施するイベント・事業を増やす
5. 町民や各種団体などの主体的なまちづくり活動の支援を拡大する
6. 町民がまちづくり活動に利用できる場所を充実させる
7. その他（ )

